MAXART
PX-5500

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD 1245-01

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS 9）

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS X）

目的別印刷方法

簡単なネットワーク共有の方法

消耗品

メンテナンス

困ったときは

操作パネルの使い方

付録

本書の見方

取扱説明書の種類と使い方

セットアップガイド	プリンタをご使用になる前の作業が記載されています。 プリンタ本体の準備、プリンタドライバのインストールについて記載されています。
使い方ガイド	プリンタの基本的な使い方、日常のメンテナンスなどについて記載されています。プリンタの近くに置いてご活用ください。
ユーザーズガイド (CD-ROM 収録)	プリンタの機能、操作方法など本製品を使用していく上で必要となる情報が詳しく記載されている説明書です。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。 また、各種トラブルの解決方法なども記載されています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターなどにお問い合わせいただく前に、お読みください。 ユーザーズガイドは、製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に PDF (Portable Document Format) ファイルとして収録されています。このファイルをお読みいただくには、Adobe 社の Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。
プリントアシスト (HTML) *	トラブル発生時の対応方法やエプソン販売のサポートホームページへのリンクが用意されています。Windows では、プリンタドライバの [基本設定] 画面から、Mac OS X ではハードディスクの [アプリケーション] にある [EPSON Printer Utility] の [プリンタリスト] から本機を選択して呼び出します。

* Windows と Mac OS X のみ

本文中のマークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

!注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい操作を示しています。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
用語*1	用語に関する補足説明を記載していることを示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記について

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v10.2、v10.3
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

ここでは、本機に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

☞ セットアップガイド「5. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

☞ 本書 300 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。
☞ 本書 44 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ !3	インク残量やエラー情報を表示します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリンタ情報	インクカートリッジの装着情報を取得します。

プリンタドライバの起動方法

プリンタドライバの設定画面には、以下の 2 つの方法があります。

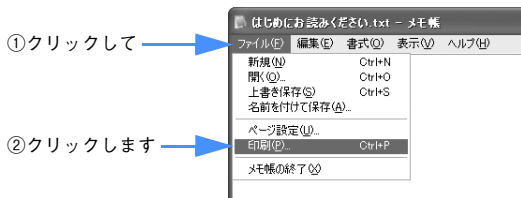
- アプリケーションソフトから表示する方法
  印刷設定をしたいときは、この方法で画面を表示します。

- ［スタート］メニューから表示する方法
  ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、アプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときなどは、この方法で設定画面を表示します。

アプリケーションソフトから表示する

印刷設定をしたいときは、この方法で画面を表示します。
お使いのアプリケーションソフトによって、手順が異なる場合があります。
その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1　アプリケーションソフトで、［ファイル］－［印刷］をクリックします。

アプリケーションソフトによっては［ページ設定］などで印刷条件を設定することもできます。

2　お使いのプリンタを選択して、［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックします。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

［スタート］メニューから表示する

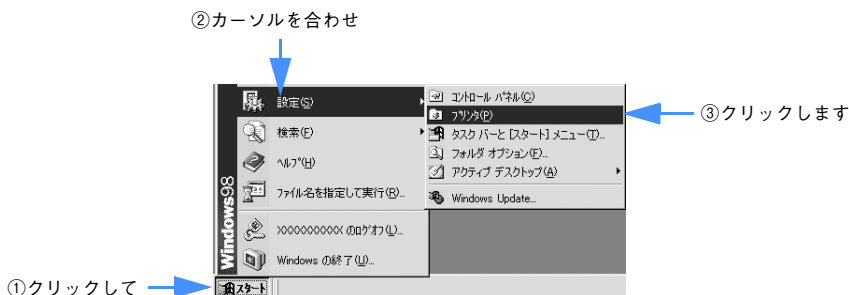
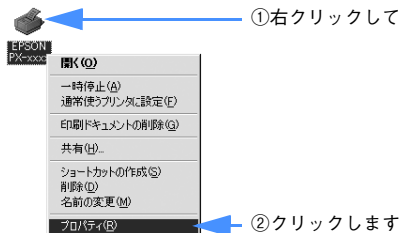
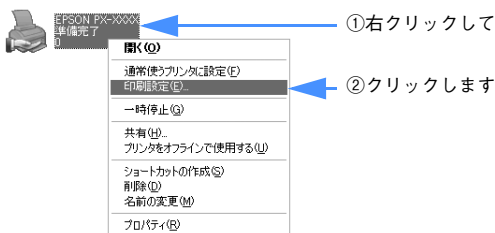
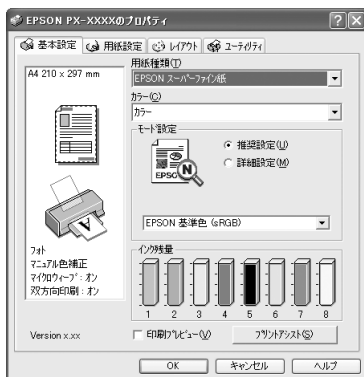
プリンタドライバの設定画面は、アプリケーションソフトを起動せずに、［スタート］メニューから表示することもできます。ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、アプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときなどは、この方法で設定画面を表示します。

1 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。**

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

- **Windows XP 以外の場合**

  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **Windows 98/Me の場合は、本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows XP/2000 の場合は、本機のアイコンを右クリックして、［印刷設定］をクリックします。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

初期設定の変更方法

印刷前にプリンタドライバを表示したときの設定（初期設定）をよく使う設定にすると便利です。以下の手順に従って初期設定を変更してください。

操作手順

1. **［スタート］メニューからプリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **各画面（［基本設定］［用紙設定］［レイアウト］）の項目を、よく使う設定に変更します。**
ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。
※以下は［基本設定］画面です。

3　必要であれば、［手動設定］画面の各項目を、よく使う設定に変更します。

［手動設定］画面は、［基本設定］画面で［詳細設定］をクリックして［設定変更］をクリックすると表示されます。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

4　［OK］をクリックして［基本設定］画面に戻り、［OK］をクリックします。

以上で初期設定の変更は終了です。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。

［手動設定］画面

［基本設定］画面の［モード］で［詳細設定］を選択すると、［手動設定］画面が表示されます。
この画面では、印刷に関する詳細項目を設定します。
画面内の各項目は、［用紙種類］、［カラー］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が決まります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

①	用紙種類	印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。
②	カラー	• カラー印刷をする場合は［カラー］を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は［モノクロ写真］を選択します。 　本書 167 ページ「モノクロ写真印刷の詳細設定」 • 線画などのモノクロ印刷をする場合は［黒］を選択します。
		参考 モノクロ写真の推奨用紙に関しては、本書 360 ページ「用紙について」をご覧ください。

<table>
<tr><td rowspan="8">③</td><td rowspan="8">印刷品質</td><td colspan="2">印刷の品質を、リストボックスの中から選択します。［用紙種類］で選択している用紙によって、リストボックスに表示される項目や初期値が異なります。</td></tr>
<tr><td>ドラフト -360dpi</td><td>インク消費量を節約しながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン -720dpi</td><td>720dpi の解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。</td></tr>
<tr><td>フォト -1440dpi</td><td>1440dpi の解像度で印刷します。印刷時間はかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。</td></tr>
<tr><td>スーパーフォト -1440dpi</td><td>1440dpi の解像度で印刷します。印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。</td></tr>
<tr><td>スーパーフォト -2880dpi</td><td>2880dpi の解像度で印刷します。さらに印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考
［用紙種類］で選択した用紙の種類によって、［印刷品質］で表示される項目が異なります。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">④</td><td rowspan="2">マイクロウィーブ（スーパー）</td><td colspan="2">行ごとのムラを減少させる必要のある場合に自動選択されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考
［マイクロウィーブ（スーパー）］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって必要に応じて自動的に選択されます。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>双方向印刷</td><td colspan="2">プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質は低下する場合がありますので、高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>左右反転</td><td colspan="2">左右を反転させて印刷する場合はチェックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑦</td><td rowspan="2">スムージング（文字 / 輪郭）</td><td colspan="2">チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにします。ただし、印刷時間が長くなります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考
［スムージング］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>Web スムージング</td><td colspan="2">インターネットからダウンロードした低解像度のイラストやロゴなどの輪郭を滑らかにします。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>［用紙調整］</td><td colspan="2">用紙関連の調整（インク濃度、ヘッドパス毎の乾燥時間）を行います。
本書 28 ページ「［用紙調整］画面」</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>［保存 / 削除］</td><td colspan="2">［手動設定］画面の設定を保存したり、削除します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">⑪</td><td rowspan="5">プリンタカラー調整</td><td colspan="2">カラー調整の方法を選択します。［マニュアル色補正］、［オートフォトファイン !6］を選択した場合、画面の下部で詳細を設定します。</td></tr>
<tr><td>マニュアル色補正</td><td>プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。（画面下部のリストボックスとスライドバーが有効になります）
☞ 本書 24 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」</td></tr>
<tr><td>オートフォトファイン !6</td><td>エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン !6 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。画面下部にオートフォトファイン !6 の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。
☞ 本書 26 ページ「［オートフォトファイン !6］を選択した場合」</td></tr>
<tr><td>オフ（色補正なし）</td><td>ドライバでは色補正を行いません。使用するアプリケーションでカラーマネージメントをする場合など、ICM 用プロファイル（色補正データ）を作成する際の基準色を印刷するときにはこの設定を選択します。</td></tr>
<tr><td>ICM</td><td>Windows の ICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。</td></tr>
</table>

［マニュアル色補正］を選択した場合

［プリンタカラー調整］で［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①	色補正方法	自然な色あい	本製品で自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。
		あざやかな色あい	本製品で彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。
		EPSON 基準色（sRGB）	初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。
		Adobe RGB	Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。
②	ガンマ	［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。	
		1.5	ガンマ値 1.8 に比べ柔らかい感じの画像を印刷します。
		1.8	初期値です。
		2.2	ガンマ値 1.8 に比べ硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値1.8の画像でメリハリがない場合に使用してください。

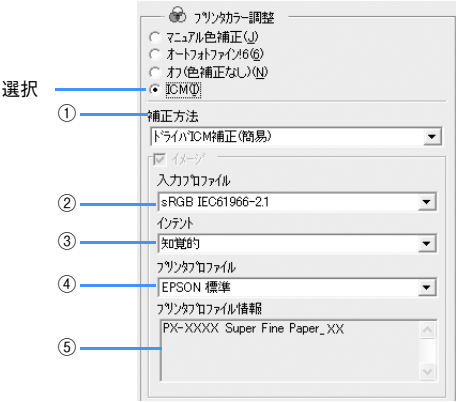
<table>
<tr><td rowspan="5">③</td><td rowspan="4">スライドバー</td><td>明度</td><td>画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。</td></tr>
<tr><td>シアン / マゼンタ / イエロー</td><td>それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><th></th><th>（－）◀―</th><th>0 ―▶（＋）</th></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。</td><td>青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。</td><td>赤紫(マゼンタ)を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。</td><td>黄色(イエロー)を強くします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="3">
通常はスライドバーでの調整は必要ありません。必要に応じて調整してください。</td></tr>
</table>

［オートフォトファイン !6］を選択した場合

［プリンタカラー調整］で［オートフォトファイン !6］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

①	シャープネス	画像の輪郭を強調します。 加える効果の強弱は、［ソフト / ハード］のスライドバーで調整します。
②	イメージ・ピュアライザ	チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。 ［美肌］をチェックすると、人物に適した色補正をします。
		参考 • オートフォトファイン!6は1677万色(24bit)の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。 • エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !6 は使用しないでください。

[ICM] を選択した場合

[プリンタカラー調整] で [ICM] を選択すると、Windows2000/XP では、画面下部の表示が次のようになります。
Windows98/Me の場合、「ホスト ICM 補正」が自動的に選択され、下記の①～⑤の項目は表示されません。

①	補正方法	ドライバ ICM 補正（簡易）	ドライバ側で入出力のカラープロファイルを設定して補正します。
		ドライバ ICM 補正（詳細）	グラフィックとテキストで個別の入出力のカラープロファイルを設定します。
		ホスト ICM 補正	ICM に対応したアプリケーション側でカラースペース / 入力プロファイルを設定した場合に使用します。
②	入力プロファイル	印刷するデータのカラープロファイルを選択します。	
③	インテント	指定されたプロファイルを元に、印刷用にデータ変換するときの条件を指定します。 本書 150 ページ「インテント」	
④	プリンタプロファイル	印刷時（出力時）に適用されるカラープロファイルが表示されます。 通常は印刷する用紙に合ったプロファイルが自動的に選択されます。	
⑤	プロファイル情報	選択したプロファイルの情報を表示します。 「すべてのプロファイルを列挙」をチェックすると入力プロファイル、プリンタプロファイルで設定可能なすべてのカラープロファイルがリストを表示します。	

[オフ（色補正なし）] を選択した場合

プリンタドライバでは色補正を行いません。アプリケーションソフトですべてのカラーマネージメントを行う場合に選択します。

［用紙調整］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、この画面でお使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 EPSON 純正専用紙以外の用紙を使った際にインクがにじむ場合はインク濃度を－（左）に、薄すぎる場合には＋（右）に調整し、用紙の適性に合わせてください。
②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。 参考 • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいことがあります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。
③	［初期値に戻す］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプを表示させるには、以下の 2 つの方法があります。

［方法 1］

知りたいプリンタドライバの項目上で、マウスの右ボタンをクリックして、［ヘルプ］をクリックします。

［方法 2］

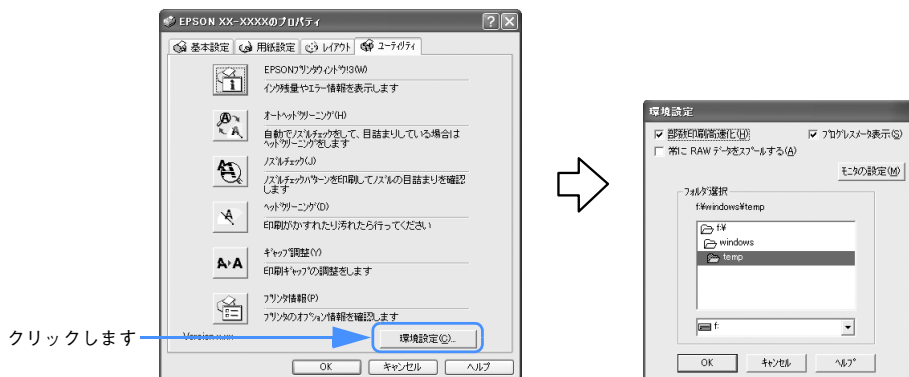
プリンタドライバ画面の右上にある ? をクリックして、ポインタの形状が ? に変わったら、知りたい項目をクリックします。

プリントアシスト機能

プリンタドライバの［プリントアシスト］をクリックすると、「プリントアシスト」（電子マニュアル）が表示されます。

- 電子マニュアルがインストールされていない場合、お使いのコンピュータがインターネット接続環境にあるときは、インターネットを経由してエプソンのホームページに接続されます。
- 電子マニュアルは同梱の CD-ROM に収録されており、通常はプリンタドライバと一緒にコンピュータにインストールされます。

環境設定

EPSON プリンタウィンドウ!3 やスプールファイルのフォルダ指定を行います。
詳しくはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

印刷状況の確認

以下の画面で印刷状況が確認できます。

- プログレスメータ
  コンピュータの印刷処理状況やインク残量・データ情報などを確認できるほか、印刷を中止できます。
  ☞ 本書 32 ページ「プログレスメータで確認する」

- スプールマネージャ（Windows 98/Me）
  印刷データの情報や印刷待ちのデータなどを確認できるほか、印刷を中止・削除できます。
  ☞ 本書 33 ページ「スプールマネージャ（Windows 98/Me）で確認する」

「EPSON プリンタウィンドウ !3 」がインストールされていないときは、プログレスメータは表示されません。

プログレスメータで確認する

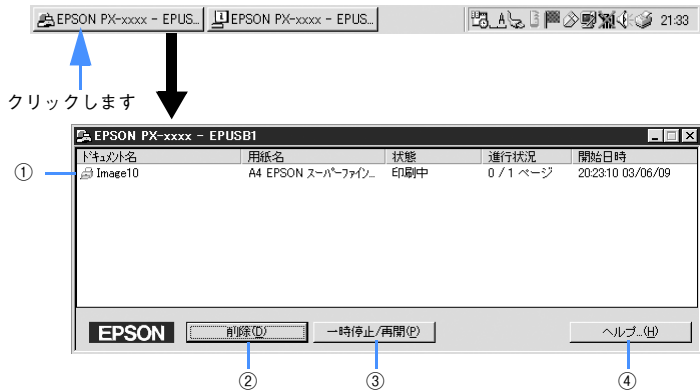
プログレスメータは、印刷を実行すると画面右下に表示されます。
コンピュータの印刷処理状況やインク残量・データ情報などを確認できるほか、印刷を中止できます。

①	印刷データ情報	印刷しているファイルの名称と出力ページ数、および印刷中のページ番号を表示します。
②	状態表示	アイコンによって現在のプリンタの状態を表示します。
③	インク残量	インク残量の目安を表示します。
④	進行状況	コンピュータ上の印刷処理にかかる時間を予測し、進行状況を表示します。
⑤	[印刷中止]	印刷を中止します。
⑥	[一時停止]	印刷を一時停止します。
⑦	プリンタドライバ設定情報	プリンタドライバで設定した値を表示します。
⑧	[ワンポイントアドバイス]	ワンポイントアドバイス情報の表示 / 非表示を切り替えます。
⑨	ワンポイントアドバイス情報	プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイスを表示します。
⑩	[詳しくは]	ワンポイントアドバイス情報に表示された内容の具体的な対処方法を表示します。

印刷データによっては、画面右上に印刷終了までの目安となる時間が表示されます。

「プログレスメータ」が表示されていないときは、EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動することで、プリンタの状態が確認できます。

スプールマネージャ（Windows 98/Me）で確認する

スプールマネージャは、印刷実行中も別の作業をすることができるように、印刷データを一時的にハードディスクに蓄え、プリンタに出力する機能を持っています。
スプールマネージャは、印刷を実行すると画面下のタスクバー上に表示され、クリックすると開きます。印刷データの情報や印刷待ちのデータなどを確認できるほか、印刷の中止・削除を実行できます。

①	印刷ジョブ一覧	印刷中のデータの名称・用紙サイズ・状態・進行状況・印刷実行日時が表示されます。
②	[削除]	印刷を中止して印刷データを削除します。 削除する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。 印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。
③	[一時停止 / 再開]	印刷を一時停止 / 再開します。 停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。
④	[ヘルプ]	ヘルプ情報を表示します。 このボタンをクリックすると、スプールマネージャの詳細を参照できます。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。
この場合は［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは削除できません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

プリンタドライバの削除

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

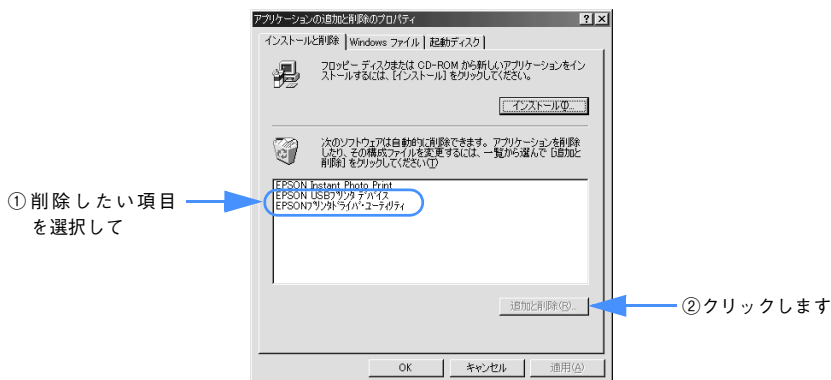
3 ［プログラムの追加と削除］または［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

- **Windows XP の場合**

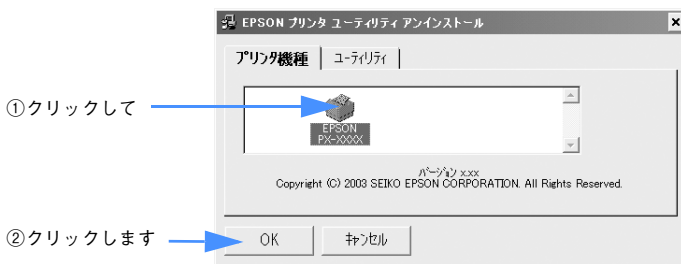
  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

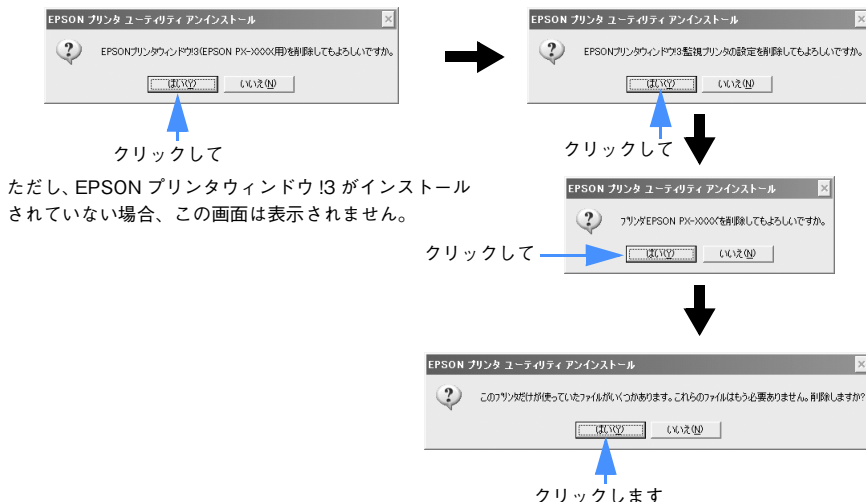
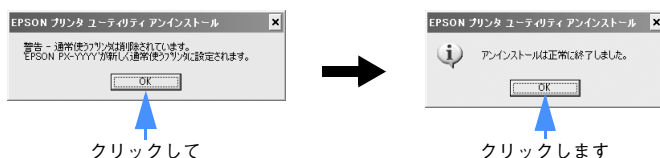
- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

Windows 98/Me の場合、インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

5 ［PX-5500］アイコンをクリックし［OK］をクリックします。

6 画面の内容を確認しながら［はい］をクリックします。

ただし、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合、この画面は表示されません。

7 ［OK］をクリックします。

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。プリンタドライバを再インストールする場合はコンピュータを再起動してください。

プリンタドライバは、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除できます。

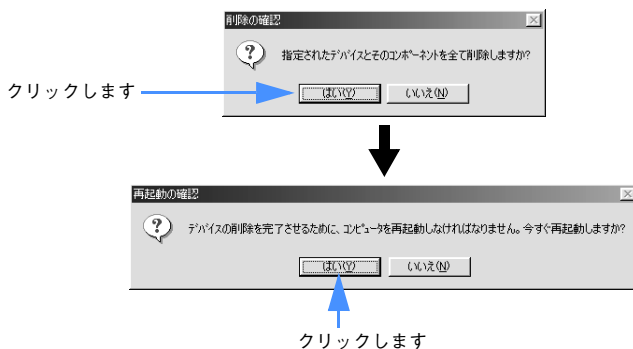
USB デバイスドライバの削除（Windows 98/Me のみ）

USB デバイスドライバは、Windows 98 /Me で USB 接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。

☞ 35 ページ「プリンタドライバの削除」手順 ❹ で「EPSON USB プリンタデバイス」を選択し、以下の手順を続けてください。

- USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。
- USB デバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。これで USB デバイスドライバの削除は終了です。

USB デバイスドライバを正常に削除できない場合は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」の［WIN9X］フォルダに登録されている［EPUSBUN.EXE］を実行してください。実行後は、画面の指示に従って操作を進めます。

以上で USB デバイスドライバの削除は終了です。

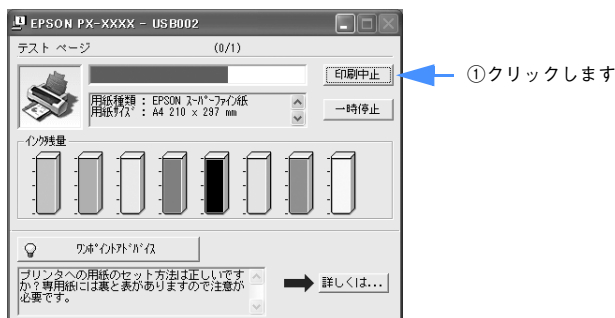
印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側では操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

プログレスメータが表示されているとき

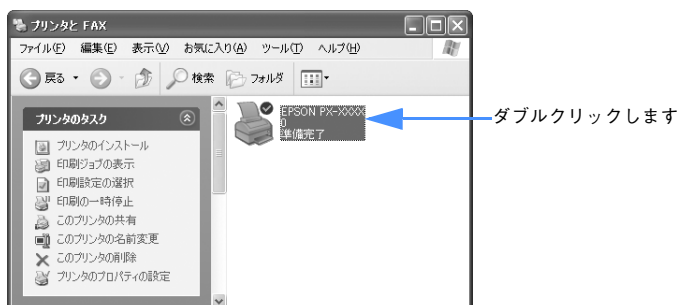
1 **プログレスメータの［印刷中止］をクリックします。**

プログレスメータが表示されていないとき

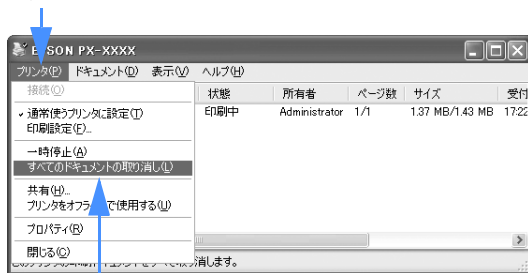
プログレスメータが表示されていないときは、以下の手順で中止してください。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］または［プリンタ］を開きます。**

- Windows XP
  ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
  ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
  ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
  ③［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows 98/Me/2000
  ［スタート］－［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

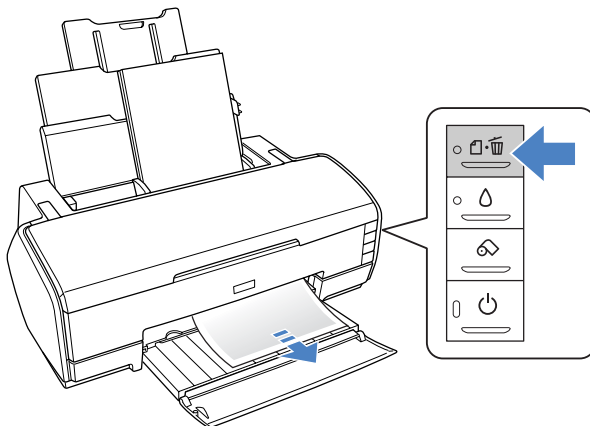
2 **本機のアイコンをダブルクリックします。**

3 **中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。**

特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。すべての印刷データを削除するときは、［プリンタ］メニュー内の［すべてのドキュメントの取り消し］または［印刷ドキュメントの削除］をクリックします。

プリンタへのデータ転送が終了している場合、上記画面に印刷データは表示されません。その場合は、プリンタのリセットだけで印刷が中止されます。

プリンタ本体で中止する

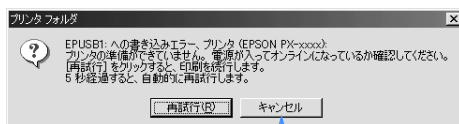
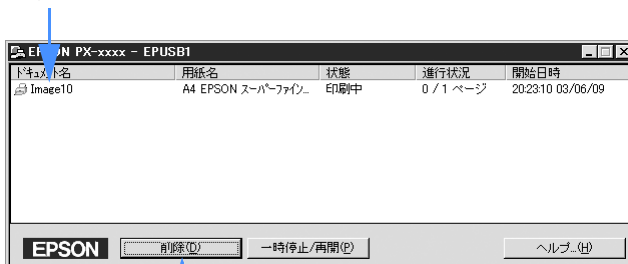
プリンタ本体側で印刷を中止します。この場合、他の印刷データもすべて消去されます。

1 **［用紙］ボタンを押します。**

印刷を中止して、用紙を排紙します。

! 注意 上記の操作では、コンピュータ内の印刷待ちデータを削除することはできません。コンピュータ内の印刷待ちデータを削除する場合は、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 40 ページ「コンピュータで中止する」

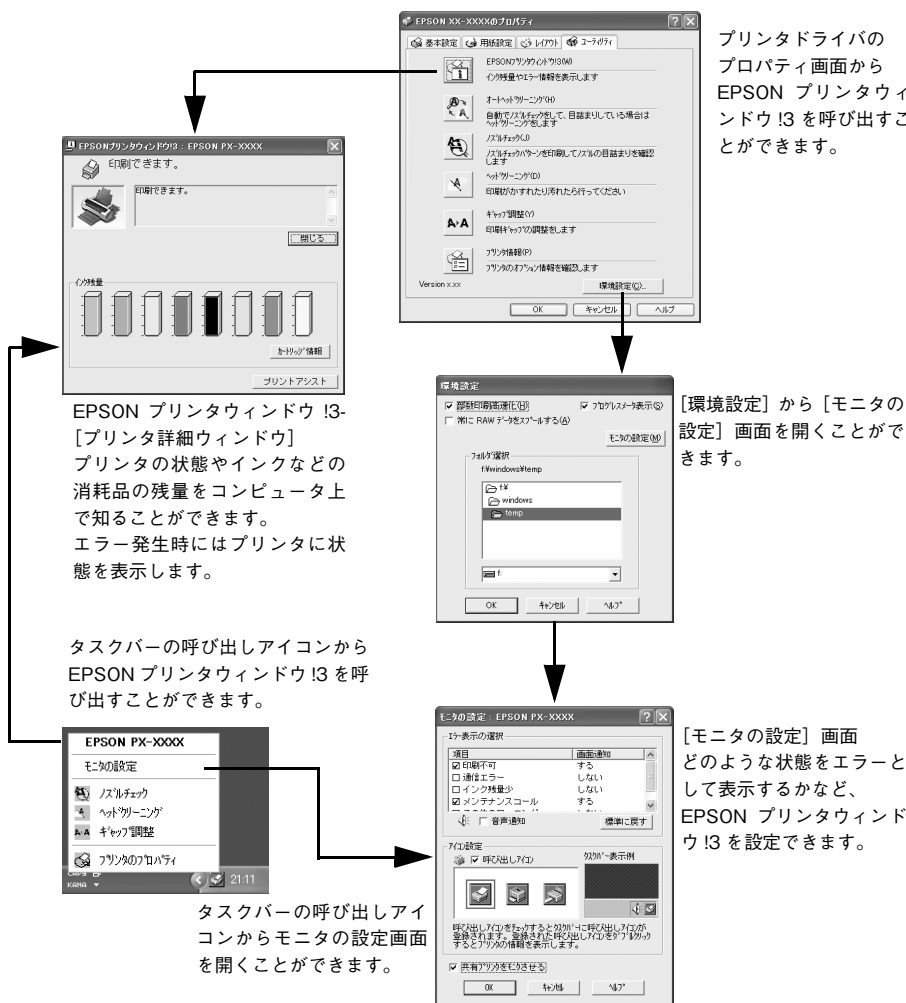
❷ コンピュータに以下の画面が表示されたら［キャンセル］をクリックします。

次の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。

［キャンセル］をクリックした後に、次の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、［削除］をクリックしてください。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ !3	インク残量やエラー情報を表示します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリンタ情報	インクカートリッジの装着情報を取得します。

EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示します。対処方法を表示させることもできます。また、プリンタドライバの設定画面や Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は 2 通りの方法で起動することができます。このウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

[方法 1]

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、[ユーティリティ] の [EPSON プリンタウィンドウ !3] をクリックします。

[方法 2]

[モニタの設定] 画面で [呼び出しアイコン] を選択しておくと、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから [PX-5500] をクリックします。

☞ 本書 49 ページ「[モニタの設定] 画面」

CAPS KANA 21:13

ダブルクリックします

または

EPSON PX-XXXX

モニタの設定

ノズルチェック

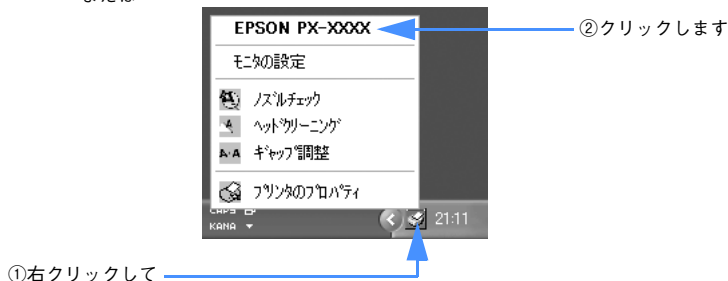
ヘッドクリーニング

ギャップ調整

プリンタのプロパティ

21:11

②クリックします

①右クリックして

EPSON プリンタウィンドウ !3 の見方

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①	プリンタ	プリンタの状態がグラフィックで表示します。
②	メッセージ	プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法を表示します。
③	［閉じる］	ウィンドウを閉じるときにクリックします。
④	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

☞ 本書 34 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

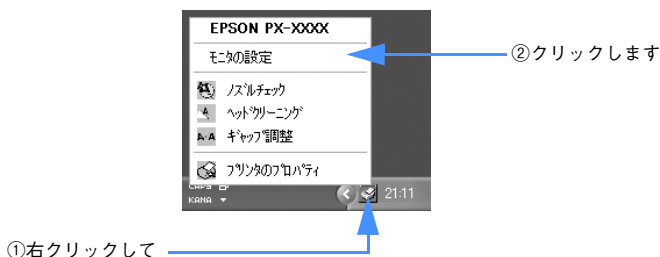
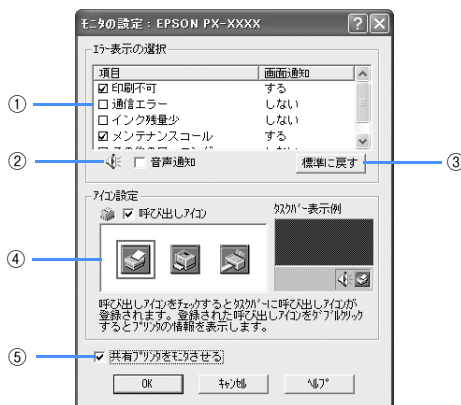
☞ 本書 49 ページ「[モニタの設定] 画面」

[モニタの設定] 画面を開く方法は、2 通りあります。

■ [方法 1]

[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、[ユーティリティ] の [環境設定] をクリックします。続いて [環境設定] 画面の [モニタの設定] をクリックします。

■ [方法 2]

[方法 1] で開いた [モニタの設定] 画面で [呼び出しアイコン] を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから [モニタの設定] をクリックします。

- ［モニタの設定］画面

①	エラー表示の選択	プリンタがどのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。通知が必要な項目をチェックします。
②	音声通知	エラー発生時に音声でも通知します。 お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。
③	［標準に戻す］	［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。
④	アイコン設定	［呼び出しアイコン］をチェックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンがタスクバーに表示されます。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせて選択します。 タスクバーに表示されたアイコンを右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］画面を開くことができます。
⑤	共有プリンタをモニタさせる	チェックすると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。 本書 226 ページ「Windows でのプリンタの共有」

EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバを削除するときに同時に削除されますが、ここでは EPSON プリンタウィンドウ !3 だけを削除（アンインストール）する手順を説明します。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは削除できません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administratorsグループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

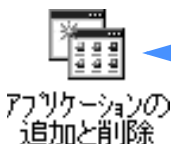
1. **プリンタの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。**
2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
   - **Windows XP の場合**

     ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
   - **Windows 98/Me/2000**

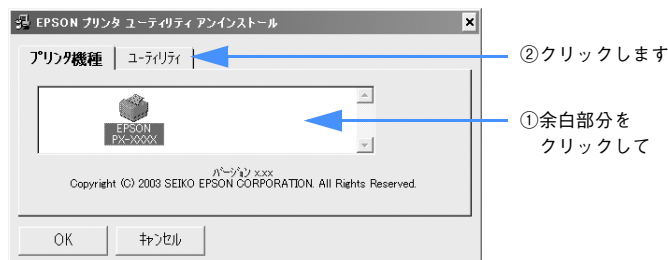
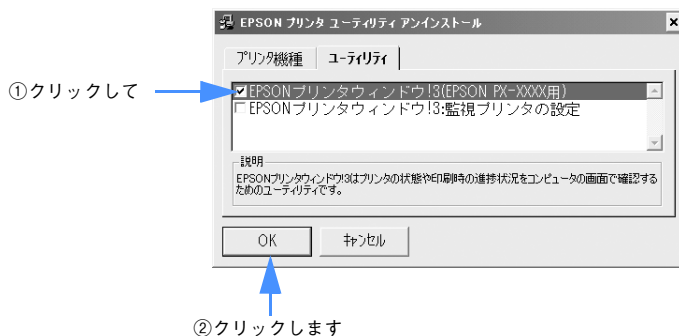
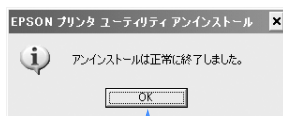
     ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。
3. **［プログラムの追加と削除］または［アプリケーションの追加と削除］を開きます。**
   - **Windows XP の場合**

     ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

   - **Windows 98/Me/2000 の場合**

     ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

5 プリンタドライバのアイコン表示のない余白部分をクリックして、［ユーティリティ］タブをクリックします。

余白部分をクリックすることで、どのプリンタドライバも選択していない状態にします。

6 本機用の［EPSON プリンタウィンドウ !3］をチェックして、［OK］をクリックします。

7 ［はい］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

以上で EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除できます。

オートヘッドクリーニング

ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを自動で確認し、目詰まりしている場合はヘッドクリーニングを行います。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 282 ページ「ノズルチェック」

*1　プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2　ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったらヘッドクリーニングをしてください。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、スーパーファイン紙を使用して行います。

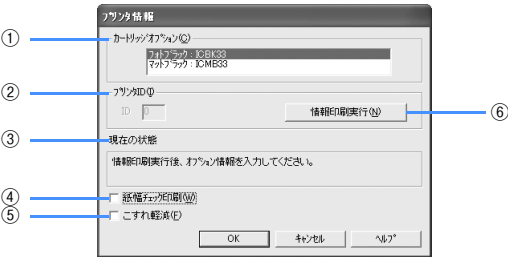
本書 290 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

すべての調整パターン印刷には約２分かかります。

プリンタ情報

インクカートリッジの装着情報や、色の再現性を向上させるためのプリンタの ID 情報を取得します。どちらのプリンタ情報も、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合にのみ自動的に取得されます。（EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合やアンインストールしてある場合は［カートリッジオプション］で、本機にセットしている黒インクカートリッジを設定してください。）
また印刷品質（紙幅チェック、こすれ軽減）に関する設定も行えます。

①	カートリッジオプション	セットしているインクカートリッジを選択します。
②	プリンタ ID	プリンタ ID が表示されます。
③	現在の状態	現在の状態を示すメッセージを表示します。
④	紙幅チェック印刷	用紙幅をチェックしながら、インクがはみ出さないように印刷します。
⑤	こすれ軽減	印刷にこすれがある場合、こすれを軽減しながら印刷します。
⑥	情報印刷実行	プリンタ ID 情報が印刷されます。

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS 9）

ここでは、本機に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

☞ セットアップガイド「5. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

☞ 本書 300 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

☞ 本書 78 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。

プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの起動方法

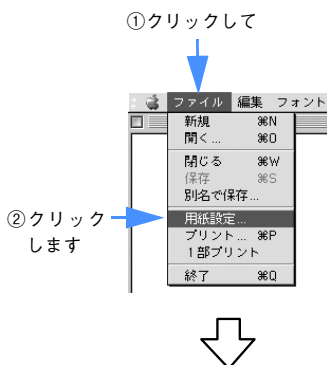
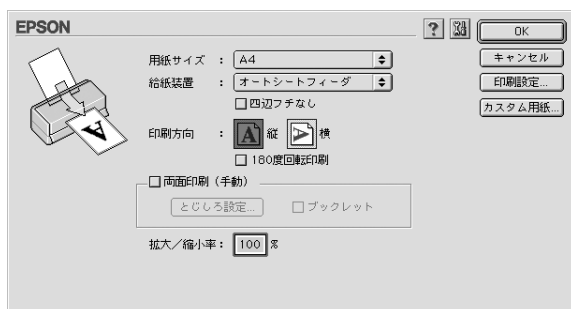
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 種類があり、それぞれ表示する手順が異なります。

［用紙設定］画面	用紙に関する設定（用紙サイズなど）をする画面です。
［印刷］画面	印刷品質に関する設定をする画面です。

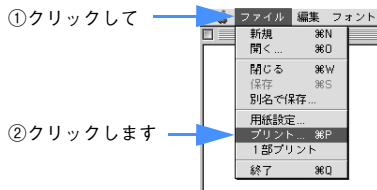
お使いのアプリケーションソフトによって、画面を表示する手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

［用紙設定］画面を表示する

［用紙設定］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［用紙設定］をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。

［印刷］画面を表示する

［印刷］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定画面では、以下の項目を設定します。

［詳細設定］画面

［印刷］画面で［詳細設定］を選択して［設定変更］をクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面では印刷に関する項目を設定します。
画面内の各項目は、［用紙種類］、［カラー］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が決まります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

①	用紙種類	印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。
②	カラー	• カラー印刷をする場合は［カラー］を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は［モノクロ写真］を選択します。 ☞ 本書 167 ページ「モノクロ写真印刷の詳細設定」 • 線画などのモノクロ印刷をする場合は［黒］を選択します。
		参考 用紙に関する情報は、本書 360 ページ「用紙について」をご覧ください。

	項目	内容	
③	印刷品質	印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。 使用する用紙により初期値が異なります。	
		ドラフト -360dpi	インク消費量を節約しながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
		スーパーファイン - 720dpi	720dpi の解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
		フォト -1440dpi	1440dpi の解像度で印刷します。印刷時間はかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
		スーパーフォト - 1440dpi	1440dpi の解像度で印刷します。印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。
		スーパーフォト - 2880dpi	2880dpi の解像度で印刷します。さらに印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。
		参考 ［用紙種類］で選択した用紙の種類によって、［印刷品質］で表示される項目が異なります。	
④	双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速で印刷できます。ただし、印刷品質が低下する場合があります。	
⑤	左右反転	左右を反転させて印刷する場合はチェックします。	
⑥	スムージング（文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにします。ただし、印刷時間が長くなります。	
		参考 ［スムージング］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。	
⑦	Web スムージング	インターネットからダウンロードした低解像度のイラストやロゴなどの輪郭を滑らかにします。	
⑧	紙幅チェック印刷	用紙幅をチェックしながら、インクがはみ出さないように印刷します。	
⑨	こすれ軽減	印刷にこすれがある場合、こすれを軽減しながら印刷します。	
⑩	［用紙調整］	用紙関連の調整（インク濃度、乾燥時間）を行います。 本書 68 ページ「［用紙調整］画面」	
⑪	［保存 / 削除］	［詳細設定］画面の設定を保存したり、削除します。	

⑫	**プリンタのカラー調整**	カラー設定の方法を選択します。［マニュアル色補正］、［オートフォトファイン !6］［ColorSync］を選択した場合、画面の下部で詳細を設定します。	
		マニュアル色補正	プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。（画面下部のポップアップメニューとスライドバーが有効になります） ☞ 本書 64 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」
		オートフォトファイン !6	エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン !6 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。画面下部にオートフォトファイン !6 の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。 ☞ 本書 66 ページ「［オートフォトファイン !6］を選択した場合」
		ColorSync	ColorSync によるカラーマッチングを行います。 ☞ 本書 67 ページ「［ColorSync］を選択した場合」
		オフ（色補正なし）	ドライバでは色補正を行いません。ColorSync 用プロファイル（色補正データ）を作成する際など、基準色を印刷するときにはこの設定を選択します。

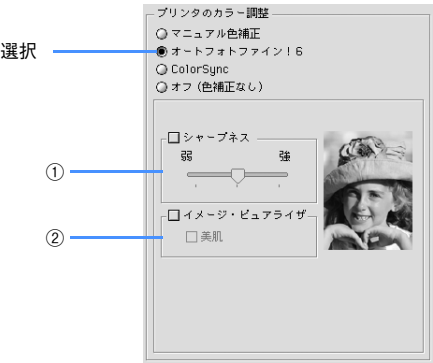
［マニュアル色補正］を選択した場合

［プリンタのカラー調整］で［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

①	色補正方法	自然な色あい	本製品で自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。
		あざやかな色あい	本製品で彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。
		EPSON 基準色（sRGB）	初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。
		Adobe RGB	Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。
②	ガンマ	［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。	
		1.5	ガンマ値1.8に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
		1.8	初期値です。
		2.2	ガンマ値 1.8 に比べ硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値1.8の画像でメリハリがない場合に使用してください。

<table>
<tr><td rowspan="5">③</td><td rowspan="4">スライドバー</td><td>明度</td><td>画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。</td></tr>
<tr><td>シアン / マゼンタ / イエロー</td><td>それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><th></th><th>（－）◀―</th><th>0　―▶（＋）</th></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。</td><td>青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。</td><td>赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。</td><td>黄色（イエロー）を強くします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="3">参考
通常はスライドバーでの調整は必要ありません。必要に応じて調整してください。</td></tr>
</table>

［オートフォトファイン !6］を選択した場合

［プリンタのカラー調整］で［オートフォトファイン !6］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

①	シャープネス	画像の輪郭を強調します。 加える効果の強弱は、［弱 / 強］のスライドバーで調整します。
②	イメージ・ピュアライザ	チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。 ［美肌］をチェックすると、人物に適した色補正をします。
		参考 • オートフォトファイン !6 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。 • エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !6 は使用しないでください。

[ColorSync] を選択した場合

[プリンタのカラー調整] で [ColorSync] を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

<table>
<tr><td rowspan="3">①</td><td rowspan="3">プロファイル</td><td colspan="2">通常は、[EPSON 標準] を選択してください。</td></tr>
<tr><td>EPSON 標準</td><td>本機からの印刷用に最適化されています。[用紙種類] で選択したエプソン純正用紙用のプロファイルが適用されます。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>通常は選択できません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。通常の印刷では、[EPSON 標準] 以外を選択する必要はありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②</td><td rowspan="4">マッチング方法</td><td>自然な色あい</td><td>自然な発色状態になるように処理をします。写真などの印刷に適しています。</td></tr>
<tr><td>あざやかな色あい</td><td>画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。</td></tr>
<tr><td>特定色マッチ</td><td>特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色、できる限り正しく印刷されるような色処理を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考
[ColorSync]の設定は、カラー印刷の場合のみ選択します。必ず、ColorSyncに対応したアプリケーションを使用してください。例えばAdobeアプリケーションでは、プリンタドライバの [ColorSync] 設定を使用する場合、「プリントカラースペース」を「プリンタ側でカラーマネージメント」の設定にしてください。</td></tr>
</table>

[オフ（色補正なし）] を選択した場合

プリンタドライバでは色補正を行いません。アプリケーションソフトですべてのカラーマネージメントを行う場合に選択します。

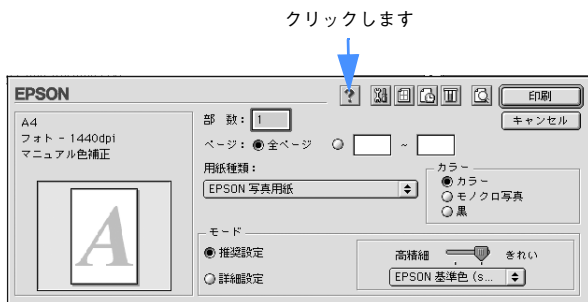
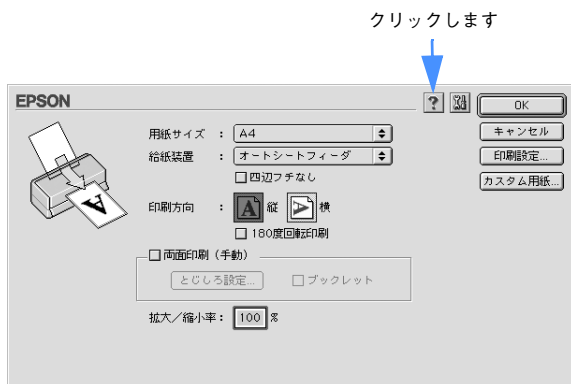
[用紙調整］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、この画面でお使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、試し印刷時にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。
②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。
		参考 • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいときがあります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。
③	［デフォルト］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

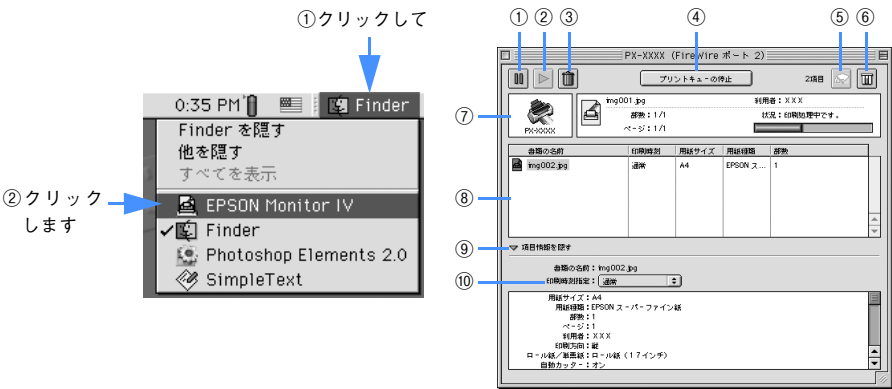
ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。ヘルプを表示させたいときはプリンタドライバ画面の上にある ? をクリックします。

- ［印刷］画面

- ［用紙設定］画面

印刷状況の確認

EPSON Monitor IV で印刷状況を確認できます。

EPSON Monitor IV で確認する

EPSON Monitor IV を使って、バックグラウンドプリントと、現在印刷しているジョブやこれから印刷するジョブを確認したり、印刷を中止したりできます。
EPSON Monitor IV を表示するには、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。印刷していないときは、ハードディスク内の［システムフォルダ］－［機能拡張フォルダ］にある［EPSON Monitor IV］アイコンをダブルクリックします。

①		印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にします。
②		保留状態を解除します。 印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択して、ボタンをクリックしてください。
③		印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除します。
④	［プリントキューの停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。 ［プリントキューの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します（印刷データは、Mac OS を終了してもすべて保持されます）。 この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。
⑤		プリントヘッドのノズルをクリーニングします。印刷中は実行できません。
⑥		インク残量モニタを表示します。
⑦	状態表示部	印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。
⑧	スプールファイルリスト	印刷待ちのジョブを表示されます。

<table>
<tr><td>⑨</td><td>項目情報を隠す / 表示</td><td colspan="2">項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">⑩</td><td rowspan="5">項目情報</td><td colspan="2">状態表示部またはスプールファイルリストから選択したジョブの名称やプリンタドライバの設定状況などを表示します。「印刷時刻指定」では、［至急］［通常］［保留］［印刷時刻指定］を選択でき、印刷の順番が指定できます。</td></tr>
<tr><td>至急</td><td>プリントキュー内のほかの印刷データより優先して印刷するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>通常</td><td>プリントキューに記憶された順番で印刷するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>印刷時刻指定</td><td>印刷を実行する日時を指定できます。</td></tr>
<tr><td>保留</td><td>印刷データをプリントキューに記憶した状態のままにするときに選択します。</td></tr>
</table>

バックグラウンドプリントを［切］に設定してあると、以下の画面が表示され、印刷の進行状況とインクの残量のみが表示されます。

印刷中に問題が起こったときは

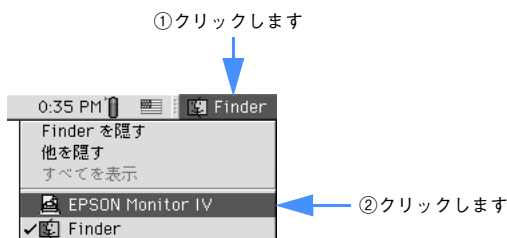
インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。
この場合は［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

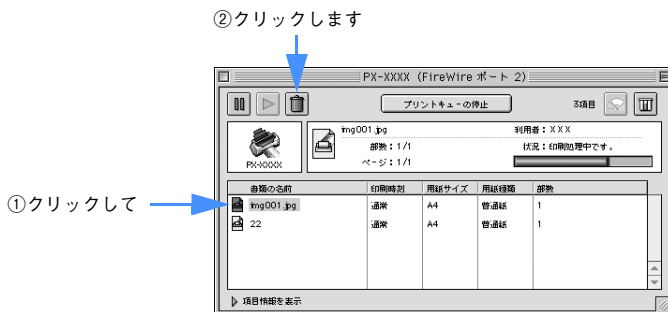
印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側では操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

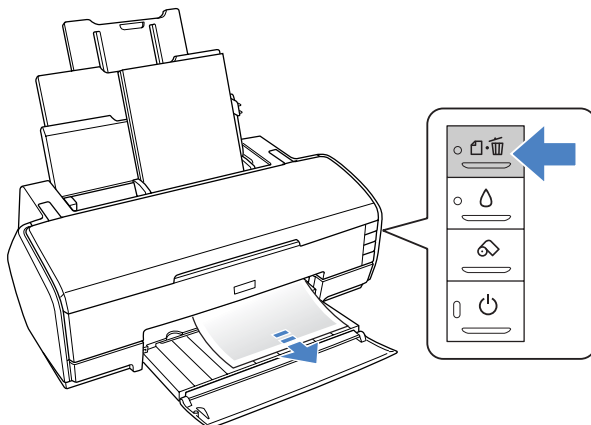
1 **バックグラウンドプリント使用時はアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。**

バックグラウンドプリント未使用時はコマンド（ ⌘ ）キーを押したままピリオド（．）キーを押すことで正常に印刷が終了します。

2 **中止したい印刷データをクリックし、🗑 をクリックします。**

印刷が中止されます。画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の表示に従ってください。

プリンタ本体で中止する

プリンタ本体側で印刷を中止します。この場合、他の印刷データもすべて消去されます。

［用紙］ボタンを押します。

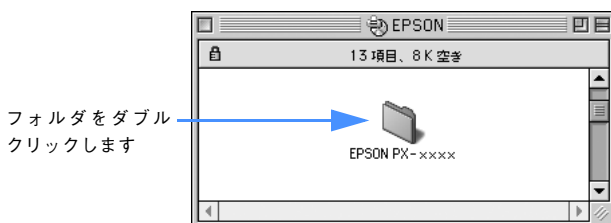
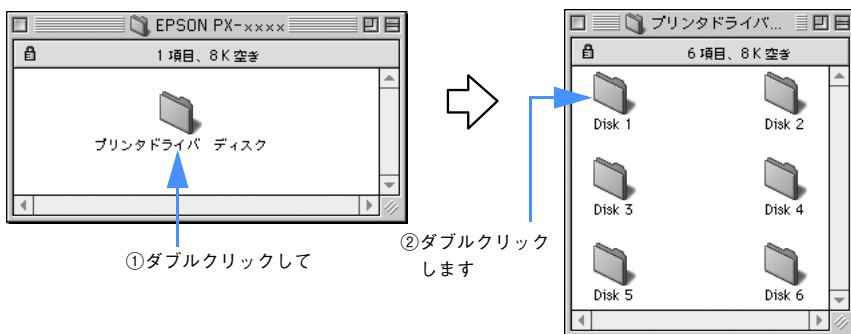
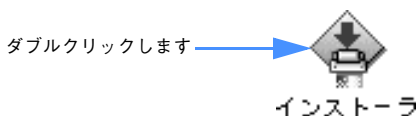
印刷を中止して、用紙を排紙します。

！注意	上記の操作では、コンピュータ内の印刷待ちデータを削除することはできません。コンピュータ内の印刷待ちデータを削除する場合は、以下のページをご覧ください。 本書 73 ページ「コンピュータで中止する」

プリンタドライバの削除

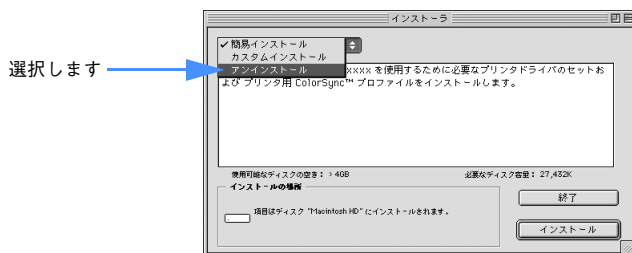
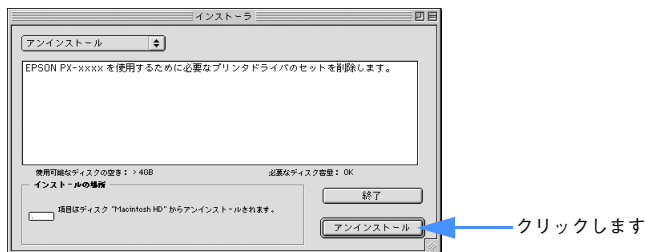
プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

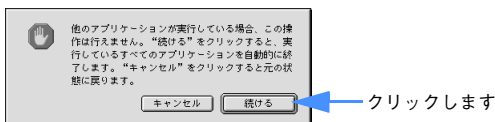
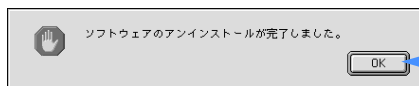
1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。**

3 **［EPSON PX-5500］フォルダを開きます。**

4 **［プリンタドライバディスク］フォルダ内の［Disk 1］フォルダを開きます。**

5 **［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。**

6 ［続ける］をクリックします。

7 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

8 画面左上のメニューから［アンインストール］を選択します。

9 ［アンインストール］をクリックします。

10 起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。

アプリケーションソフトを強制的に終了することで作成中のデータが消えてしまうような場合は、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、やり直してください。

⑪ ［OK］をクリックします。

⑫ ［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。

EPSON プリンタウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

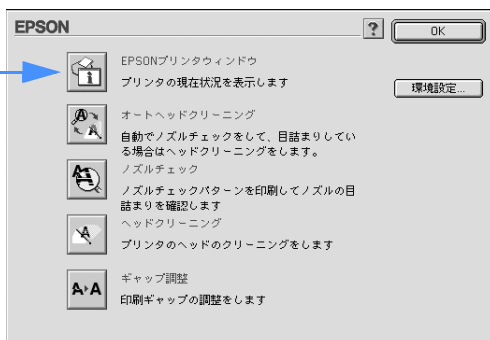
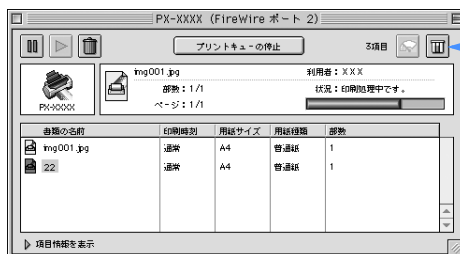
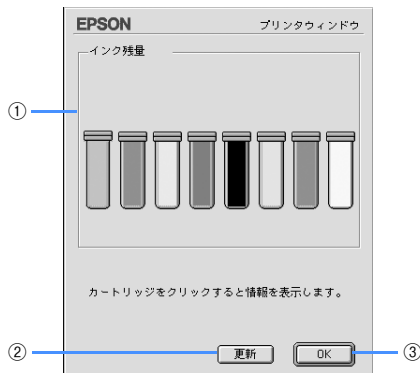
EPSON プリンタウィンドウ は、3 通りの方法で起動することができます。

■［方法 1］

［印刷］画面を開いて をクリックします。

■［方法 2］

［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。［ユーティリティ］画面の アイコンをクリックします。

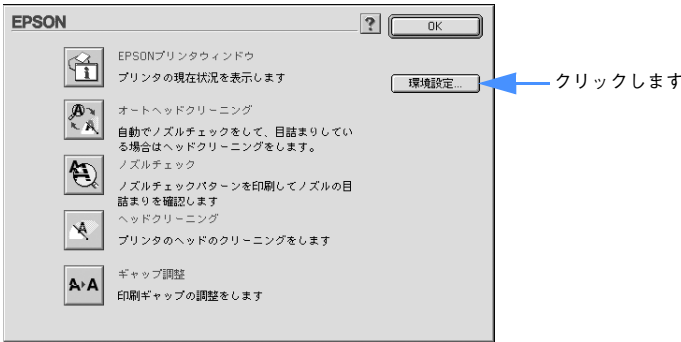
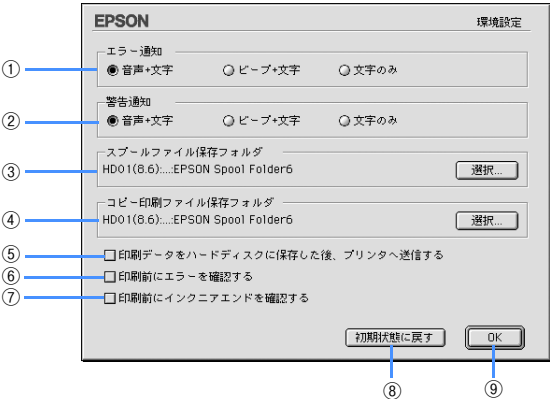
■［方法 3］

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定していると、印刷実行時に［EPSON Monitor IV］が起動します。［EPSON Monitor IV］の をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウの見方

①	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。
②	[更新]	最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。
③	[OK]	EPSON プリンタウィンドウを終了します。

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

☞ 本書 71 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウのモニタ機能を設定します。エラーの通知方法や、印刷実行前に確認する項目などを設定できます。モニタの設定を行うために、［環境設定］画面を開きます。［ユーティリティ］画面を開いて、［環境設定］をクリックします。

- ［環境設定］画面

①	エラー通知	プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。
②	警告通知	警告の通知方法を選択します。
③	スプールファイル保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］をクリックしてください。
④	コピー印刷ファイル保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］をクリックしてください。
⑤	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタへ送信する	印刷データを一旦ハードディスクに保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅いコンピュータで使用すると、印刷中一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印刷品質の低下を防ぐことができます。

⑥	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合にチェックします。
⑦	印刷前にインクニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合にチェックします。
⑧	[初期状態に戻す]	設定値を購入時の状態に戻します。
⑨	[OK]	環境設定を保存して終了します。

オートヘッドクリーニング

ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを自動で確認し、目詰まりしている場合はヘッドクリーニングを行います。通常はオートヘッドクリーニングをお勧めします。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド*1 のノズル*2 が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 282 ページ「ノズルチェック」

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、印刷結果にスジが入るようになったら、ヘッドクリーニングをしてください。
☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、スーパーファイン紙を使用して行います。
☞ 本書 290 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

すべての調整パターン印刷には約 2 分かかります。

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS X）

ここでは、本製品に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

☞ セットアップガイド「5. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

☞ 本書 300 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。
☞ 本書 107 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリントアシスト	電子マニュアルを起動します。

プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの起動方法

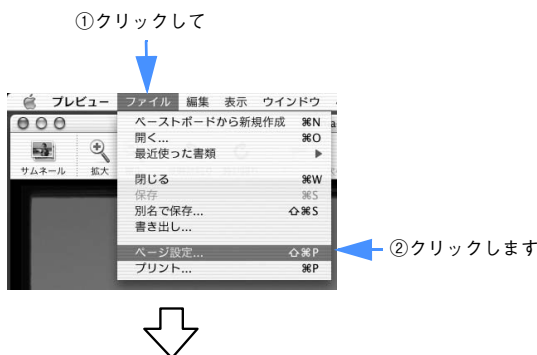
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 種類あり、それぞれ表示する手順が異なります。

［用紙設定］画面	用紙に関する設定（用紙サイズなど）をする画面です。
［印刷］画面	印刷品質に関する設定をする画面です。

お使いのアプリケーションソフトによって、画面を表示する手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

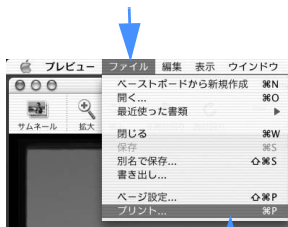
［用紙設定］画面を表示する

［用紙設定］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［ページ設定］または［用紙設定］をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。
「用紙サイズ」の項目では、用紙サイズ、フチなし方法、給紙方法を選択できます。

[印刷]画面を表示する

[印刷]画面は、以下の手順で表示します。

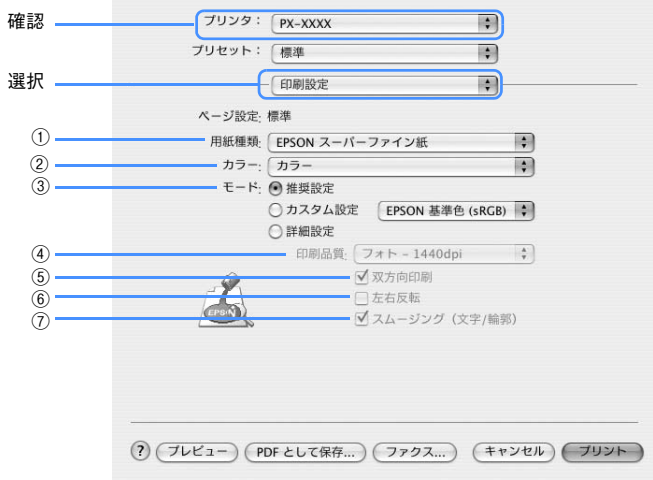
アプリケーションソフトで、[ファイル]－[プリント]をクリックします。

[印刷]画面が表示されます。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定画面では、以下の項目を設定します。

[印刷設定] 画面

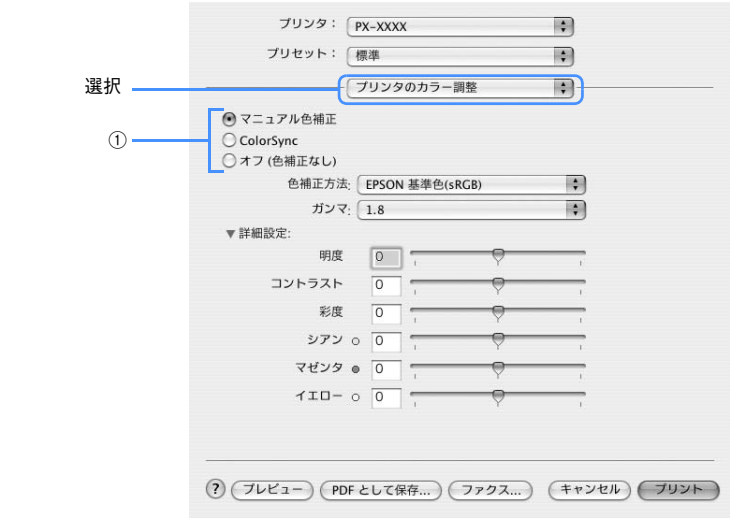
[印刷] 画面で [印刷設定] を選択すると、以下の画面が表示されます。[プリンタ] で本機が選択されていることを確認してください。この画面では印刷に関する項目を設定します。

- [モード] で [詳細設定] を選択すると、[詳細設定] の項目が有効になります。
- 画面内の各項目は、[用紙種類]、[カラー]、[印刷品質] の組み合わせで選択できる項目が決まります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

[ページ設定] の項目は、[用紙設定] で選択した用紙サイズなどによって、表示される名称が異なります。

①	用紙種類	印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。
②	カラー	• カラー印刷をする場合は [カラー] を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は [モノクロ写真] を選択します。 ☞ 本書 167 ページ「モノクロ写真印刷の詳細設定」 • 線画などのモノクロ印刷をする場合は [黒] を選択します。

③	モード	印刷のモードを、ポップアップメニューの中から選択します。	
		推奨設定	プリンタドライバに印刷の設定を自動的にさせるときに選択します。
		カスタム設定	一覧の中から、印刷に用いる設定を選択します。
		詳細設定	印刷品質や印刷の詳細設定をする場合に選択します。
④	印刷品質	印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。 使用する用紙により初期値が異なります。	
		ドラフト -360dpi	インク消費量を節約しながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
		スーパーファイン -720dpi	720dpi の解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
		フォト -1440dpi	1440dpi の解像度で印刷します。印刷時間はかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
		スーパーフォト -1440dpi	1440dpi の解像度で印刷します。印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。
		スーパーフォト -2880dpi	2880dpi の解像度で印刷します。さらに印刷ムラのない写真品質の印刷結果が得られます。
		参考 ［用紙種類］で選択した用紙の種類によって、［印刷品質］で表示される項目が異なります。	
⑤	双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質が低下する場合があります。	
⑥	左右反転	左右を反転させて印刷する場合はチェックします。	
⑦	スムージング（文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにします。ただし、印刷時間が長くなります。	
		参考 ［スムージング］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。	

［プリンタのカラー調整］画面

［印刷］画面で［プリンタのカラー調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。この画面ではカラー調整の方法を設定します。
［ColorSync］または［オフ（色補正なし）］を選択すると、画面下部の項目はグレーアウトされて無効となります。

①	設定項目	設定は以下の項目から選択します。	
		マニュアル色補正	プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。（画面下部のポップアップメニューとスライドバーが有効になります） ☞ 本書 92 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」
		ColorSync	ColorSync によるカラーマッチングを行います。
		オフ（色補正なし）	ドライバでは色補正を行いません。ColorSync 用プロファイル（色補正データ）を作成する際など、基準色を印刷するときにはこの設定を選択します。

［マニュアル色補正］を選択した場合

［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が有効になります。

①	色補正方法	自然な色あい	本製品で自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。
		あざやかな色あい	本製品で彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。
		EPSON 基準色（sRGB）	初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。
		Adobe RGB	Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。
②	ガンマ	［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。	
		1.5	ガンマ値1.8に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
		1.8	初期値です。
		2.2	ガンマ値 1.8 に比べ硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値1.8の画像でメリハリがない場合に使用してください。

<table>
<tr><td rowspan="5">③</td><td rowspan="4">スライドバー</td><td>明度</td><td>画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。</td></tr>
<tr><td>シアン / マゼンタ / イエロー</td><td>それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><td></td><td>（－）◀―― 0 ――▶（＋）</td><td></td></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。</td><td>青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。</td><td>赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。</td><td>黄色（イエロー）を強くします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="3">参考
• 通常はスライドバーでの調整は必要ありません。必要に応じて調整してください。
• スライドバーが表示されていないときは、［詳細設定］の左にある三角形をクリックすると表示されます。</td></tr>
</table>

［オフ（色補正なし）］を選択した場合

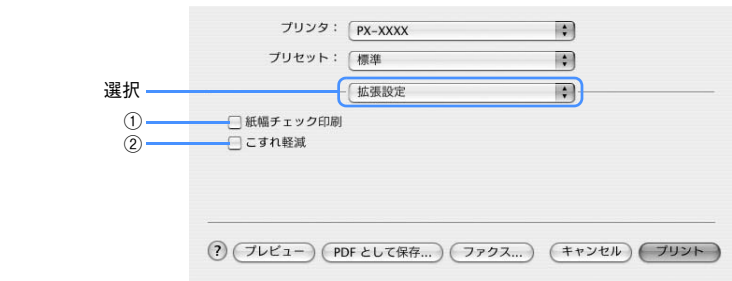
プリンタドライバでは色補正を行いません。アプリケーションソフトですべてのカラーマネージメントを行う場合に選択します。

［用紙調整］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、この画面でお使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

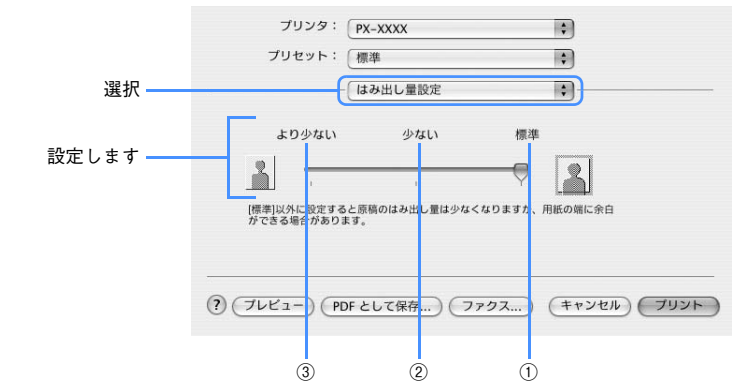
①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、試し印刷時にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。
②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。 参考 • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいときがあります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。
③	［デフォルト］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

［拡張設定］画面

以下の機能を選択できます。

①	紙幅チェック印刷	用紙幅をチェックしながら、インクがはみ出さないように印刷します。
②	こすれ軽減	印刷にこすれがある場合、こすれを軽減しながら印刷します。

［はみ出し量設定］画面

［ページ設定］の用紙選択で［四辺フチなし］を選択した場合に表示されます。

☞ 本書 112 ページ「フチなし印刷」

①	標準	通常はこの設定を選択します。
②	少ない	「標準」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。
③	より少ない	「少ない」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。

［ロール紙オプション］画面

［ページ設定］の用紙選択で［ロール紙］を選択した場合に表示されます。
表示は選択した項目により異なります。

①	長尺	長尺印刷用のアプリケーションソフトから印刷する際に選択します。 （ページごとの上下の余白を 0 にして印刷します。）
②	定型	印刷するデータが A4・A3 などの定型紙サイズの場合に選択します。
③	ロール紙節約	①［長尺］をクリックしたときに選択できます。データの最後の余白が不必要な場合に選択します。ロール紙節約 データの最後に余白部分がある場合に、ページの下端まで紙送りをせずに印刷を停止します。
④	ページ枠印刷	②［定型］をクリックしたときに選択できます。ページの枠を印刷します。

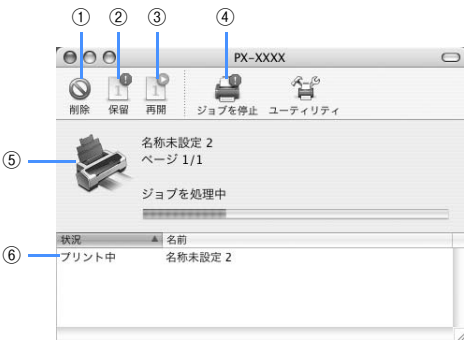
ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプを表示させたいときは画面左下の をクリックします。

印刷状況の確認

プリンタ設定ユーティリティで印刷状況を確認できます。

プリンタ設定ユーティリティで確認する

プリンタ設定ユーティリティでは、現在印刷しているジョブやこれから印刷するジョブを確認したり、印刷を中止したりできます。プリンタ設定ユーティリティの表示をするには、印刷中に Dock から該当するアイコンをクリックし、表示された［プリンタリスト］で［プリント中］と表示されているプリンタをダブルクリックします。

①	[削除]	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除します。
②	[保留]	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にします。
③	[再開]	保留状態を解除します。 印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択して、ボタンをクリックしてください。
④	[ジョブを停止]	印刷の停止と解除（開始）を選択します。[ジョブの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します（印刷データは、Mac OS を終了してもすべて保持されます）。この場合［ジョブの開始］を選択すると、印刷を開始します。
⑤	状態表示部	印刷中のジョブの名称や進行状況などを表示します。
⑥	スプールファイルリスト	印刷待ちのジョブを表示します。

Mac OS X v10.2 の場合は［プリントセンター]、Mac OS X v10.3 以降の場合は［プリンタ設定ユーティリティ］という名称になります。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。この場合は［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側では操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

1 **プリンタの電源をオンにしてハードディスクのアイコンをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］というアイコンはお使いの環境によって異なります

2 **［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

［ユーティリティ］フォルダが表示されない場合は、ウィンドウ右のスライドバーを使って画面をスクロールします

3 **［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。**

［プリンタ設定ユーティリティ］は Mac OS X v10.2.X は［プリントセンター］という名称です。

4 ［プリント中］と表示されているプリンタをダブルクリックします。

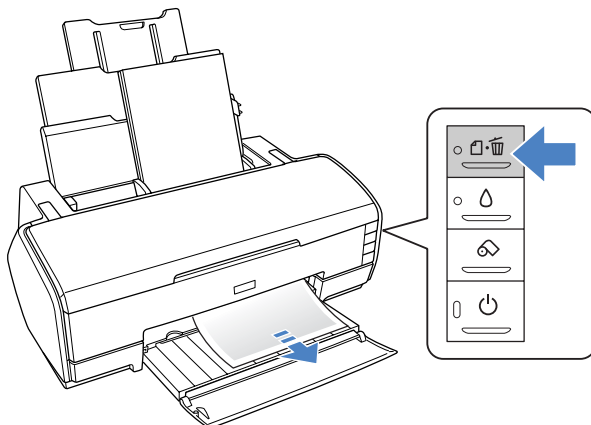
5 中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。

画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。これで印刷が中止されます。

プリンタ本体で中止する

プリンタ本体側で印刷を中止します。この場合、他の印刷データもすべて消去されます。

［用紙］ボタンを押します。

印刷を中止して、用紙を排紙します。

！注意	上記の操作では、コンピュータ内の印刷待ちデータを削除することはできません。コンピュータ内の印刷待ちデータを削除する場合は、以下のページをご覧ください。 本書 101 ページ「コンピュータで中止する」

プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

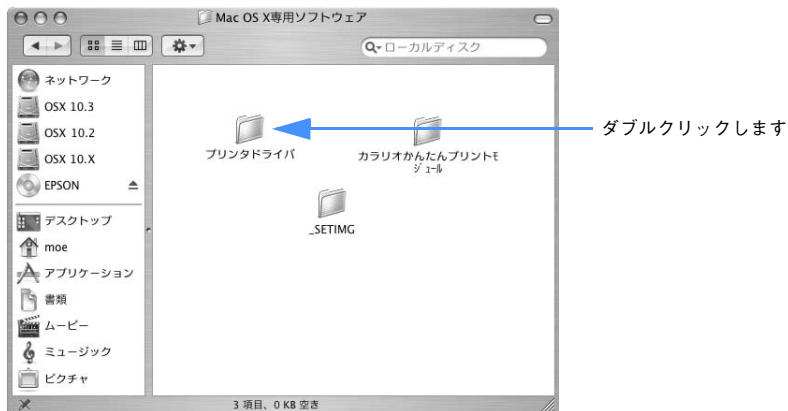
プリンタドライバのアンインストール

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

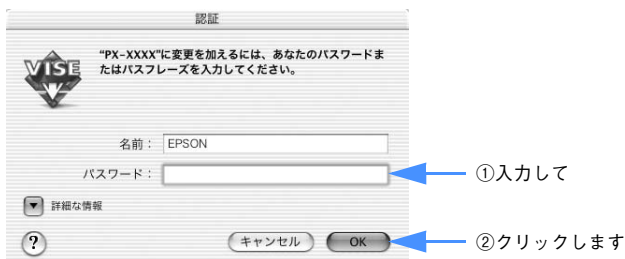
2. **「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

3. **［Mac OS X 専用ソフトウェア］フォルダをダブルクリックします。**

上の画面が表示されないときは、デスクトップ上の［EPSON］アイコンをダブルクリックします。

4 ［プリンタドライバ］フォルダをダブルクリックします。

5 本機のアイコンをダブルクリックします。

6 次の画面が表示されたら、Mac OS X にログインしているユーザーのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールには管理者の権限が必要です。
必ず管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

7. ［続ける］をクリックします。

8. 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意］をクリックします。

9. リストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

10. ［OK］をクリックします。
この後は、画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

11. アンインストールが終了したら、［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

プリンタリストの名称削除

プリンタドライバを削除しても、［プリンタリスト］にプリンタ名が残っていることがあります。そのプリンタ名を選択して印刷を実行しても、エラーが発生して印刷できません。完全にプリンタを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. ［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

2. ［プリンタリスト］から削除したいプリンタ名を選択します。

3. ［削除］をクリックし、プリンタ名を削除します。

以上でプリンタリストの名称削除は終了です。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
オートヘッドクリーニング	ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリントアシスト	電子マニュアルを起動します。

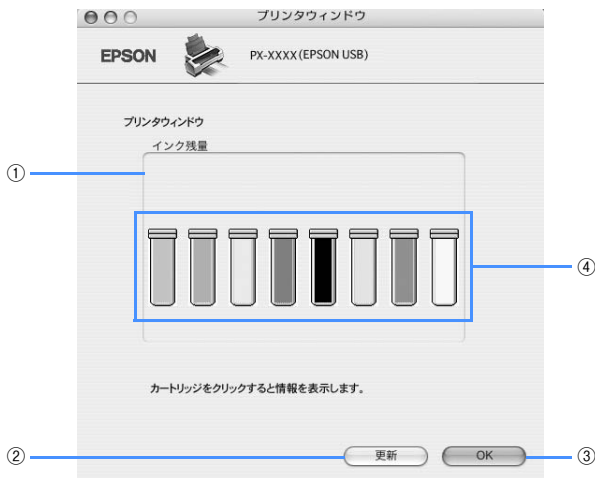
EPSON プリンタウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

EPSON プリンタウィンドウの起動は、以下の手順で行います。

［ハードディスク］アイコンをダブルクリック、［アプリケーション］アイコンをクリック、［ユーティリティ］アイコンをダブルクリック、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリック、の順に操作すると、［プリンタリスト］が開きます。
この画面で本機をダブルクリックすると、［EPSON Printer Utility］画面が開きます。続けて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックすると EPSON プリンタウィンドウが起動します。

EPSON プリンタウィンドウの見方

①	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。
②	[更新]	最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。
③	[OK]	EPSON プリンタウィンドウを終了します。
④	カートリッジ情報	クリックするとインクカートリッジの型番や名称を確認できます。

参考

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

☞ 本書 99 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

オートヘッドクリーニング

ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを自動で確認し、目詰まりしている場合はヘッドクリーニングを行います。

☞ 本書 281 ページ「オートヘッドクリーニング」

オートヘッドクリーニング
自動でノズルチェックをして、目詰まりしている場合はヘッドクリーニングをします。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 282 ページ「ノズルチェック」

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

ノズルチェック
ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、印刷結果にスジが入るようになったら、ヘッドクリーニングをしてください。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ヘッドクリーニング
プリンタのヘッドのクリーニングをします

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、スーパーファイン紙を使用して行います。

ギャップ調整
印刷ギャップの調整をします

☞ 本書 290 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

すべての調整パターン印刷には約 2 分かかります。

プリントアシスト

「プリンタドライバユーティリティ」の［プリントアシスト］をクリックすると、次の内容が表示されます。

- 電子マニュアル
- MAXART サポートページへのリンク

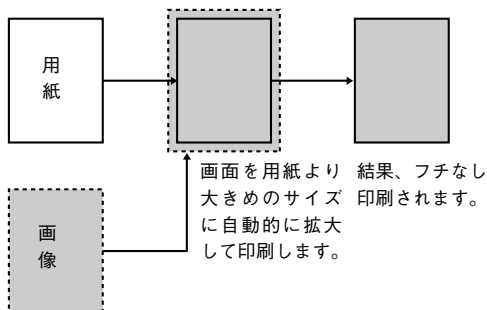
プリントアシスト
プリントアシストを起動します

- 電子マニュアルがインストールされていない場合、お使いのコンピュータがインターネット接続環境にあるときは、インターネットを経由してエプソンのホームページに接続されます。
- 電子マニュアルは同梱のCD-ROM に収録されており、通常はプリンタドライバと一緒にコンピュータにインストールされます。

目的別印刷方法

ここでは、印刷の手順やプリンタドライバの詳細な設定などについて、印刷の目的別に説明します。

フチなし印刷

標準の印刷では、プリンタの構造上どうしても余白ができてしまい、用紙全面に印刷することはできません。ただし、フチなし印刷機能を使うことで、フチ（余白）のない印刷ができます。ロール紙の場合は左右フチなし印刷となり、印刷後にカットする必要があります。単票紙の場合は四辺フチなし印刷となります。

フチなし印刷の対応用紙

フチなし印刷できる用紙と用紙幅は次の通りです。

フチなし印刷対応用紙＜エプソン純正専用紙＞

	用紙名称	用紙幅
ロール紙	写真用紙＜光沢＞ロールタイプ	89mm（L 判） 100mm（ハガキ） 127mm（L 判 / 2 L 判） 210mm（A4 ） 329mm（A3 ノビ）
	写真用紙＜絹目調＞ロールタイプ	89mm（L 判） 100mm（ハガキ） 127mm（L 判 / 2 L 判） 210mm（A4 ） 329mm（A3 ノビ）
	フォトマット紙 / 顔料専用	89mm（L 判） 100mm（ハガキ） 210mm（A4 ）
	PX プルーフ用紙ロール＜微光沢＞	約 329mm（A3 ノビ）
単票紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4、A3
	スーパーファイン紙	A4、A3、A3 ノビ
	フォトマット紙 / 顔料専用	A4、A3、A3 ノビ
	画材用紙 / 顔料専用	A3 ノビ
	写真用紙＜光沢＞	L 判 /2L 判、六切、A4、四切、A3、A3 ノビ
	写真用紙＜絹目調＞	L 判 /2L 判、ハガキ、A4、A3、A3 ノビ
	PX プルーフ用紙＜微光沢＞	A3 ノビ
	Velvet Fine Art Paper	A3 ノビ
	UltraSmooth Fine Art Paper	A3 ノビ

規格サイズ * よりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。フチなし印刷する場合は、規格サイズの用紙をお使いください。

*A3 ノビ：329 × 483mm/A3：297 × 420mm/A4：210 × 297mm/ ハガキ：100 × 148mm/L 判：89 × 127mm/2L 判：127 × 178mm/ 六切：203 × 254mm/ 四切：254 × 305mm

フチなし印刷対応用紙サイズ<一般の用紙>

サイズ	単票紙	ロール紙
L 判（89 × 127mm）	○	○
2L 判（127 × 178mm）	○	○
A4（210.0 × 297.0mm）	○	○
A3（297.0 × 420.0mm）	○	○
A3 ノビ（329.0 × 483.0mm）	○	○
六切（203 × 254mm）	○	×
四切（254 × 305mm）	○	×
4 × 6 判（100 × 152mm）	×	○
ハガキ（100 × 148mm）	○	○
名刺（89 × 55mm）	×	○
ユーザー定義サイズ	×	○ *1

○：フチなし印刷推奨用紙
×：フチなし印刷不可な用紙（サイズ的にフチなし印刷はできません）
*1 フチなし印刷可能な用紙幅の場合のみ

アプリケーションの設定

アプリケーションソフトの［用紙設定］で、用意した紙サイズを設定し、印刷データの作成と設定は以下のようにします。

- 用紙サイズいっぱいになるように印刷データを作成します。
- 余白設定できる場合は、余白を「0mm」に設定します。

詳しくは本書 126 ページ「アプリケーションごとの設定例」をご覧ください。

プリンタドライバの設定

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

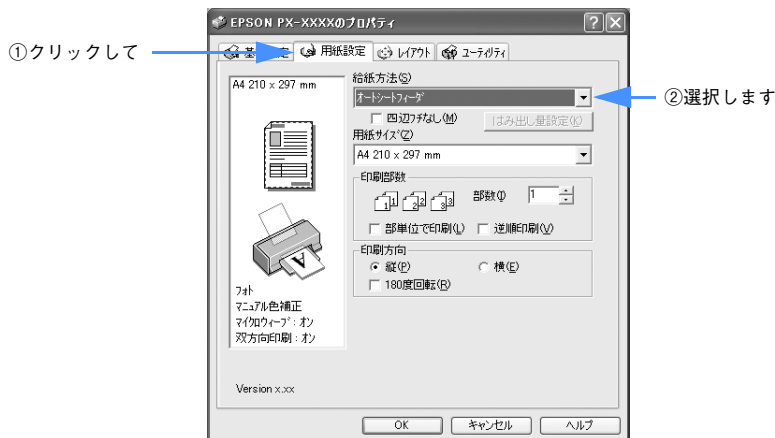
☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

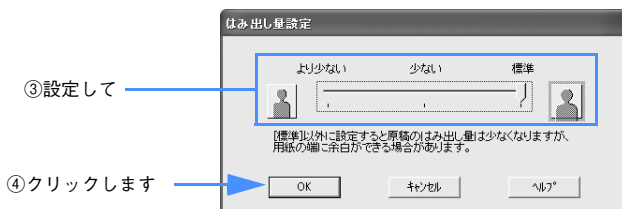
2 **［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。**

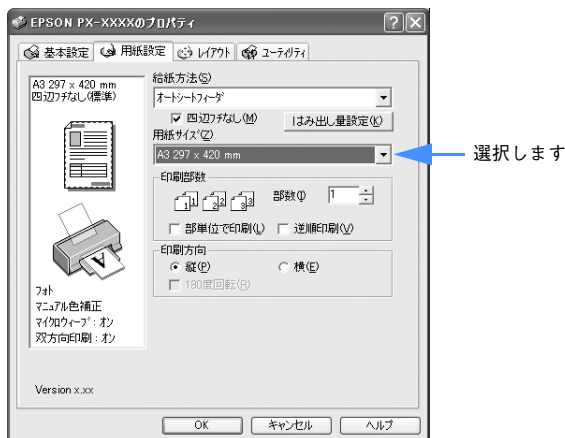
セットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。

☞ 本書 247 ページ「エプソン純正専用紙」

3 ［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］を選択します。

給紙場所	給紙装置の設定
ロール紙に印刷	［ロール紙］
オートシートフィーダにセットした単票紙に印刷	［オートシートフィーダ］
背面給紙口に手差しでセットした単票紙に印刷	［リア手差し］

［フロント手差し（厚紙）］から給紙する場合はフチなし印刷はできません。

4 ［四辺フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、はみ出し量を設定します。

標準	通常はこの設定を選択します。
少ない	「標準」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。
より少ない	「少ない」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。

5 ［用紙サイズ］を選択します。

アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い［用紙サイズ］を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

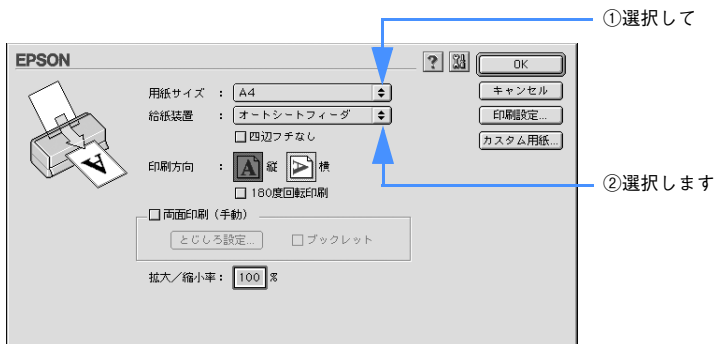
以上でフチなし印刷の設定は終了です。

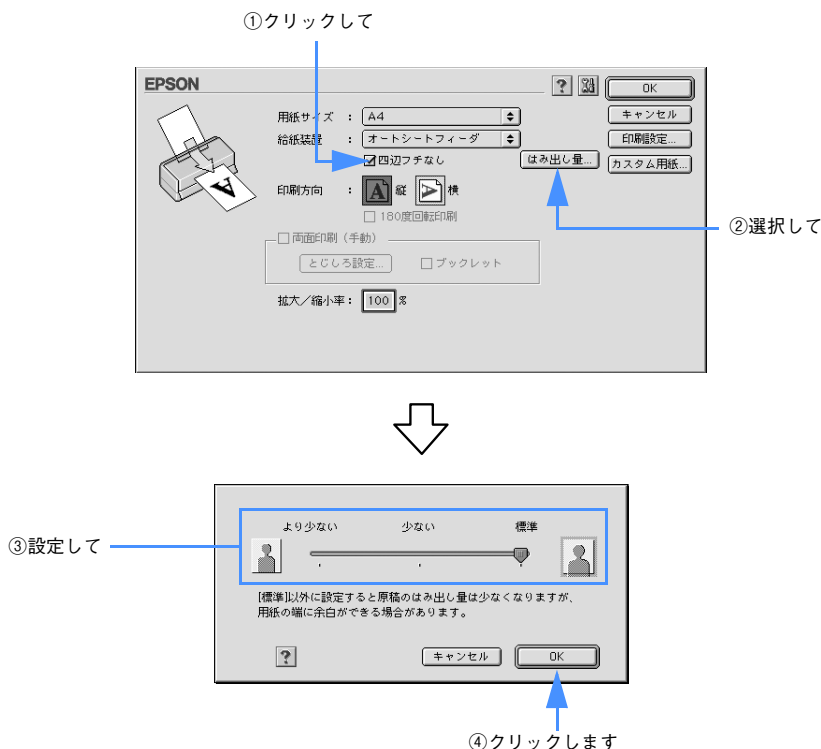
Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 59 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

2. **［用紙サイズ］と［給紙装置］を選択します。**

給紙場所	給紙装置の設定
ロール紙に印刷	［ロール紙］
オートシートフィーダにセットした単票紙に印刷	［オートシートフィーダ］
背面給紙口に手差しでセットした単票紙に印刷	［リア手差し］

- アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い［用紙サイズ］を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。
- ［フロント手差し（厚紙）］から給紙する場合はフチなし印刷はできません。

3 ［四辺フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックしてはみ出し量の設定をします。

標準	通常はこの設定を選択します。
少ない	「標準」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。
より少ない	「少ない」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。

4 プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。

☞ 本書 60 ページ「［印刷］画面を表示する」

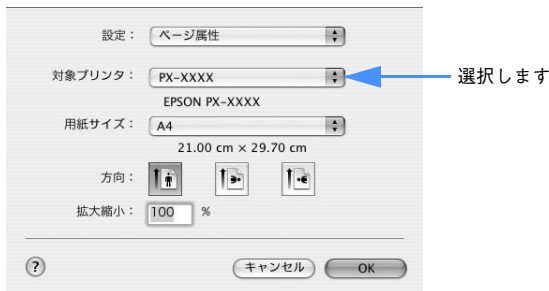
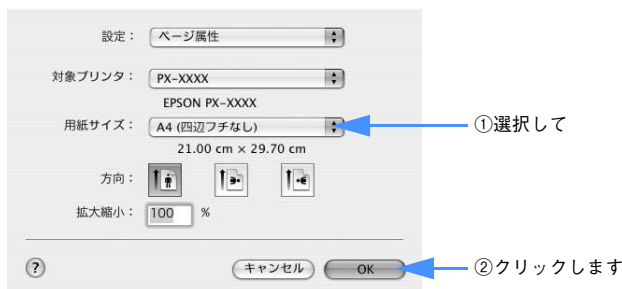
5 ［用紙種類］を選択し、［印刷］をクリックして印刷を実行します。

セットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。

☞ 使い方ガイド「エプソン純正専用紙」

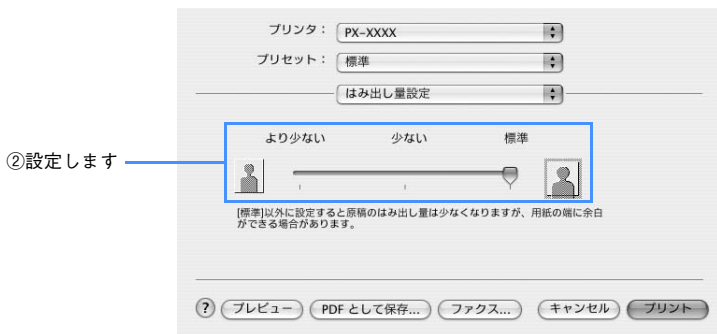
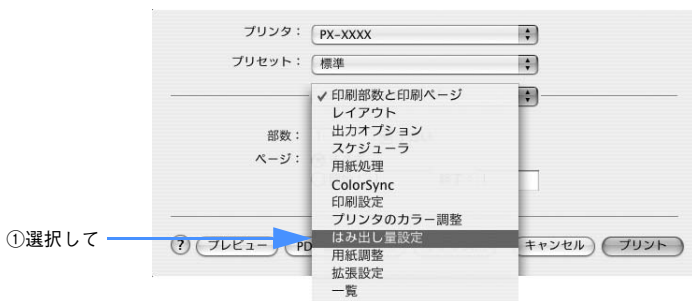
Mac OS X の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
   ☞ 本書 87 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

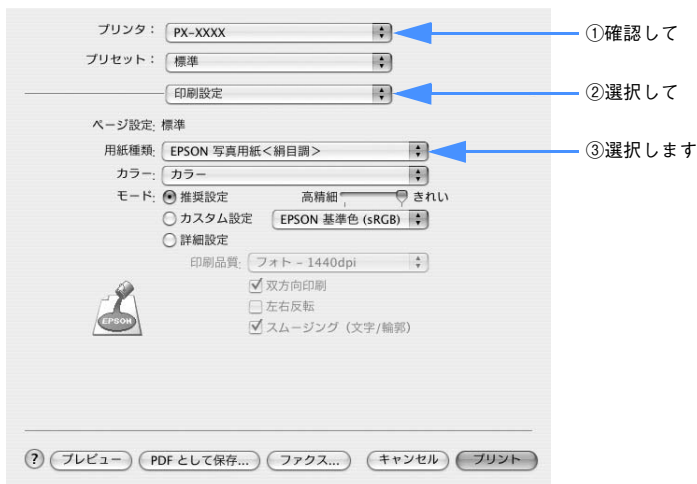
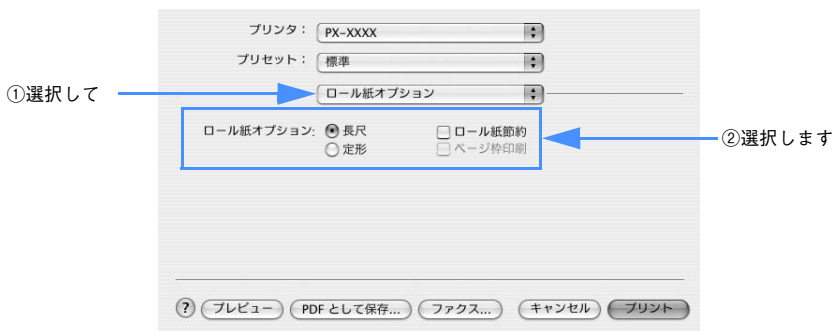
2. **［対象プリンタ］で本機を選択します。**

3. **［用紙サイズ］で［xxx(四辺フチなし)］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。**

アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い［用紙サイズ］を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

4 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示し、❷ で選択した項目が［プリンタ］に表示されていることを確認して、リストから［はみ出し量設定］をクリックします。**

スライドバーを使ってはみ出し量を設定できます。

☞ 本書 88 ページ「［印刷］画面を表示する」

標準	通常はこの設定を選択します。
少ない	「標準」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。
より少ない	「少ない」よりも、はみ出す量を少なくして印刷します。用紙の端に余白ができる場合があります。

5 **リストから［印刷設定］を選択して、［用紙種類］を選択します。**

［プリンタ］で違う項目が表示されている場合は、選択し直してください。［用紙種類］は、セットした用紙の種類に合わせて選択します。

6 ロール紙に印刷する場合は、リストから［ロール紙オプション］を選択し設定します。単票紙に印刷する場合は、7 に進みます。

長尺	長尺印刷用のアプリケーションソフトから印刷する際に選択します。 （ページごとの上下の余白を 0 にして印刷します。）
定型	印刷するデータが A4・A3 などの定型紙サイズの場合に選択します。
ロール紙節約	［長尺］をクリックしたときに選択できます。データの最後の余白が不必要な場合に選択します。ロール紙節約データの最後に余白部分がある場合に、ページの下端まで紙送りをせずに印刷を停止します。
ページ枠印刷	［定型］をクリックしたときに選択できます。ページの枠を印刷します。

7 ［プリント］をクリックして印刷を実行します。

アプリケーションごとの設定例

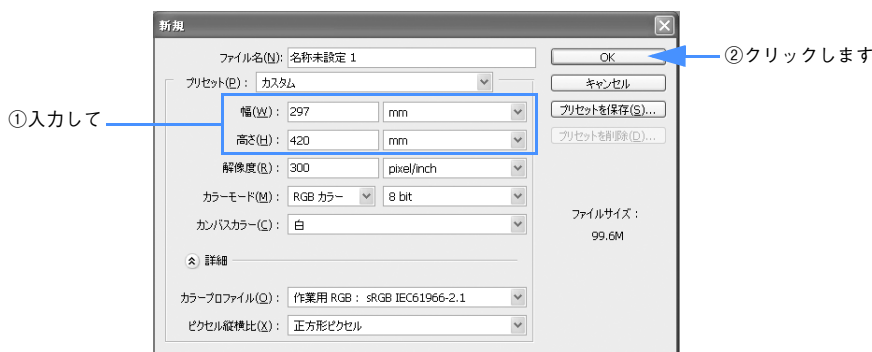
ここでは、Windows 版の Adobe Photoshop CS、Adobe Photoshop Elements3.0、Adobe Illustrator、Microsoft PowerPoint、Microsoft Word を例に、それぞれのアプリケーションでフチなし印刷する場合の設定と印刷方法を説明します。

Adobe Photoshop CS の場合

1. **Adobe Photoshop CS を起動します。**

2. **［ファイル］－［新規］を選択します。**

3. **フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。**
用紙と同じサイズに設定します。

以下は A3 サイズ（297 × 420mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

4. **印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］を選択します。**

5. **次の画面が表示された場合は［続行］をクリックします。**

6 「EPSON PX-5500」が選択されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。

選択されていない場合は、「EPSON PX-5500」を選択して、［プロパティ］をクリックします。

7 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 ［四辺フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、はみ出し量の設定をします。

EPSON PX-XXXXのプロパティ
基本設定 用紙設定 レイアウト ユーティリティ
A4 210 x 297 mm
四辺フチなし(標準)
給紙方法(S)
オートシートフィーダ
①チェックして
四辺フチなし(M)
はみ出し量設定(K)
②クリックして
用紙サイズ(Z)
A4 210 x 297 mm
印刷部数
部数(I) 1
部単位で印刷(L) 逆順印刷(V)
印刷方向
縦(P) 横(E)
180度回転(R)
フォト
マニュアル色補正
マイクロウィーブ：オン
双方向印刷：オン
Version x.xx
OK キャンセル ヘルプ

はみ出し量設定
③設定して
より少ない 少ない 標準
[標準]以外に設定すると原稿のはみ出し量は少なくなりますが、
用紙の端に余白ができる場合があります。
④クリックします
OK キャンセル ヘルプ

9 ［用紙サイズ］を選択します。

⑩ 給紙方法で［ロール紙］を選択し、用紙サイズで［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、［ユーザー定義用紙サイズ］画面で［用紙長さ］を設定し、［保存］をクリックして［OK］をクリックします。

☞ 本書 210 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

⑪ ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［OK］をクリックして Adobe Photoshop の［用紙設定］画面を閉じます。

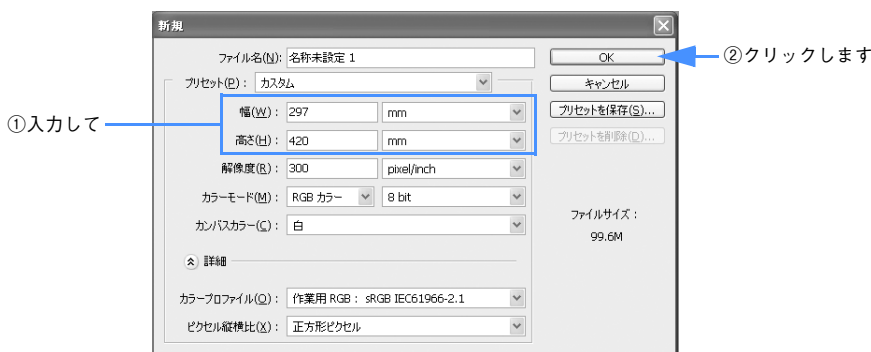
⑫ ［OK］をクリックして［プリント］画面を閉じ、印刷を実行します。

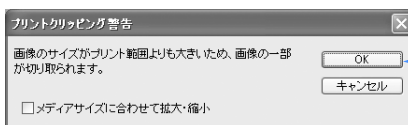
Adobe Photoshop Elements 3.0 の場合

1. Adobe Photoshop Elements 3.0 を起動します。

2. ［ファイル］－［新規］－［白紙ファイル］を選択します。

3. **フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。**
用紙と同じサイズに設定します。

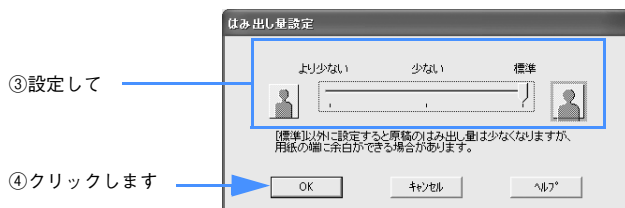
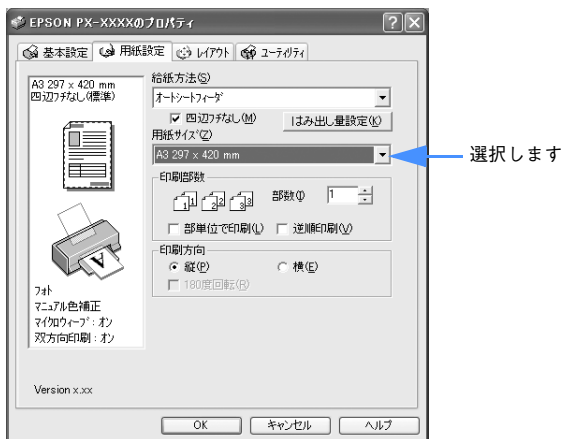
以下は A3 サイズ（297 × 420mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

4. **印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］を選択します。**

5 ［プリントプレビュー］画面で［プリント］をクリックします。

6 次の画面が表示された場合は［続行］をクリックします。

7 「EPSON PX-5500」が選択されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。

選択されていない場合は、「EPSON PX-5500」を選択して、［プロパティ］をクリックます。

8 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

9 ［四辺フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックしてはみ出し量の設定をします。

①チェックして
②クリックして

③設定して
④クリックします

⑩ ［用紙サイズ］を選択します。

⑪ 給紙方法で［ロール紙］を選択し、用紙サイズで［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、［ユーザー定義用紙サイズ］画面で［用紙長さ］を設定し、［保存］をクリックして［OK］をクリックします。

☞ 本書 210 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

⑫ ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じます。

⑬ ［OK］をクリックして印刷を実行します。

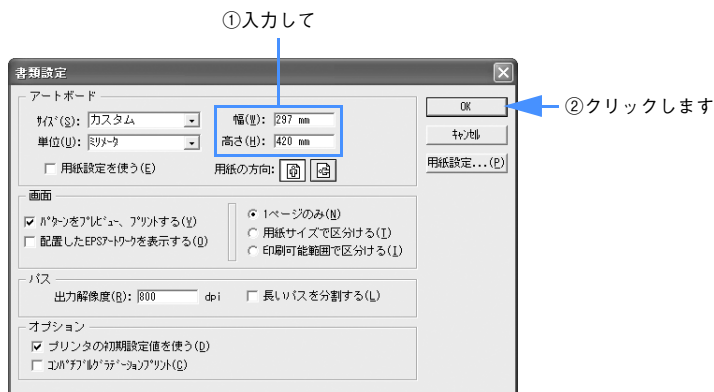
Adobe Illustrator の場合

1. **Adobe Illustrator を起動します。**

2. **［ファイル］メニューから［新規］を選択して新規書類を作成します。**

3. **［ファイル］メニューから［書類設定］を選択します。**

4. **フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。**
   用紙と同じサイズに設定します。

   以下は A3 サイズ（297 × 420mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

5. **印刷するジョブを作成したら、［ファイル］メニューから［書類設定］を選択します。**

6. **［用紙設定］をクリックして［用紙設定］画面を表示し、「EPSON PX-5500」が選択されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。**
   選択されていない場合は、「EPSON PX-5500」を選択して、［プロパティ］をクリックます。

7 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 ［四辺フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、はみ出し量の設定をします。

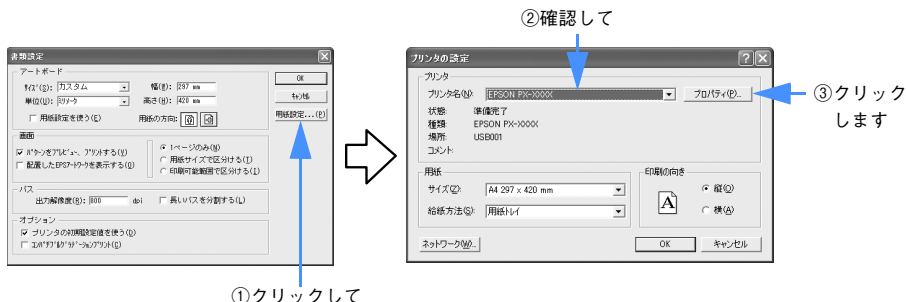
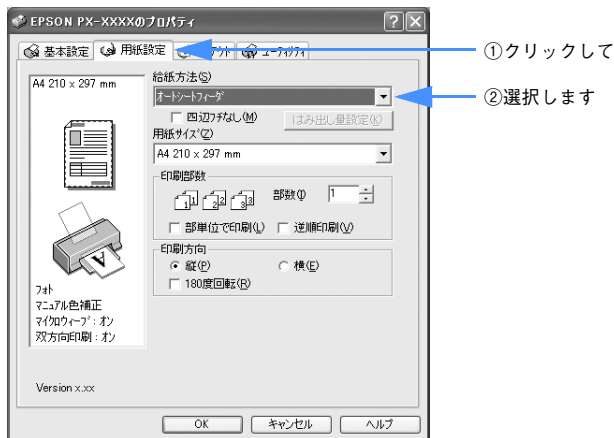
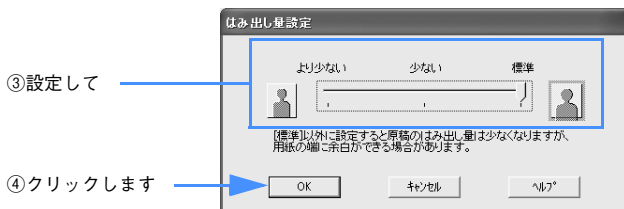
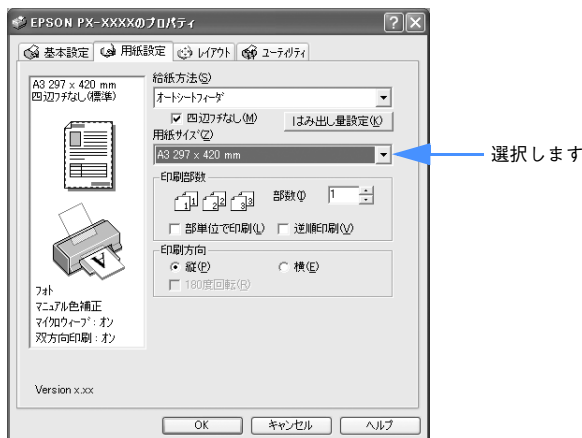
①チェックして

②クリックして

③設定して

④クリックします

はみ出し量設定

より少ない　少ない　標準

[標準]以外に設定すると原稿のはみ出し量は少なくなりますが、用紙の端に余白ができる場合があります。

9 ［用紙サイズ］を選択します。

10 給紙方法で［ロール紙］を選択し、用紙サイズで［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、［ユーザー定義用紙サイズ］画面で［用紙長さ］を設定し、［保存］をクリックして［OK］をクリックします。

☞ 本書 210 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

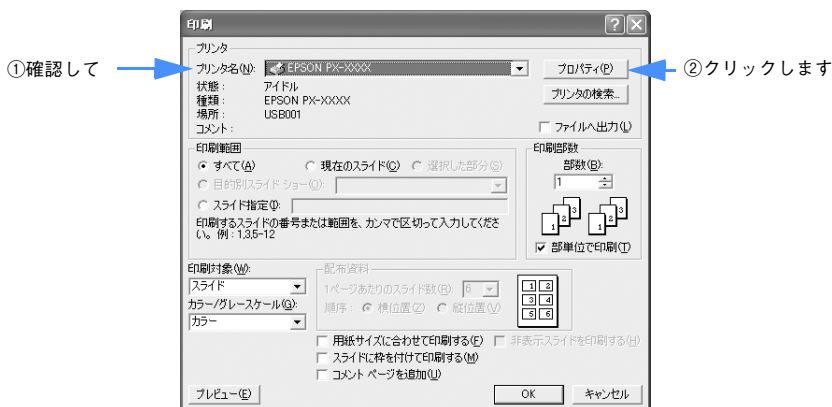
11 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［OK］をクリックして Adobe Illustrator の［用紙設定］画面を閉じます。

12 ［OK］をクリックして［書類設定］画面を閉じ、［ファイル］メニューから［プリント］を選択して印刷を実行します。

Microsoft PowerPoint の場合

1. **Microsoft PowerPoint を起動します。**

2. **新規プレゼンテーションを作成します。**
プレゼンテーションの作成方法については Microsoft PowerPoint の「ヘルプ」をご覧ください。

3. **［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、「EPSON PX-5500」が選択されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。**
選択されていない場合は、「EPSON PX-5500」を選択して、［プロパティ］をクリックます。

4. **［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。**

5 ［四辺フチなし］をチェックし、はみ出し量の設定をします。

①チェックして

②クリックして

EPSON PX-XXXXのプロパティ

基本設定 用紙設定 レイアウト ユーティリティ

A4 210 x 297 mm
四辺フチなし(標準)

給紙方法(S)
オートシートフィーダ
四辺フチなし(M) はみ出し量設定(K)
用紙サイズ(Z)
A4 210 x 297 mm
印刷部数
部数(I) 1
部単位で印刷(L) 逆順印刷(V)
印刷方向
縦(P) 横(E)
180度回転(R)

フォト
マニュアル色補正
マイクロウィーブ：オン
双方向印刷：オン

Version x.xx

OK キャンセル ヘルプ

③設定して

④クリックします

はみ出し量設定

より少ない 少ない 標準

[標準]以外に設定すると原稿のはみ出し量は少なくなりますが、
用紙の端に余白ができる場合があります。

OK キャンセル ヘルプ

6 ［用紙サイズ］を選択します。

7 給紙方法で［ロール紙］を選択し、用紙サイズで［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、［ユーザー定義用紙サイズ］画面で［用紙長さ］を設定し、［保存］をクリックして［OK］をクリックします。

☞ 本書 210 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

8 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［キャンセル］をクリックして Microsoft PowerPoint の［印刷］画面を閉じます。

9 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［ページ設定］画面で［幅］と［高さ］を設定して、［OK］をクリックします。

以下は A3 サイズ（297 × 420mm）の設定例です。

10 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、［用紙サイズに合わせて印刷する］をチェックして、［OK］をクリックして印刷を実行します。

Microsoft Word の場合

1. Microsoft Word を起動します。

2. ［ファイル］メニューから［新規作成］を選択して新規文書を作成します。

3. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、「EPSON PX-5500」が選択されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。
選択されていない場合は、「EPSON PX-5500」を選択して、［プロパティ］をクリックます。

①確認して

②クリックします

4. ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

①クリックして

②選択します

5 ［四辺フチなし］をチェックし、はみ出し量の設定をします。

EPSON PX-XXXXのプロパティ

基本設定　用紙設定　レイアウト　ユーティリティ

A4 210 x 297 mm
四辺フチなし(標準)

給紙方法(S)
オートシートフィーダ

①チェックして　☑ 四辺フチなし(M)　はみ出し量設定(K)　②クリックして

用紙サイズ(Z)
A4 210 x 297 mm

印刷部数
部数(I) 1
部単位で印刷(L)　逆順印刷(V)

印刷方向
縦(P)　横(E)
180度回転(R)

フォト
マニュアル色補正
マイクロウィーブ：オン
双方向印刷：オン

Version x.xx

OK　キャンセル　ヘルプ

はみ出し量設定

③設定して

より少ない　少ない　標準

[標準]以外に設定すると原稿のはみ出し量は少なくなりますが、
用紙の端に余白ができる場合があります。

④クリックします　OK　キャンセル　ヘルプ

6 ［用紙サイズ］を選択します。

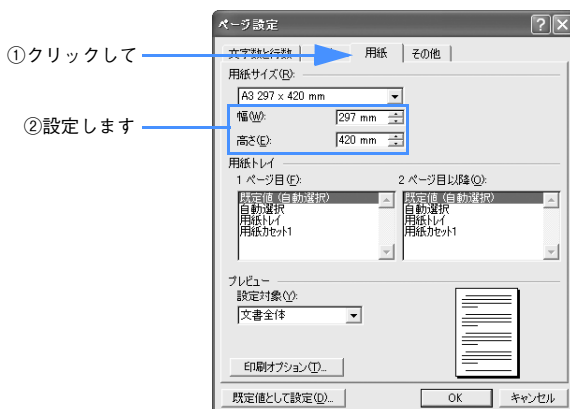
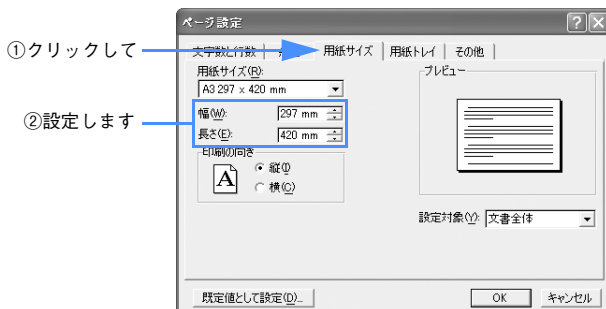
7 給紙方法で［ロール紙］を選択し、用紙サイズで［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、［ユーザー定義用紙サイズ］画面で［用紙長さ］を設定し、［保存］をクリックして［OK］をクリックします。

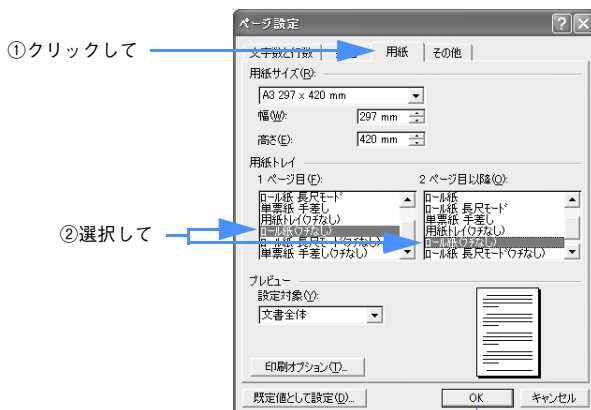
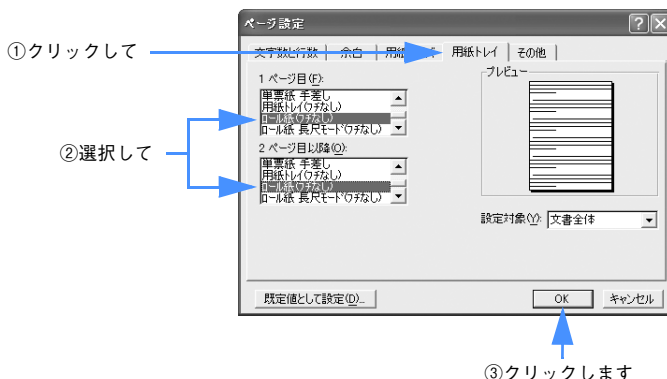
☞ 本書 210 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

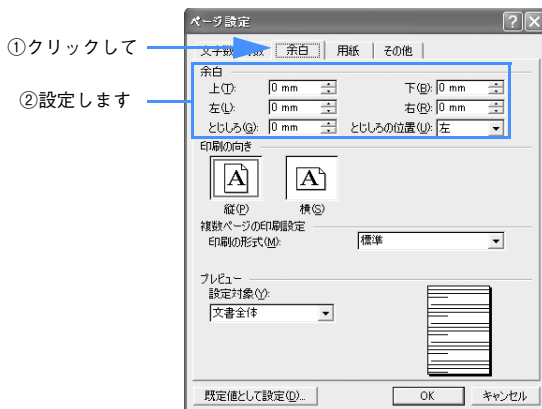
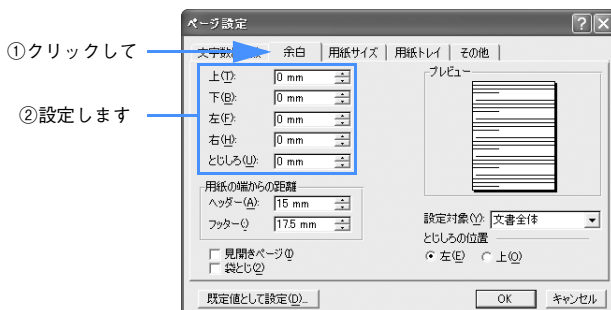
8 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［閉じる］をクリックして Microsoft Word の［印刷］画面を閉じます。

9 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［用紙］または［用紙サイズ］タブ画面で［幅］と［高さ］を設定します。

以下は A3 サイズ（297 × 420mm）の設定例です。

- Microsoft Word 2003 の場合

- Microsoft Word 2000 の場合

⑩ Microsoft Word 2003では同じ画面の「用紙トレイ」を、Microsoft Word 2000では、［用紙トレイ］タブをクリックし、［1ページ目］と［2ページ目以降］で、それぞれ印刷する用紙に合わせて、［ロール紙（フチなし）］、［ロール紙 長尺モード（フチなし）］、［単票紙（フチなし）］のいずれかを選択して、［OK］をクリックします。

- Microsoft Word 2003の場合

- Microsoft Word 2000の場合

11 ［余白］タブをクリックし、［上］、［下］、［左］、［右］すべて 0mm に設定します。

- Microsoft Word 2003 の場合

- Microsoft Word 2000 の場合

12 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して印刷を実行します。

色合いを調整して印刷

本製品のプリンタドライバには、印刷データに対してカラーマネージメントを行うための設定と、プリンタドライバのみで、よりきれいな印刷を行う色調整が用意されています。いずれの場合も、印刷用の元データを加工せずに色調整を行い印刷します。

カラーマネージメント

- ドライバ ICM 補正によるカラーマネージメント ☞148 ページ
- ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント ☞151 ページ
- アプリケーションによるカラーマネージメント ☞154 ページ

プリンタドライバによる色調整

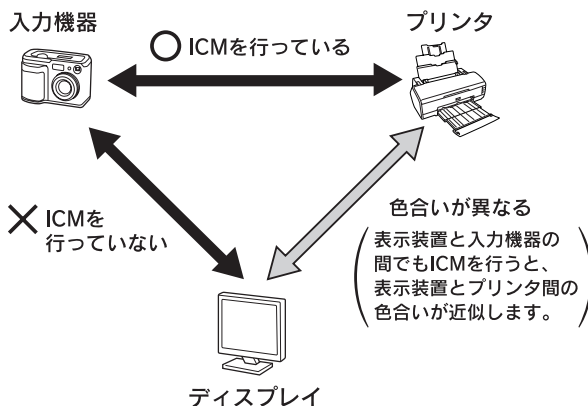
- プリンタドライバによる色調整 ☞157 ページ
- オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）☞162 ページ

カラーマネージメントについて

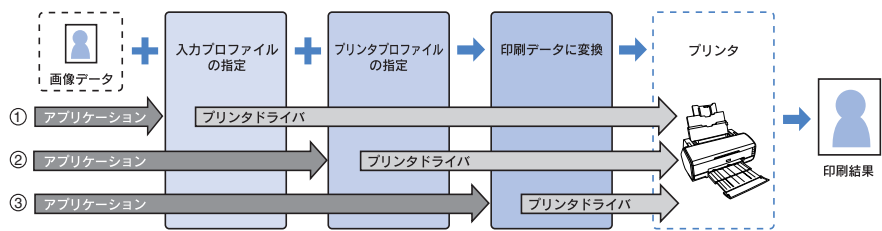
カラーマネージメントシステム（CMS）

画像データを印刷（または表示）する場合、入力装置や出力装置の特性の違いのため、絶対的な色領域に対して色とデータの割り当て（座標値）がずれてしまいます。そのため、同じ画像データを扱っていても装置により結果が異なって見えてしまいます。この装置間の色のずれを補正する方法として、OS や画像処理用のアプリケーションソフトには、カラーマネージメントシステムが用意されています。
Windows には ICM、Mac OS には ColorSync というカラーマネージメントシステムが搭載されています。プリンタドライバでカラーマネージメントを行う場合も、この OS のカラーマネージメントシステムを利用します。このマネージメントシステムでは、装置間のカラーマッチングを行う方法として ICC プロファイルと呼ばれる色情報の定義ファイルを使用します。プリンタの場合は、機種ごとに、さらに用紙種類ごとに ICC プロファイルが用意されています（デジタルカメラなどでは、sRGB や AdobeRGB などの色領域をプロファイルとして指定する場合があります）。
カラーマネージメントでは、データの処理時に入力側装置のプロファイルを入力プロファイル（またはソースプロファイル）、プリンタ側をプリンタプロファイル（またはアウトプットプロファイル）と呼びます。

! 注意

デジタルカメラやスキャナで取り込んだ画像をプリンタで印刷すると、多くの場合ディスプレイで見た色と、実際の印刷結果の間に色合いにズレが生じます。その原因は、「取り込み」、「表示」、「印刷」の 3 者間で、色の発色方法が異なるためです。
各装置間の色合いのズレを少なくするために、それぞれの装置間でカラーマネージメントを行ってください。画像データに対して、取り込み装置とプリンタの間でカラーマネージメントを行っても、取り込み装置とディスプレイの間でカラーマネージメントが行われていないと、ディスプレイの表示と印刷結果の色合いは異なってしまいます。

カラーマネージメントの方法

本機でカラーマネージメントを行うには、次の３つの方法があります。

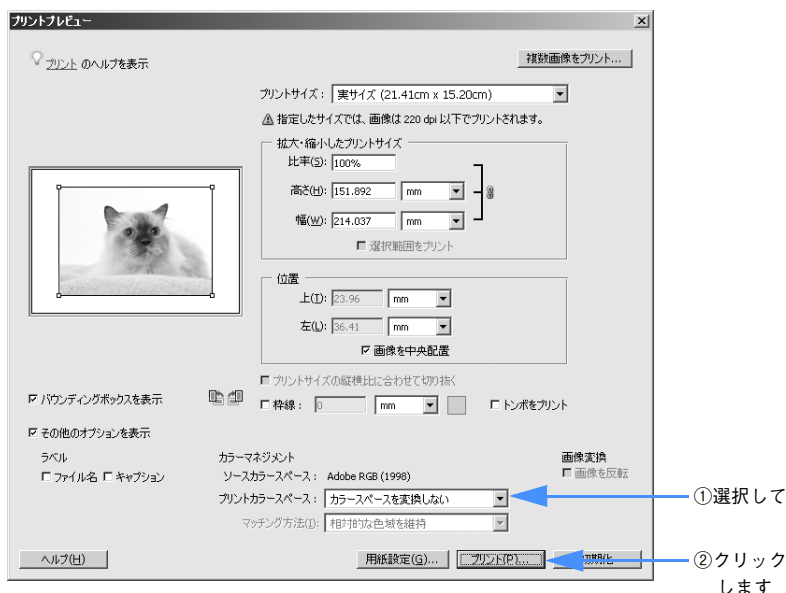
	カラー マネージメント	入力 プロファイル指定	プリンタ プロファイル指定	内容
①	ドライバ ICM	プリンタドライバ	プリンタドライバ	すべてのプロファイル指定をプリンタドライバで行いカラーマネージメントします。Windows 2000/XP のみで使用可能です。ICM カラーマネージメントに対応していないアプリケーションから印刷するときにもカラーマネージメントを行うことができます。カラーマネージメントに対応したアプリケーションでは、印刷時のマネージメント機能を無効（カラースペースを変更しない）にしてください。 本書 148 ページ「ドライバ ICM 補正によるカラーマネージメント」
②	ICM/ColorSync	アプリケーション	プリンタドライバ	OS のカラーマネージメント機能を利用して印刷するため、Windows と Mac OS では、印刷色に差が出る場合があります。アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync のカラーマネージメントに対応している必要があります。 本書 151 ページ「ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント」
③	アプリケーション	アプリケーション	アプリケーション	すべてのプロファイル指定をアプリケーションソフトで行い、カラーマネージメントします。プリンタドライバ側では、カラー補正をオフ（色調整なし）にします。ICM または ColorSync のカラーマネージメントに対応したアプリケーションが必要です。 本書 154 ページ「アプリケーションソフトによるカラーマネージメント」

ドライバ ICM 補正によるカラーマネージメント

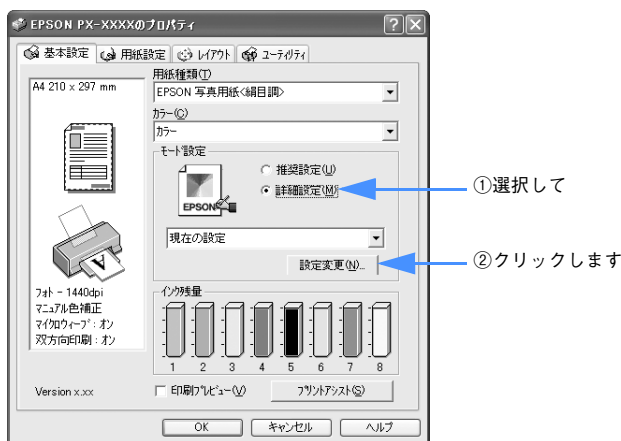
印刷する画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルをプリンタドライバで管理して印刷します。

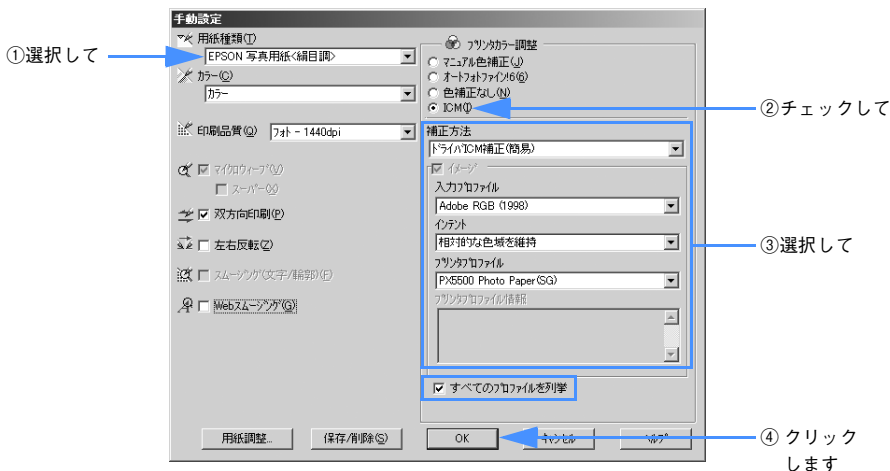
！注 意　Windows 2000/XP のみで使用可能です。

ここでは Adobe Photoshop Elements 3.0（以降 Photoshop Elements）を例に説明します（画面は Windows）。

1　Photoshop Elements の「写真編集モード」（写真整理モードでも可能）の［ファイル］メニューから［プリント］を選択して［プリントプレビュー］画面を表示し、［その他のオプションを表示］をチェックします。

2 ［プリントカラースペース］メニューから［カラースペースを変換しない］を選択して、［プリント］をクリックします。

3 ［プリンタ名］メニューから本機を選択して、［プロパティ］をクリックして、プリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 **［用紙種類］メニューから使用する用紙を選択します。［プリンタカラー調整］の［ICM］を選択して、［補正方法］メニューから［ドライバ ICM 補正（簡易）］または［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択します。**

［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択すると、写真画像のようなイメージデータのほか、描画したグラフィックデータやテキストデータに対しても別々にカラーマネージメント処理の指定が可能になります。

［すべてのプロファイルを列挙］をチェックすると、コンピュータに登録されているすべてのプロファイルを表示し選択することができます。
［OK］をクリックすると元の画面に戻ります。

- **インテント**

指定されたプロファイルを元に、印刷用にデータ変換するときの条件を指定します。

彩度	彩度を保持して変換を行います。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

6 **その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

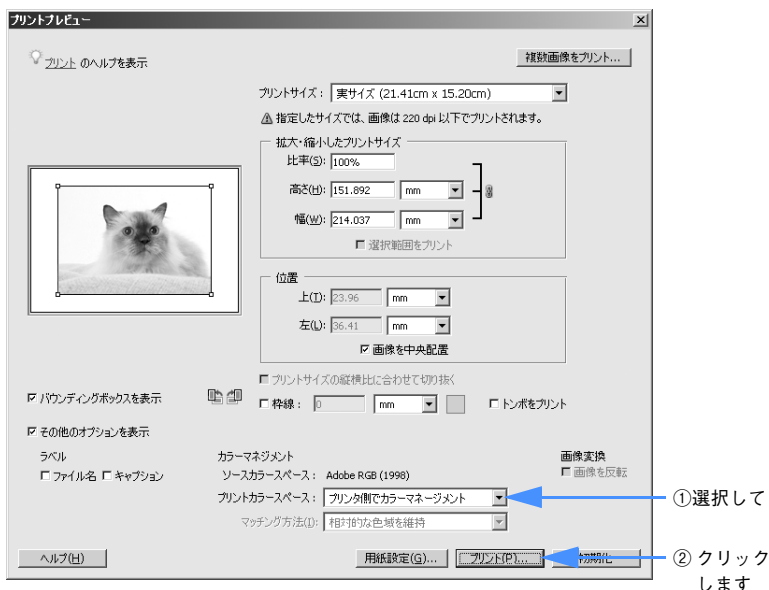
ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント

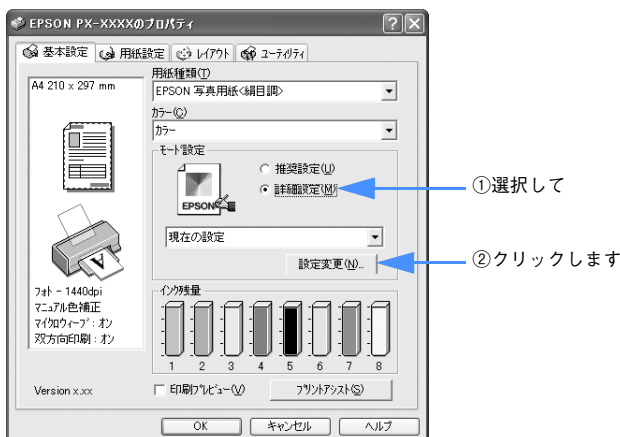
OS のカラーマネージメント機能を利用して、プリンタ側でカラーマッチングの設定を行います。画像データはアプリケーションソフトなどで、あらかじめ入力機器やシステムに合わせてカラーマネージメントされている必要があります。

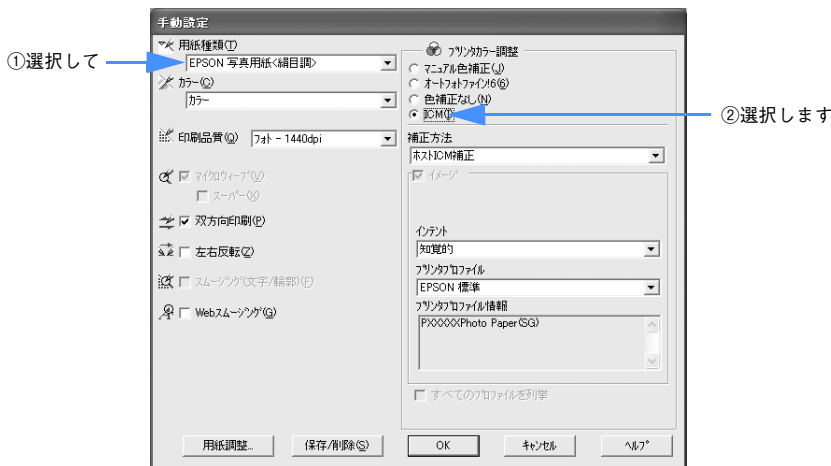
> **！注 意**
> - 画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。
> - アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync に対応している必要があります。

ここでは Adobe Photoshop Elements 3.0（以降 Photoshop Elements）を例に説明します（画面は Windows）。

1 **Photoshop Elements の「写真編集モード」（写真整理モードでも可能）の［ファイル］メニューから［プリント］を選択して［プリントプレビュー］画面を表示し、［その他のオプションを表示］をチェックします。**

2 ［プリントカラースペース］メニューから［プリンタ側でカラーマネージメント］を選択して、［プリント］をクリックします。

3 ［プリンタ名］メニューから本機を選択して、［プロパティ］をクリックして、プリンタドライバの［基本設定］画面または［印刷］画面（Mac OS 9、Mac OS X）を表示します。

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 ［用紙種類］メニューから使用する用紙を選択します。［プリンタカラー調整］の［ICM］（Windows）または［ColorSync］（Mac OS）を選択します。さらに、Windows 2000/XP では、［補正方法］メニューで［ホスト ICM 補正］を選択します。

［入力プロファイル］には、あらかじめアプリケーションソフトなどで設定した ICC プロファイルが設定され、［プリンタプロファイル］には、用紙種類に対応した ICC プロファイルが自動的に設定されます。

6 その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

アプリケーションソフトによるカラーマネージメント

カラーマネージメントシステムに対応したアプリケーションソフトを使用すると、画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をアプリケーションソフトで行い印刷することができます。この場合、プリンタドライバのカラー調整は「オフ（色調整なし）」にします。カラーマネージメントシステムとして Windows の ICM や Mac OS の ColorSync を使用しないので、印刷結果に OS による違いが発生しません。設定の詳細については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

基本的な手順は次の通りです。
① アプリケーションソフトで画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をする。
② プリンタドライバのカラー調整をオフにして印刷する。

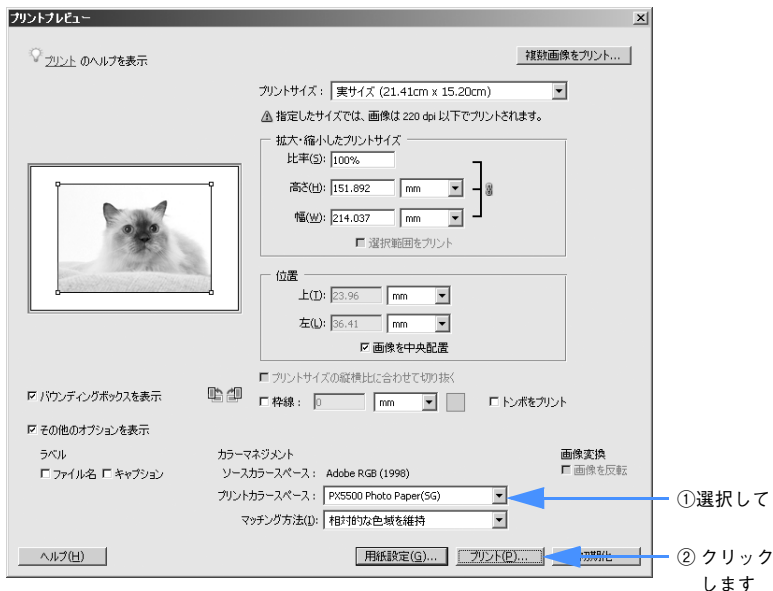
！注意
- 画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。
- Windows98/Me 上で「アプリケーションソフトによるカラーマネージメント」を行う場合は、あらかじめ本機用の ICC プロファイルを次の方法でインストールしてください。本機のプリンタソフトウェア CD-ROM の [ICC_Kit] フォルダにある「ICCSETUP.EXE」をダブルクリックして実行してください。必要な ICC プロファイルが、インストールされます。

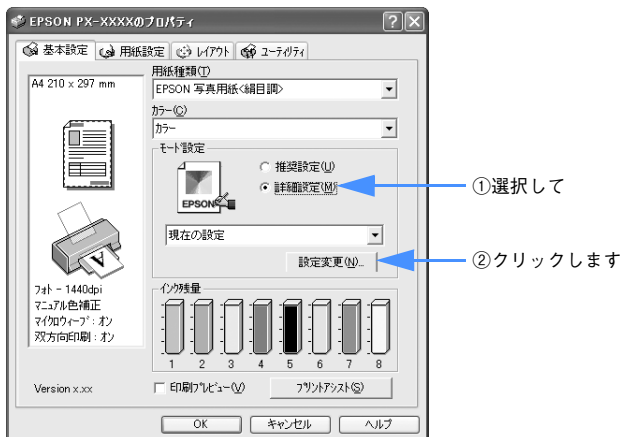
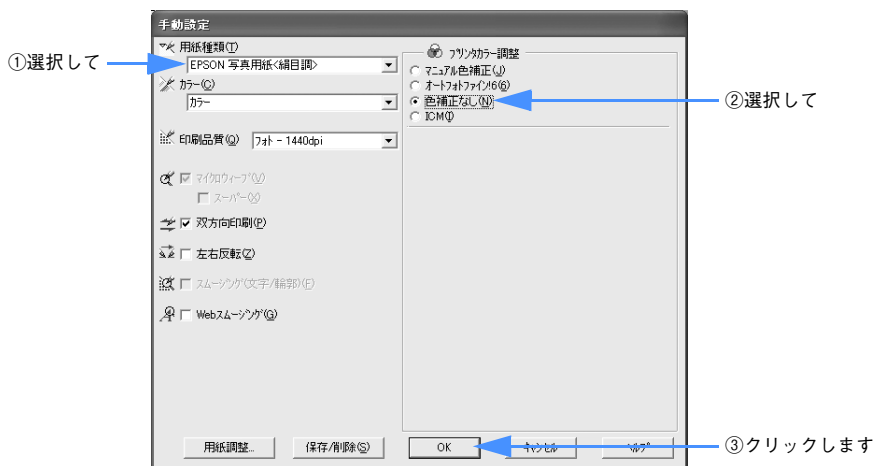
ここでは Adobe Photoshop Elements 3.0（以降 Photoshop Elements）を例に説明します（画面は Windows）。

1 Photoshop Elements の「写真編集モード」（写真整理モードでも可能）の［ファイル］メニューから［プリント］を選択して［プリントプレビュー］画面を表示し、［その他のオプションを表示］をチェックします。

2 **［プリントカラースペース］メニューから本機で使用する用紙の ICC プロファイルを選択します。**

［マッチング方法］メニューからプリンタプロファイルのカラーマッチング方法を選択し、［プリント］をクリックします。

☞ 本書 360 ページ「用紙について」
☞ 本書 367 ページ「用紙の設定」

3 **［プリンタ名］メニューから本機を選択して、［プロパティ］をクリックして、プリンタドライバの［基本設定］画面または［印刷］画面（Mac OS 9、Mac OS X）を表示します。**

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 ［用紙種類］メニューから使用する用紙を選択します。［プリンタカラー調整］の［オフ（色補正なし）］を選択して、［OK］をクリックします。

6 その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

プリンタドライバによる色調整

プリンタドライバによる手動色調整

印刷するデータの色合いや明度などを、プリンタドライバ上で微調整して印刷します。使用しているアプリケーションソフトにカラー調整機能が無く、さらに手動でカラー調整する場合などに使用します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS 9、Mac OS X）を表示します。**

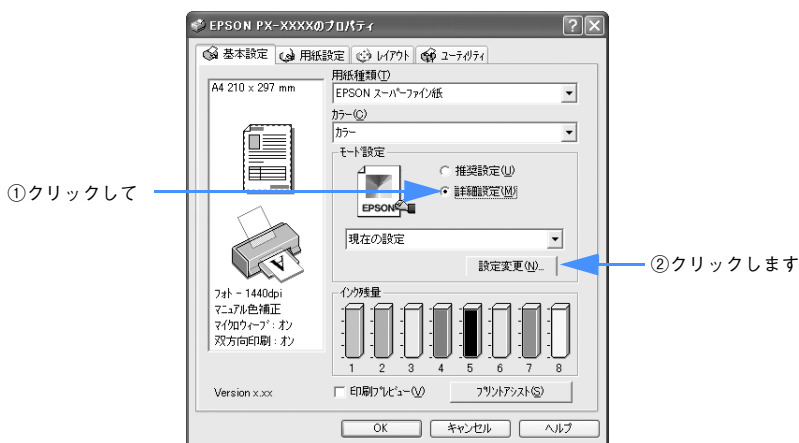
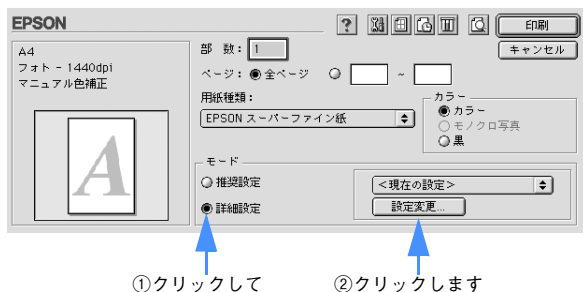
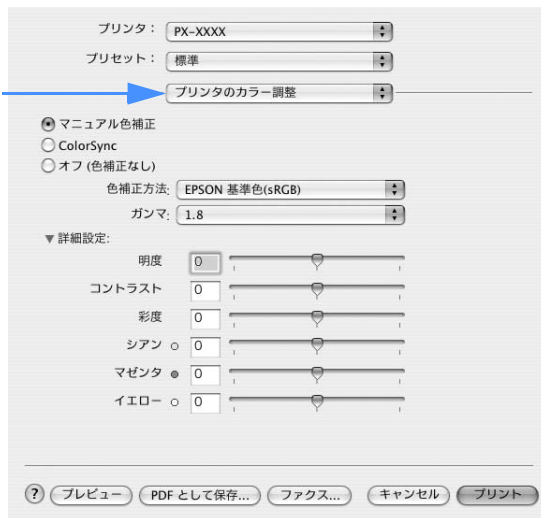
Windows☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS X☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

- **Windows の場合**

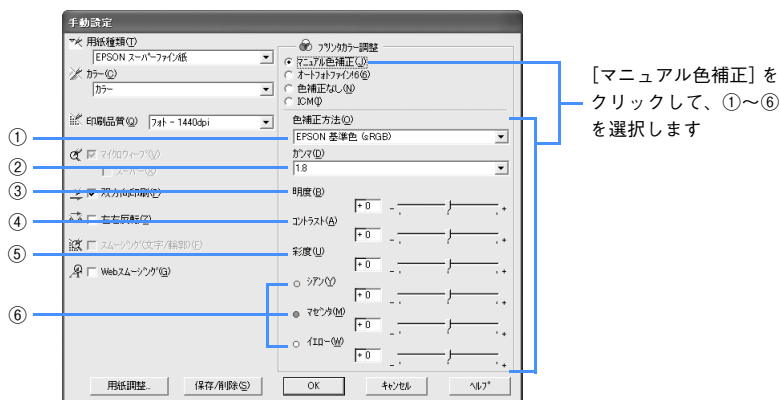
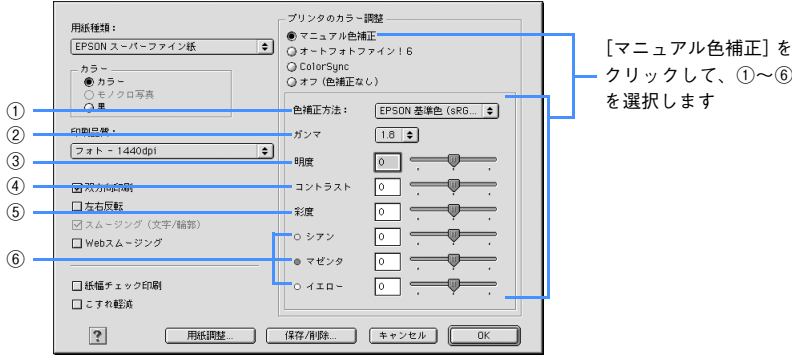
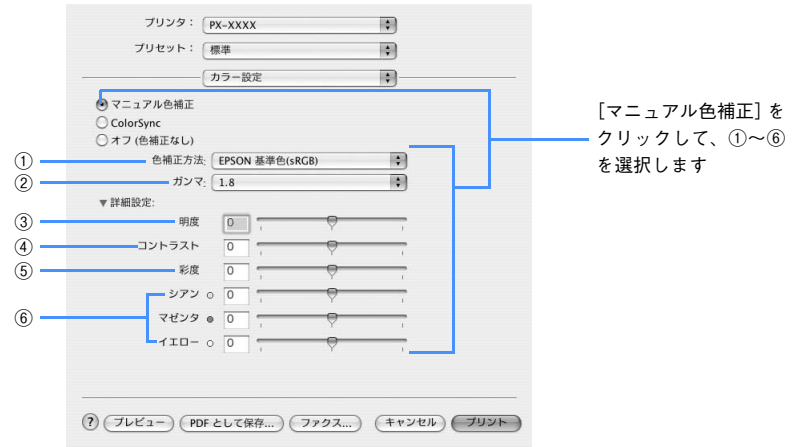
- **Mac OS 9 の場合**

- Mac OS X の場合

❷ Windows または Mac OS 9 の場合は、［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。Mac OS X の場合は、リストから［プリンタのカラー調整］を選択します。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

- Mac OS X の場合

3 ［マニュアル色補正］をクリックして、以下に説明する①から⑥の各項目を設定します。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

- Mac OS X の場合

<table>
<tr><td rowspan="5">①</td><td rowspan="5">色補正方法</td><td colspan="2">次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。</td></tr>
<tr><td>自然な色あい</td><td>機種毎に EPSON 独自の色作りをしており、自然な発色状態になるように色処理をします。</td></tr>
<tr><td>あざやかな色あい</td><td>機種毎に EPSON 独自の色作りをしており、彩度を上げ、色味を強くする処理をします。</td></tr>
<tr><td>EPSON 基準色（sRGB）</td><td>本プリンタドライバの初期値。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。
Maxart 従来機種との互換性を持っています。</td></tr>
<tr><td>Adobe RGB</td><td>Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。</td></tr>
</table>

②	ガンマ	画像の明るい部分と暗い部分に影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整します。	
		1.5	1.8 よりも、柔らかい感じの印刷をします。
		1.8	本プリンタドライバの初期値です。
		2.2	1.8 よりも硬い感じの印刷をします。
③	明度	画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、− 25%〜+ 25%の間で、マイナス（−）方向には暗く、プラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。	
④	コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、− 25%〜+ 25%の間で調整します。プラス（+）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（−）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。	
⑤	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、− 25%〜+ 25%の間で調整します。プラス（+）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（−）方向にスライドさせると彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。 ［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。	
⑥	シアン マゼンタ イエロー	それぞれの色の強さを調整します。標準を 0 として、− 25%〜+ 25%の間で調整します。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。	

4 その他の設定を確認して、［OK］（Windows）、［印刷］（Mac OS 9）、［プリント］（Mac OS X）をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

- Windows または Mac OS 9 の場合、［手動設定］画面の［保存 / 削除］をクリックすると、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［基本設定］画面（Windows）、［印刷］画面（Mac OS 9）のリストボックスから呼び出します。
- Mac OS X の場合、［印刷］画面の［プリセット］で［別名で保存］を選択すると、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［プリセット］で選択して呼び出します。

オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）

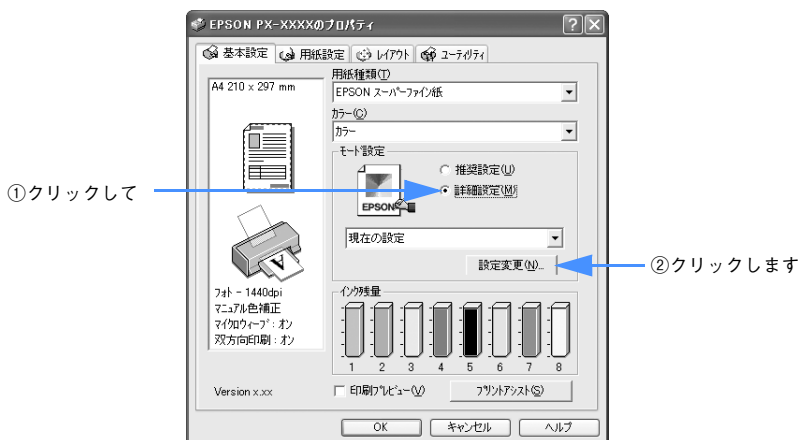
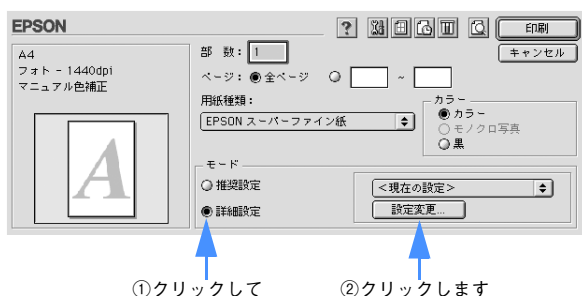
オートフォトファイン !6 は、画像データを最適な状態に自動色補正します。シャープネスなどの特殊効果も加えて印刷することができます。画像データにカラーマネージメント情報がない場合や、お手軽に色調整を行う場合に使用します。画像データの色領域を Adobe RGB と想定して、より好ましい色に調整して印刷します。

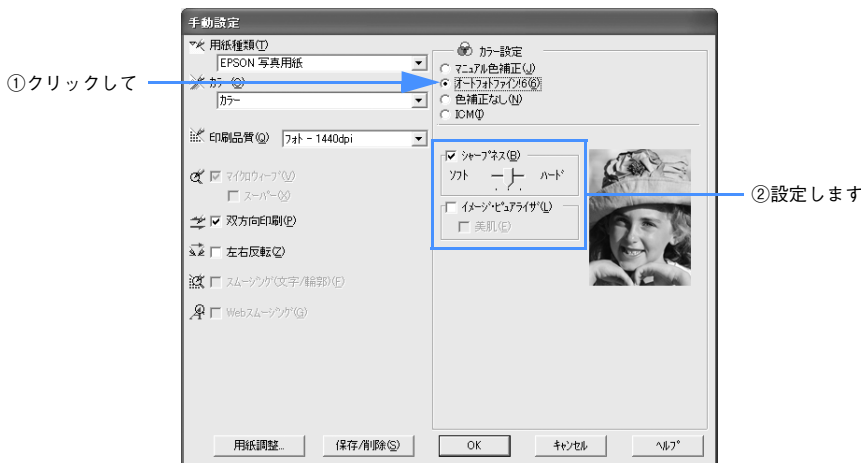
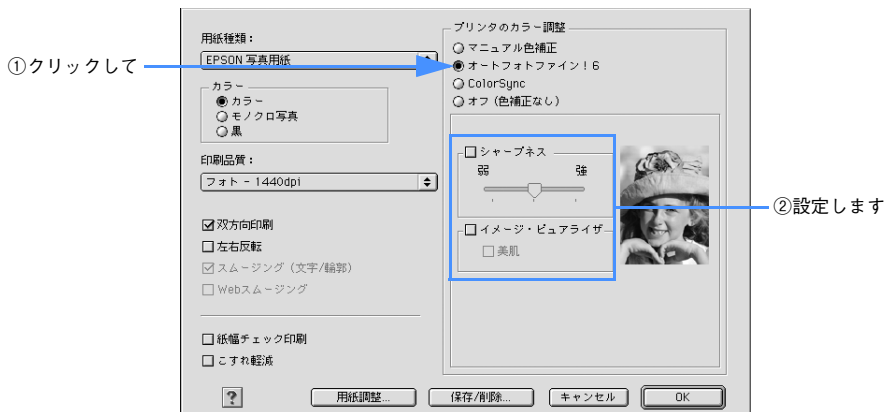
！注意 Mac OS X では、この機能は使用できません。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS 9）を表示します。

Windows☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 ［詳細設定］をクリックして、［設定変更］をクリックします。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

3 ［オートフォトファイン !6］をチェックして、印刷データにかける効果を選択します。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

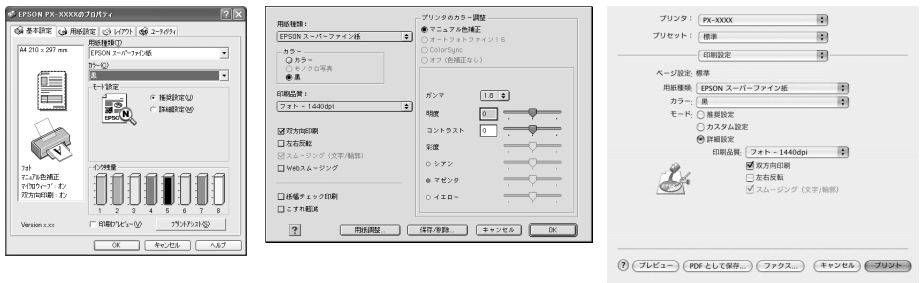
- ［シャープネス］では、ソフト / ハード（Windows）または弱 / 強（Mac OS 9）のスライドバーで、効果の強さを調節することができます。
- ［イメージピュアライザ］ではデジタルカメラ画像などのノイズを低減します。また、「美肌」効果オン / オフの選択をします。

4 その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上でオートフォトファイン !6 による画像の自動補正は終了です。

モノクロ印刷

モノクロ印刷について

本機ではプリンタドライバのカラー設定に応じて、以下のモノクロ印刷を行うことができます。

カラー設定	用途
黒	CAD 図面や線画など、黒をくっきりさせるモノクロ印刷が可能です。
モノクロ写真	モノクロ写真印刷用の詳細設定画面を使って、アプリケーションで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です。 印刷時に補正されるだけでデータそのものは変更しません。

※「マットブラック」インクと「フォトブラック」インクは、使用する用紙に応じて交換します。

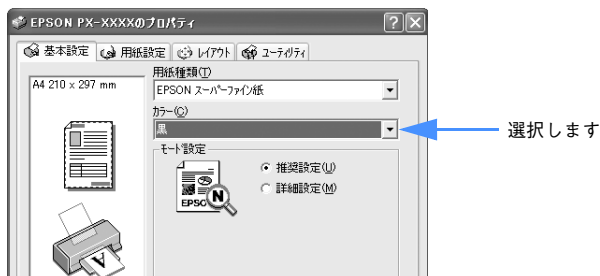
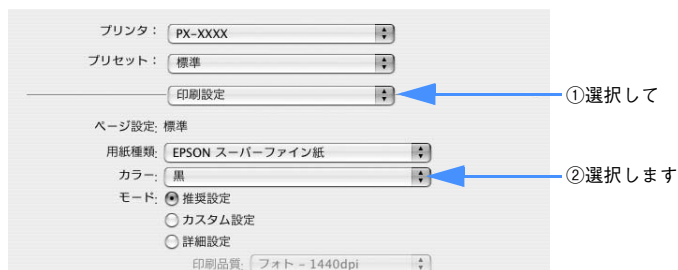
☞ 本書 269 ページ「ブラックインク種類変更」

☞ 本書 367 ページ「用紙の設定」

モノクロ印刷の設定

CAD 図面や線画など、黒をくっきりさせるモノクロ印刷を行うときは、プリンタドライバのカラー設定で「黒」を設定します。

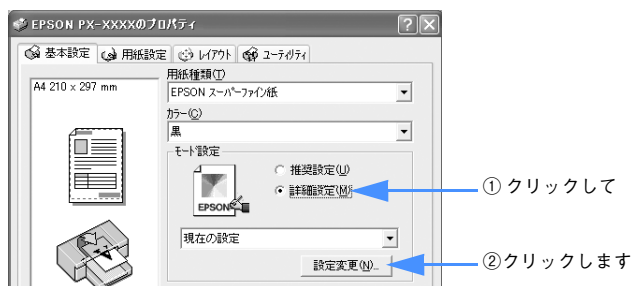
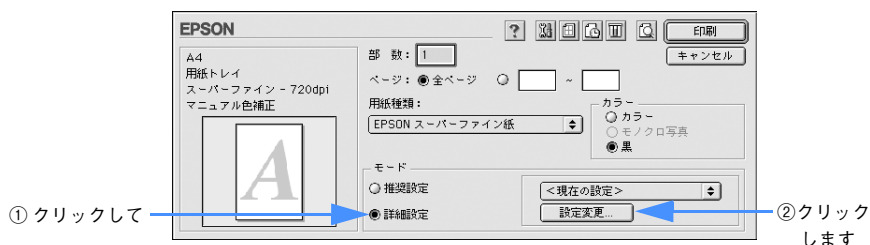
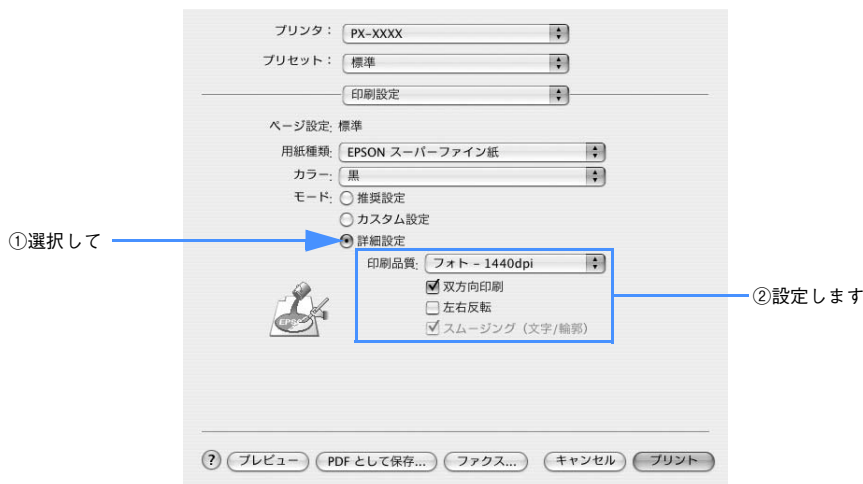
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［黒］を選択し、各項目を設定します。**

Windows☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 60 ページ「［印刷］画面を表示する」
Mac OS X☞ 本書 88 ページ「［印刷］画面を表示する」

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

2 **必要に応じて［詳細設定］を選択し、［設定変更］をクリックします。**

Mac OS X の場合は［詳細設定］をクリックすると［詳細設定］画面が表示されます。

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

3 **以降はカラー印刷と同様の手順で設定をします。**

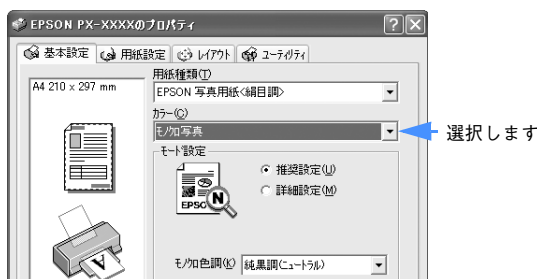
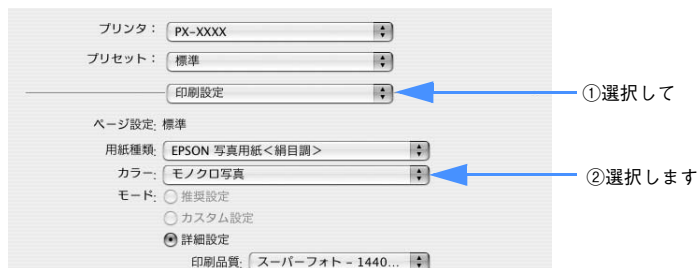
☞ 本書 157 ページ「プリンタドライバによる色調整」

モノクロ写真印刷の詳細設定

本機は、プリンタドライバのモノクロ写真印刷用の詳細設定画面を使って、アプリケーションで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です（印刷時に補正を行うだけで、データそのものは変更されません）。

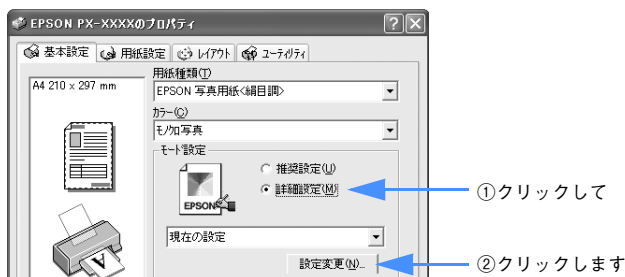
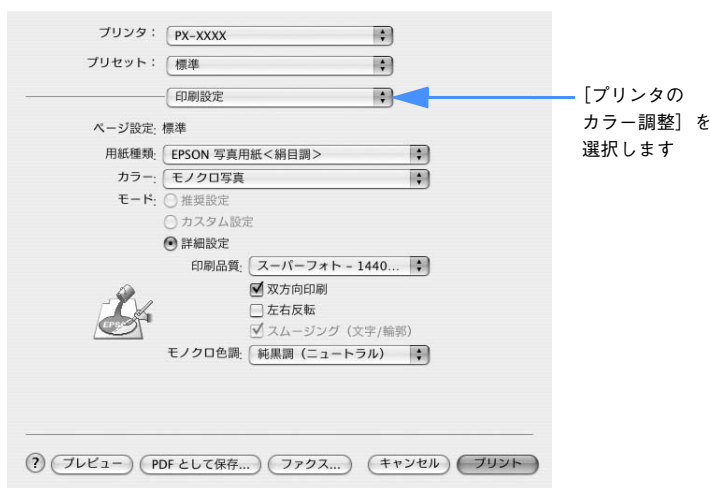
☞ 本書 360 ページ「用紙について」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［モノクロ写真］を選択し、各項目を設定します。

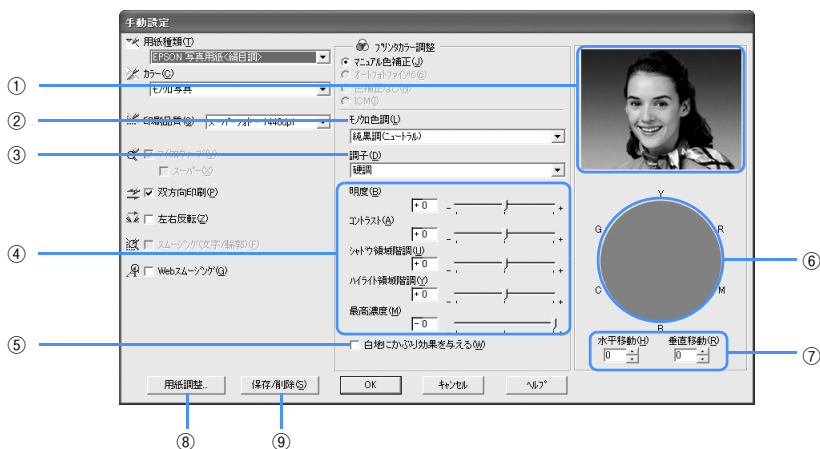
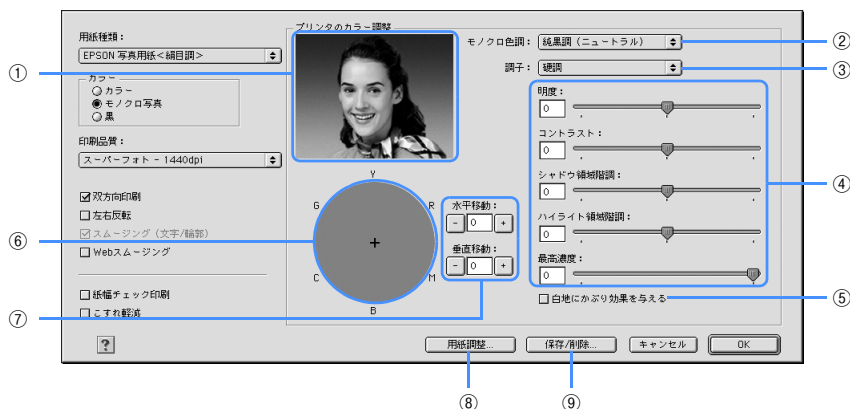
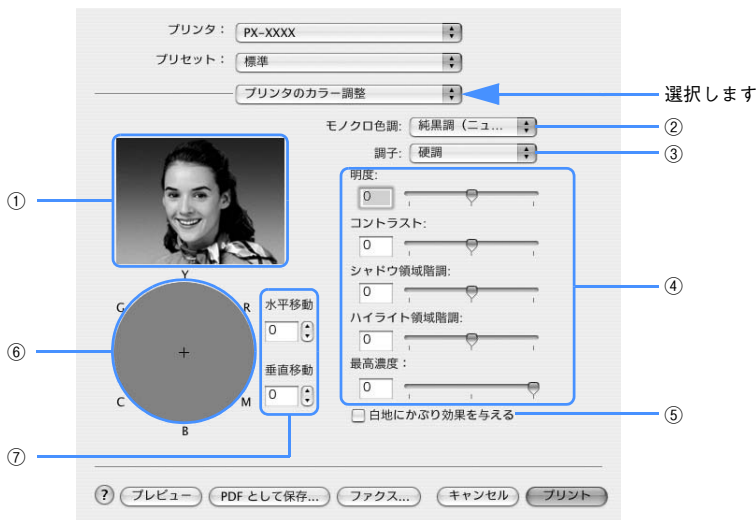
Windows☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 60 ページ「［印刷］画面を表示する」
Mac OS X☞ 本書 88 ページ「［印刷］画面を表示する」

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

2 Windows、Mac OS 9 は［詳細設定］を選択し、［設定変更］をクリックします。Mac OS X は必要に応じて詳細設定をします。

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

❸ 各項目を設定します。

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

説明		
①	プレビューウィンドウ	設定した色調のサンプル画像が表示されます。
②	モノクロ色調	代表的な色調が選択できます。 純黒調（ニュートラル）、冷黒調（クール）、温黒調（ウォーム）、セピアから選択します。 より詳細な調整をするには③〜⑦を使用します。このとき、「手動設定」の表示になります。
③	調子	調子を変更します。次の項目から選択します。 軟調、標準（カラーとほぼ同じ調子が得られます）、やや硬調、硬調（初期設定）、より硬調
④	詳細設定	スライドバーを動かして設定します。数値入力もできます。
⑤	白地にかぶり効果を与える	チェックボックスをオンにすると、微量のインクを画像全体に付加して印刷することで、白色部分（紙地）と色のある部分との質感の差をなくします。 使い方ガイド（紙マニュアル）の巻頭に印刷サンプルが掲載されています。
⑥	色調	色調の一覧です。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。
⑦	座標入力	⑥での座標位置を表示します。数値入力もできます。
⑧	用紙調整	エプソン純正専用紙以外の用紙を使用する場合に、この画面で用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。 Mac OS X では別の画面に用紙調整の機能があり、ここでは表示されません。

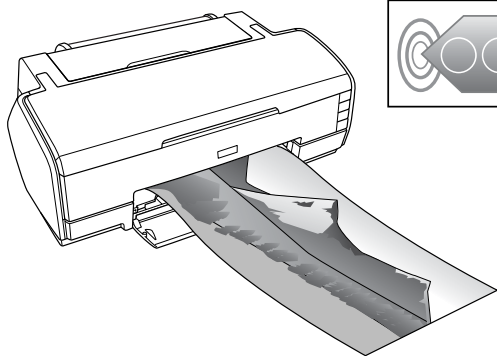
⑨	保存 / 削除	設定を保存することができます。 • 設定を保存する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、名称を入力して、［保存］をクリックします。 • 保存した設定は、「基本設定」のモード設定で［詳細設定］を選択すると、呼び出すことができます。 • 保存した設定を削除する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。 • Mac OS X では別の画面に設定保存の機能があり、ここでは表示されません。

4 **以上で設定は完了です。［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

長尺印刷（ロール紙へのバナー印刷）

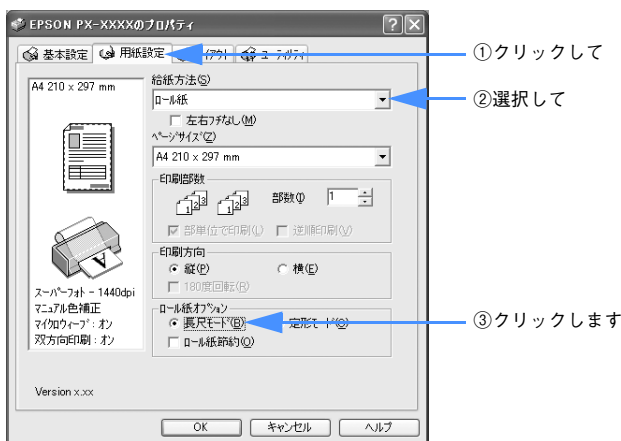
ロール紙を使って、横断幕や垂れ幕、パノラマ写真などを印刷することができます。
各 OS で印刷できる長さは次の通りです。

- Windows2000/XP 最大 3276.7mm
- Windows98/ME 最大 1117.6mm
- MacOS9/OS X 最大 1117.6mm

アプリケーションが長尺印刷に対応している必要があります。

Windows の場合

1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

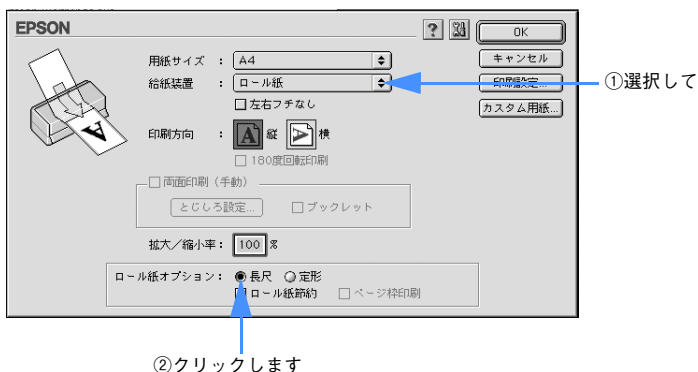
☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙設定］タブをクリックして、［給紙方法］で［ロール紙］を選択し、［ロール紙オプション］で［長尺モード］をチェックします。**

3. **その他の設定を確認し、［印刷］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で長尺印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

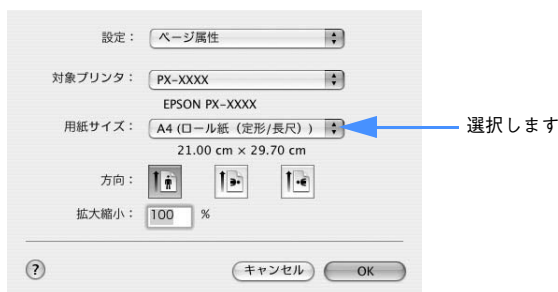
1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 59 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

2. **［給紙装置］で［ロール紙］を選択し、［ロール紙オプション］で、［長尺モード］をチェックします。**

3. **その他の設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

以上で長尺印刷は終了です。

Mac OS X の場合

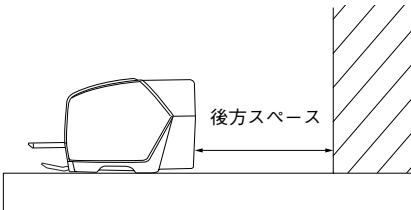
1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 87 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

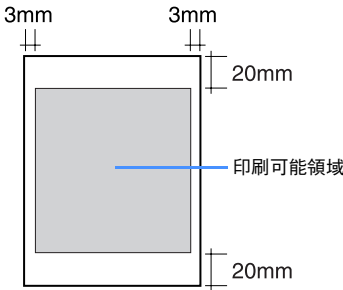
2. **［用紙サイズ］のリストから、プリンタにセットしている用紙と同じサイズの XXX（ロール紙（長尺））または［xxx（ロール紙（フチなし、長尺））］を選択します。**

3. **［ロール紙オプション］で長尺を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

以上で長尺印刷は終了です。

厚紙印刷

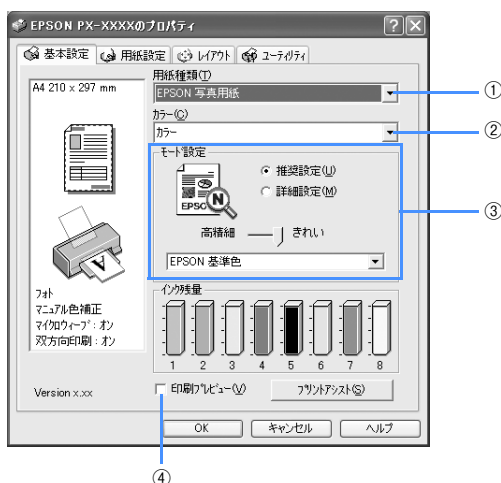
厚紙（用紙厚 1.3mm）には、以下の手順で印刷します。

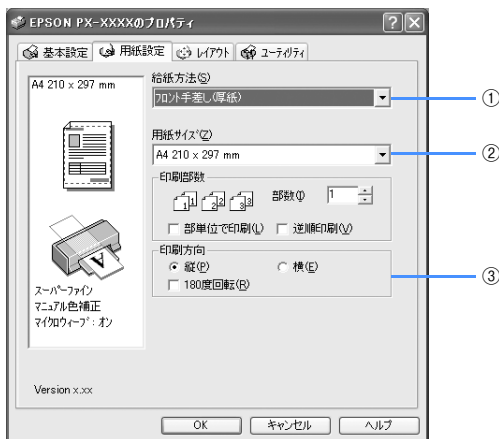
- セット可能な厚紙はA4からA3ノビサイズのため、実際に印刷できる用紙幅は329mmまでとなります。
- 厚紙をセットするときは用紙がプリンタ後方にはみ出します。プリンタを壁際に設置している場合は、セットする用紙のサイズによって、プリンタの後方に以下のスペースを確保してください。

用紙	後方スペース
A3 ノビ	約 270mm
A3	約 205mm
A4	約 81mm

- エプソン純正専用紙以外の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- 用紙は印刷する直前にセットすることをお勧めします。用紙を本機にセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

Windows の場合

1. **厚紙をプリンタにセットします。**
☞ 使い方ガイド「厚紙のセット」

2. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

3. **［基本設定］画面の各項目を設定します。**

①	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を選択します。
②	カラー	• カラー印刷する場合は、［カラー］を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は、［モノクロ写真印刷］を選択します。 • 線画などのモノクロ印刷をする場合は、［黒］を選択します。
③	モード設定	印刷モードを選択します。選択するモードによって画面が切り替わります。［推奨設定］は、設定した用紙種類、インク、用紙サイズに合わせて、自動的に最適な設定で印刷します。［詳細設定］は、印刷に関する項目を手動で設定します。各モードの詳細はヘルプをご覧ください。ヘルプは、知りたい項目の上でマウスの右ボタンをクリックして［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。
④	印刷プレビュー	チェックすると、印刷実行時に［印刷プレビュー］画面が表示され、印刷前に印刷イメージを確認できます。

4 ［用紙設定］タブをクリックして、［用紙設定］画面の各項目を設定します。

①	給紙方法	フロント手差し（厚紙）を選択します。
②	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを選択します。
③	印刷方向	印刷データの印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

厚紙印刷では、フチなし印刷ができません。

5 ［OK］をクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で厚紙印刷は終了です。

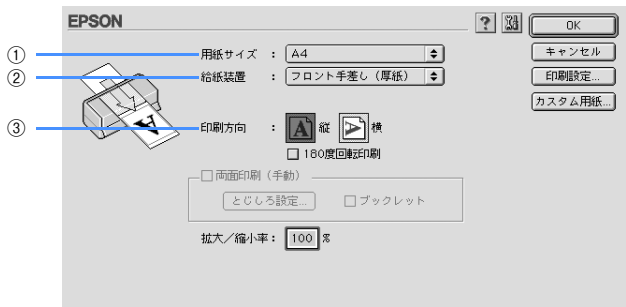
Mac OS 9 の場合

1 厚紙をプリンタにセットします。

☞ 使い方ガイド「厚紙のセット」

2 プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

3 ［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］をクリックします。

①	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを選択します。
②	給紙装置	フロント手差し（厚紙）を選択します。
③	印刷方向	印刷データの印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

厚紙印刷では、フチなし印刷ができません。

4 プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

5 ［印刷］画面の各項目を設定します。

①	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を選択します。
②	インク	• カラー印刷する場合は、［カラー］を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は、［モノクロ写真印刷］を選択します。 • 線画などのモノクロ印刷をする場合は、［黒］を選択します。
③	モード	印刷モードを選択します。印刷するモードによって画面が切り替わります。各モードの詳細はヘルプをご覧ください。ヘルプは ? をクリックすると、表示されます。

6 ［印刷］をクリックして、［印刷］画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で厚紙印刷は終了です。

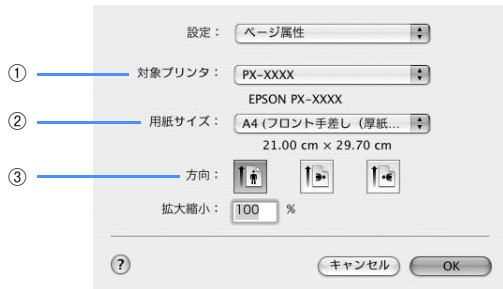
Mac OS X の場合

1 **厚紙をプリンタにセットします。**

☞ 使い方ガイド「厚紙のセット」

2 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

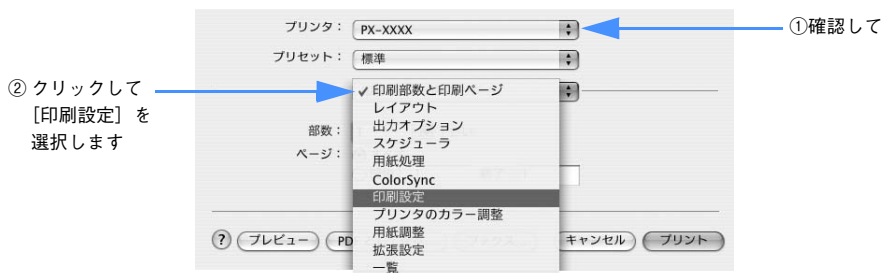
3 **［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］をクリックします。**

①	対象プリンタ	本機を選択します。
②	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズ（XXX（フロント手差し））を選択します。
③	方向	印刷データの印刷方向を選択します。［用紙設定］画面のサブで、実際の印刷方向を確認できます。

厚紙印刷では、フチなし印刷ができません。

4 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

5 ［印刷］画面で、❸ で設定したプリンタ名が表示されていることを確認し、リストから［印刷設定］を選択します。

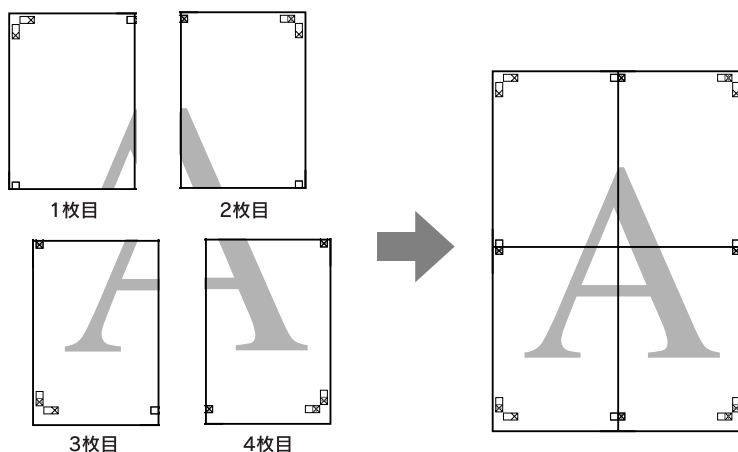
違うプリンタ名が表示されている場合は、選択し直してください。

6 各項目を設定します。

①	ページ設定	［フロント手差し（厚紙）］が表示されます。
②	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を選択します。
③	カラー	• カラー印刷する場合は、［カラー］を選択します。 • モノクロ写真を印刷する場合は、［モノクロ写真］を選択します。 • 線画などのモノクロを印刷をする場合は、［黒］を選択します。
④	モード	印刷モードを選択します。選択するごとに画面が切り替わります。各モードの詳細はヘルプをご覧ください。ヘルプは［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

7 ［プリント］をクリックして、［印刷］画面を閉じ、印刷を実行します。

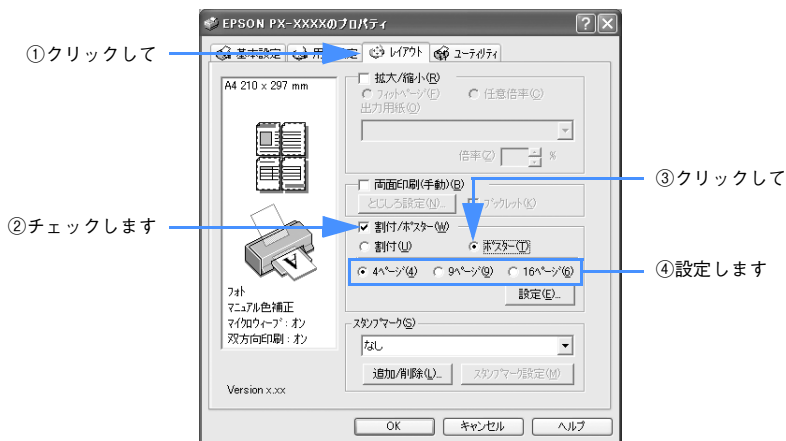
以上で厚紙印刷は終了です。

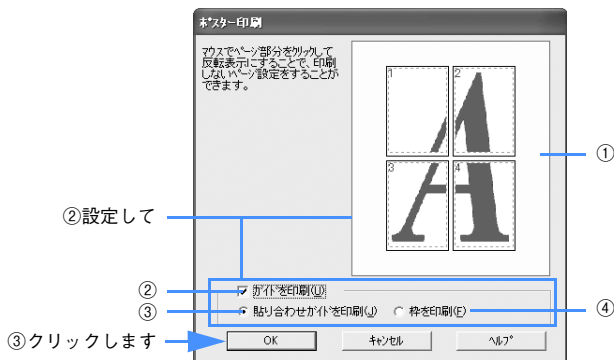
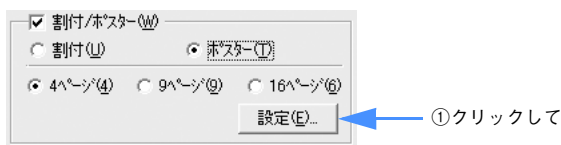
ポスター印刷（拡大分割して印刷）（Mac OS X 以外）

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大分割して印刷することができる機能です。印刷結果をつなぎ合わせると、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。Mac OS X では、この機能は使用できません。

ポスター印刷機能は、定形紙（A4 など）をオートシートフィーダから給紙してフチありで印刷する場合のみ使用できます。

Windows の場合

1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
   本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［レイアウト］タブをクリックして、［割付 / ポスター］をチェックし、［ポスター］をクリックして、何分割で印刷するかを設定します。**

- 設定したページ数と同じ枚数を、オートシートフィーダにセットしてください。
- 分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。

3 ［設定］をクリックして、①から④の項目を設定し、［OK］をクリックして元の画面に戻ります。

①	印刷面の選択	各ページをクリックすることで、分割したページの印刷する / しないを選します。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。
②	ガイドを印刷	貼り合わせるときに便利なガイドや枠線を印刷します。
③	貼り合わせガイドを印刷	貼り合わせるときに用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷します。また、貼り合わせるためのガイドも印刷します。
④	枠を印刷	余白部分を切り取る際の枠線を印刷します。

! 注意 Windows98/Meでは、完成サイズが2.3mを超えるポスター印刷はできません。

貼り合わせ後の仕上がりサイズについて
［枠を印刷］を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、［貼り合わせガイドを印刷］を選択した場合は、重ね合わせ分だけ小さくなります。

4 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

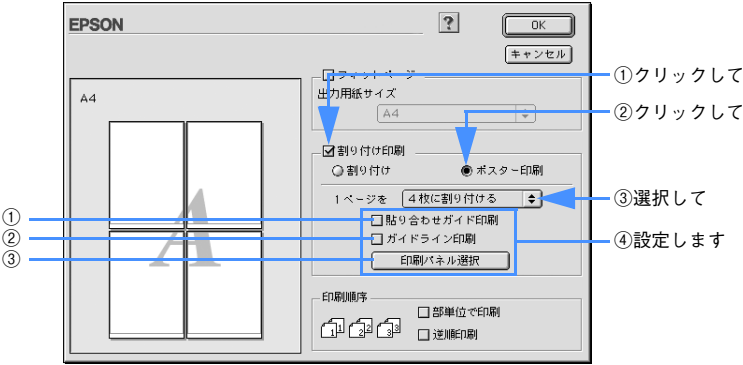
以上でポスター印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

1 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **をクリックします。**

3 **［割り付け印刷］をチェックして、［ポスター印刷］をクリックし、何分割で印刷するかを設定します。また、そのほかの項目も設定します。**

①	貼り合わせガイド印刷	チェックすると、貼り合わせる際に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷されます。また、貼り合わせるためのガイドも印刷されます。
②	ガイドライン印刷	チェックすると、余白部分を切り取る際のガイド線が印刷されます。
③	印刷パネル選択	各ページをクリックすることで、分割したページの印刷する／しないを選択します。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。

!注意 Mac OS 9 では、完成サイズが 2.3m を超えるポスター印刷はできません。

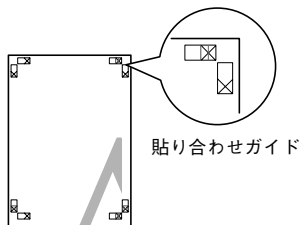
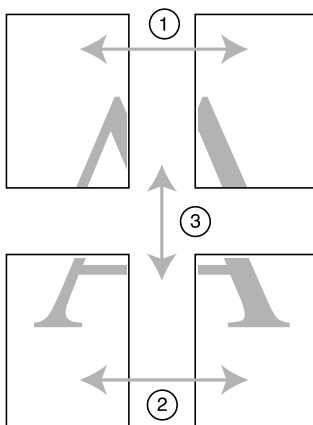
参考

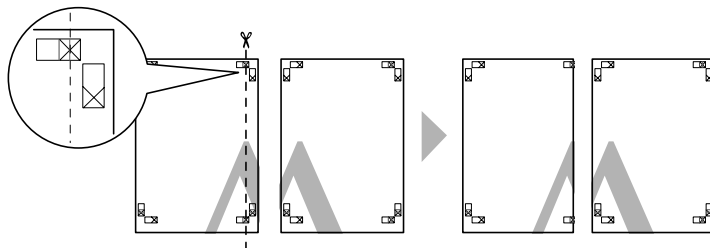
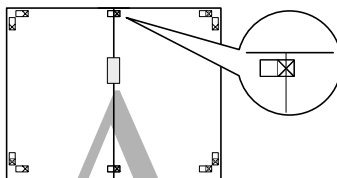
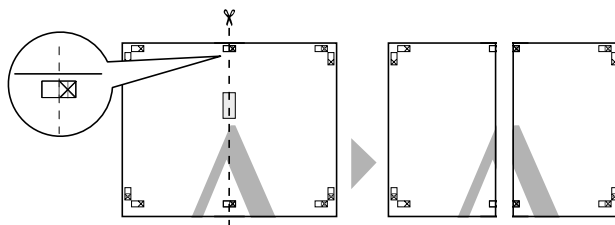
- ［用紙設定］画面から［印刷設定］をクリックして表示される［印刷設定］画面には、は表示されません。必ず以下のページに記載されている方法で［印刷］画面を表示してください。
  本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」
- 設定した枚数と同じ枚数を、プリンタにセットしてください。
- 分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。
- ［ガイドライン印刷］を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、［貼り合わせガイド印刷］を選択した場合は、重ね合わせ分だけ小さくなります。

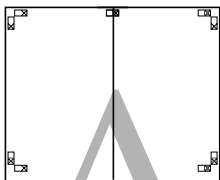
4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、そのほかの設定を確認して、印刷を実行します。

以上でポスター印刷は終了です。

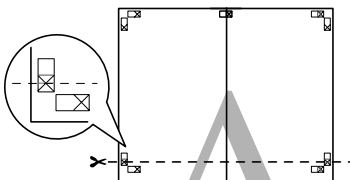
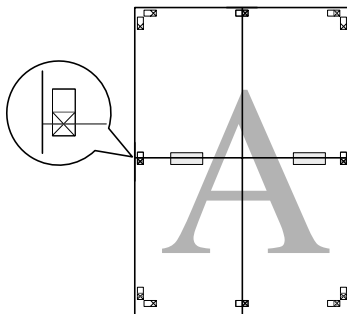
貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方

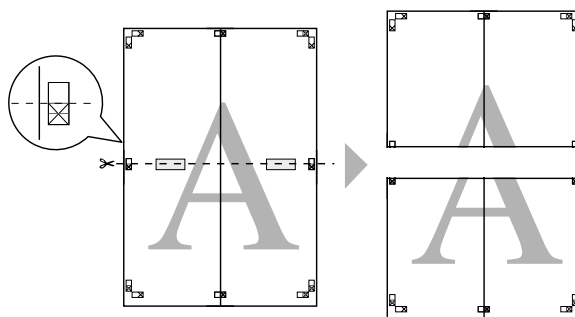
［貼り合わせガイド印刷］を選択して印刷すると、下図のような貼り合わせガイドを印刷します。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して、4 枚の用紙を貼り合わせる方法を説明します。

4 枚の用紙を貼り合わせる場合は、下図の順番で貼り合わせます。

貼り合わせ手順

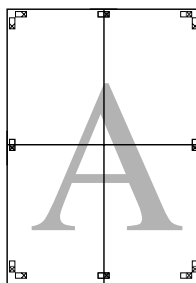
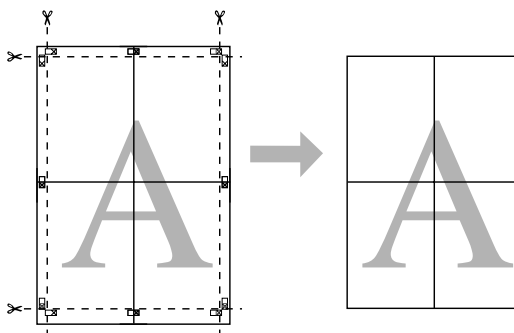
1. **上段 2 枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

2. **切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

3. **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

❹ 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

❺ 下段の 2 枚の用紙も、❶ ～ ❹ に従って貼り合わせます。

❻ 上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。

モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

❼ 切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

8 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

9 **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

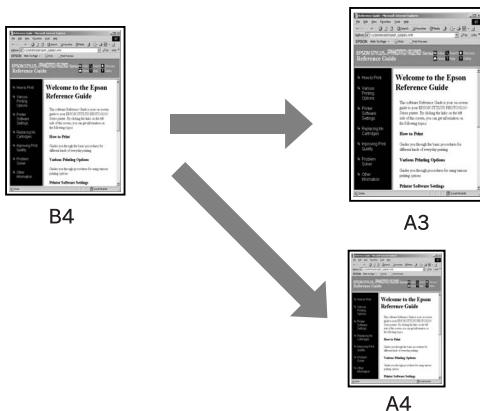
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

10 **すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。**

これで、大きなポスターの完成です。

拡大 / 縮小印刷

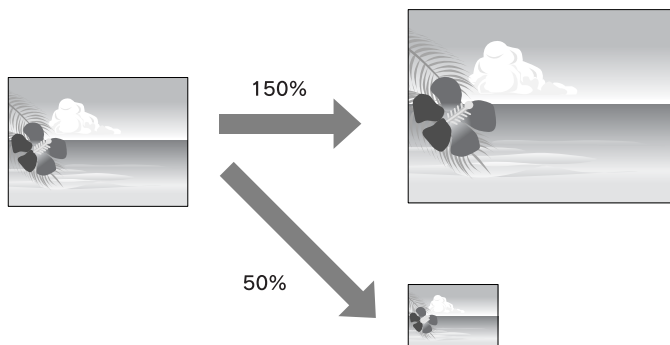
原稿を拡大または縮小して印刷できます。設定方法には以下の 2 種類があります。

フィットページ印刷

印刷する用紙サイズを選択するだけで自動的に用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小して印刷できます。

☞ 193 ページ「フィットページ印刷（Mac OS X 以外）」

任意倍率設定

定形外の用紙サイズの場合など、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

☞ 197 ページ「任意倍率設定印刷」

フィットページ印刷（Mac OS X 以外）

プリンタにセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷できます。

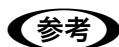
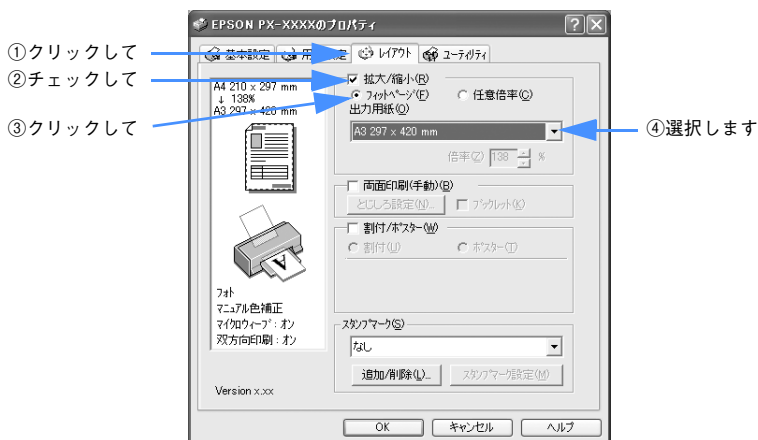
- フィットページ印刷機能は、オートシートフィーダからフチありの印刷をする場合に設定できます。
- Mac OS X では、フィットページ印刷はできません。

Windows の場合

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 ［用紙設定］タブをクリックして、［用紙サイズ］でデータサイズと同じ用紙サイズを設定します。

3 ［レイアウト］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］をクリックして、［出力用紙］からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。

［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

4 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上でフィットページ印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

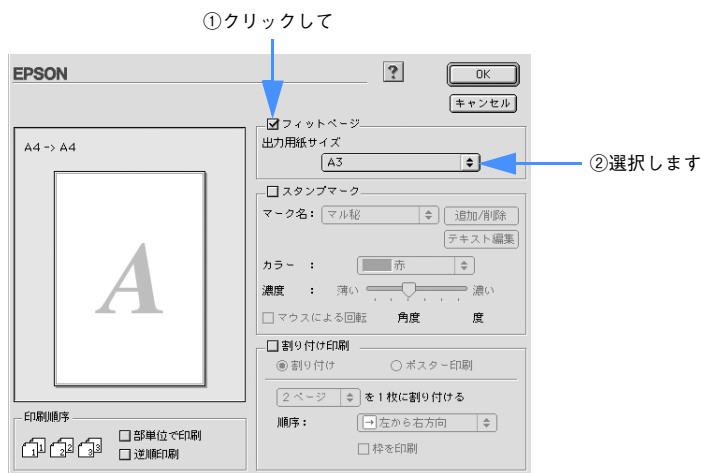
1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙サイズ］で、データサイズと同じ用紙サイズを設定して、［OK］をクリックします。**

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**
☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

4. **をクリックします。**

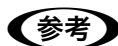
［用紙設定］画面から［印刷設定］をクリックして表示される［印刷設定］画面には、は表示されません。必ず以下のページに記載されている方法で［印刷］画面を表示してください。
☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

5 ［フィットページ］をチェックして、［出力用紙サイズ］からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。

［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大/縮小率が自動的に設定されます。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、そのほかの設定を確認して、印刷を実行します。

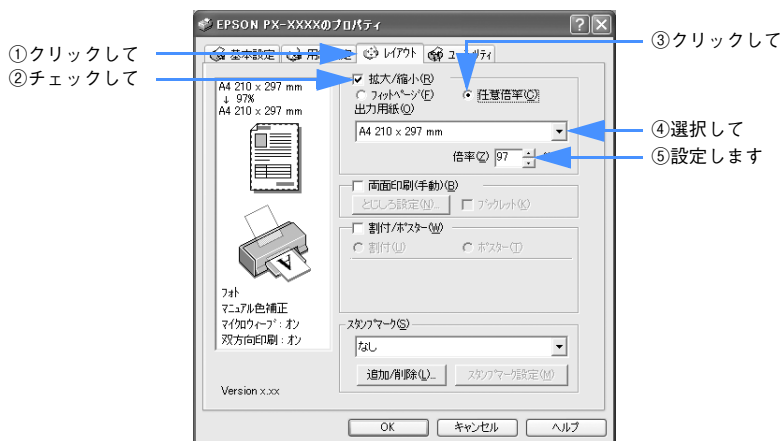
以上でフィットページ印刷は終了です。

任意倍率設定印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷できます。

Windows または Mac OS 9 では、任意倍率印刷機能は、オートシートフィーダからフチありの印刷をする場合に設定できます。

Windows の場合

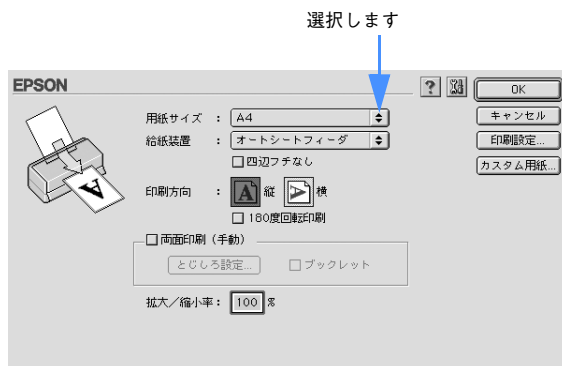
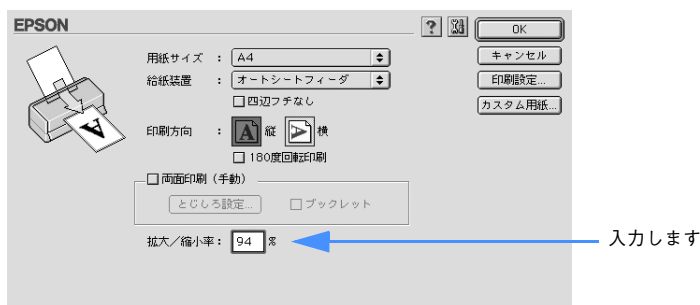
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［レイアウト］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［任意倍率］をクリックして、［出力用紙］を選択し、［倍率］を設定します。**
［出力用紙］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。
倍率は、数値を直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定してください。10 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で任意倍率設定印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
   ☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙サイズ］で、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。**

3. **［拡大 / 縮小率］を入力します。**
   25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

4. **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

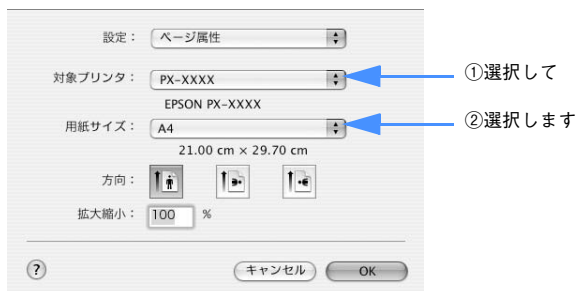
以上で任意倍率設定印刷は終了です。

Mac OS X の場合

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

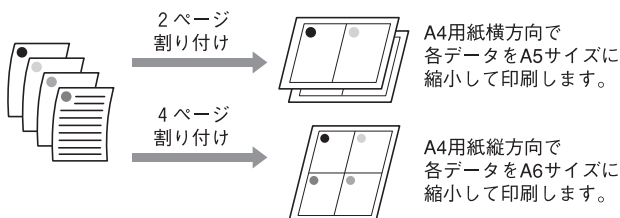
2 **［対象プリンタ］と［用紙サイズ］を選択します。**

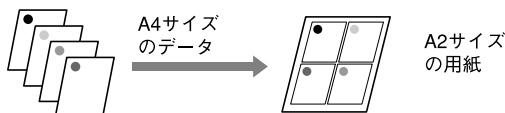
［用紙サイズ］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。

3 **［拡大 / 縮小］を入力します。1 〜 100000% の間で倍率を指定できます。**

4 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

以上で任意倍率設定印刷は終了です。

割付印刷

1 枚の用紙に複数ページ分の連続したデータを割り付けて印刷することができます。
A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

Windows と Mac OS 9 ではプリンタドライバの機能で、Mac OS X では OS の機能で割り付け印刷をします。

- Windows と Mac OS 9 での割付印刷機能は、定形紙（A4 など）をオートシートフィーダから給紙してフチありで印刷する場合のみ使用できます。そのほかの場合は、画面がグレーアウトされて設定できません。
- 拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
  ☞ 本書 192 ページ「拡大 / 縮小印刷」

- 両面印刷と組み合わせて設定することができます。
  ☞ 本書 204 ページ「両面印刷（Mac OS X 以外）」

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［レイアウト］タブをクリックして、［割付 / ポスター］をチェックし、［割付］をクリックして、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で割付印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**
☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **をクリックします。**

3. **［割り付け印刷］をチェックし、［割り付け］をクリックして、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

4. **［OK］をクリックして画面を閉じ、そのほかの設定を確認して、印刷を実行します。**

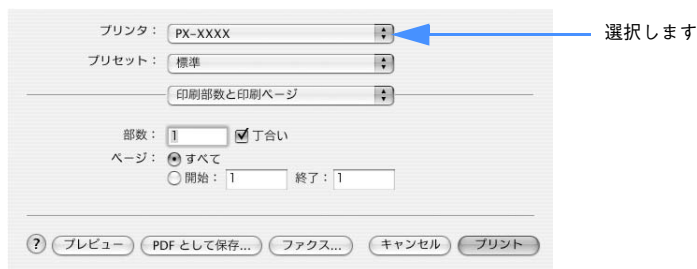
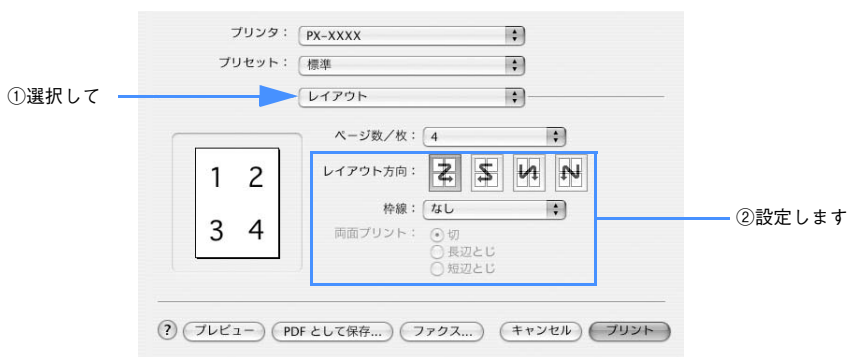
印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

以上で割付印刷は終了です。

Mac OS X の場合

1 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

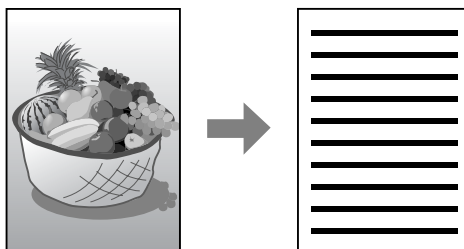
☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

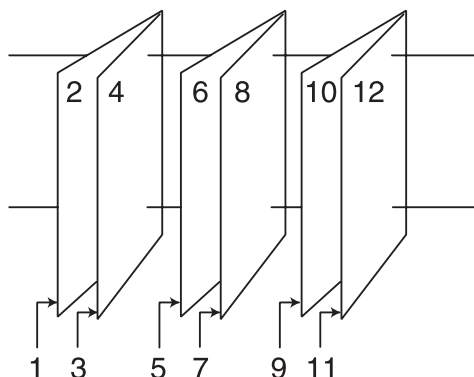
2 **［プリンタ］で、本機を選択します。**

3 **リストから［レイアウト］を選択し、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

［枠線］で［なし］以外を選択すると、割り付けたページに、選択した線種で枠線が印刷されます。

4 **そのほかの設定を確認し、［プリント］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で割付印刷は終了です。

両面印刷（Mac OS X 以外）

奇数ページ印刷終了後、用紙を裏返してセットし直し、偶数ページを印刷することによって、両面に印刷ができます。

また、両面印刷設定時に［ブックレット］にチェックすると、冊子に仕上がるように印刷できます。
［ブックレット］をチェックした場合の印刷順序は以下のようになります。
この例では、用紙を 2 つに折りたたんだ際に外側にくる面（1, 4, 5, 8, 9, 12 ページ）を先に印刷します。外側の印刷が終了してから用紙をセットし直し、内側にくる面（2, 3, 6, 7, 10, 11 ページ）を印刷します。

<例>

！注意　両面印刷に対応していない用紙は、使用しないでください。

- 両面印刷機能は、定形紙（A4 など）をオートシートフィーダから給紙してフチありで印刷する場合のみ使用できます。そのほかの場合は、画面がグレーアウトされて設定できません。
- 割付印刷と組み合わせて設定できます。
- 用紙の種類や印刷するデータによっては、用紙の裏面にインクがにじむ場合があります。
- Windows の場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていないと、両面印刷の機能は使用できません。
- Mac OS X には、この機能はありません。

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［レイアウト］タブをクリックして、［両面印刷（手動）］をチェックします。**

- ［とじしろ設定］をクリックすると、複数枚印刷してその用紙をとじるときの［とじしろ位置］と［とじしろ幅］を設定できます。なお、ご利用のアプリケーションソフトによっては、設定したとじしろ幅と実際の印刷結果が異なることがありますので、試し印刷をしてください。
- ［ブックレット］をチェックすると、印刷した用紙が冊子に仕上がるように印刷できます。

3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

まず奇数ページから印刷します。
奇数ページの印刷が終わり、用紙を裏返して再セットする案内画面が表示されるまでお待ちください。

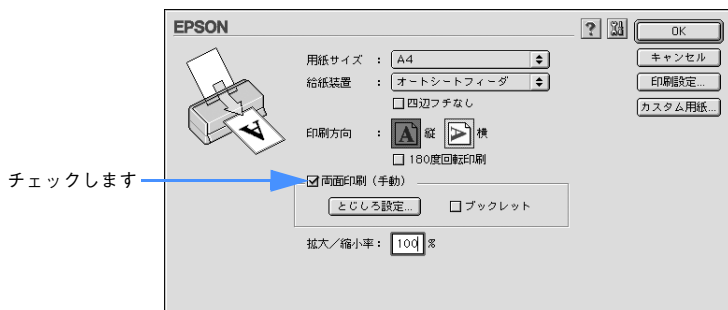
❹ 奇数ページの印刷が終了すると［案内］画面を表示します。画面の指示に従って印刷する面を上に向けて、オートシートフィーダにセットし直し、［印刷再開］をクリックします。

残りの偶数ページが印刷されます。

以上で両面印刷は終了です。

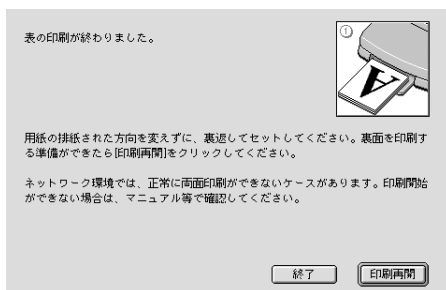
Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［両面印刷（手動）］をチェックします。**

- ［とじしろ設定］をクリックすると、複数枚印刷してその用紙をとじるときの［とじしろ位置］と［とじしろ幅］を設定できます。なお、ご利用のアプリケーションソフトによっては、設定したとじしろ幅と実際の印刷結果が異なることがありますので、試し印刷をしてください。
- ［ブックレット］をチェックすると、印刷した用紙が冊子に仕上がるように印刷できます。

3. **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**
まず奇数ページから印刷します。
奇数ページの印刷が終わり、用紙を裏返して再セットする案内画面が表示されるまでお待ちください。

4 **奇数ページの印刷が終了すると［案内］画面を表示します。画面の指示に従って印刷する面を上に向けてオートシートフィーダにセットし直し、［印刷再開］をクリックします。**

残りの偶数ページが印刷されます。

以上で両面印刷は終了です。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタドライバに用意されていない用紙サイズを自分で設定して印刷できます。

定形紙（A4など）

不定形紙

!注意

- 定形サイズ以外の用紙サイズを設定するとき、L 判（89 × 127mm）より小さい用紙サイズを設定できますが、プリンタにセットできる最小用紙サイズは L 判です。L 判より小さいサイズの用紙は使用できません。
- Mac OS X では、Mac OS X v10.2.3 以降でこの機能を使用できます。
- Mac OS X では、プリンタにセットできる用紙の最大サイズよりも大きなサイズを［カスタム用紙サイズ］として設定できますが、その設定で印刷しても正しく印刷できません。最小サイズについても同様に［カスタム用紙サイズ］として設定できますが、正しく印刷できません。

Windows の場合

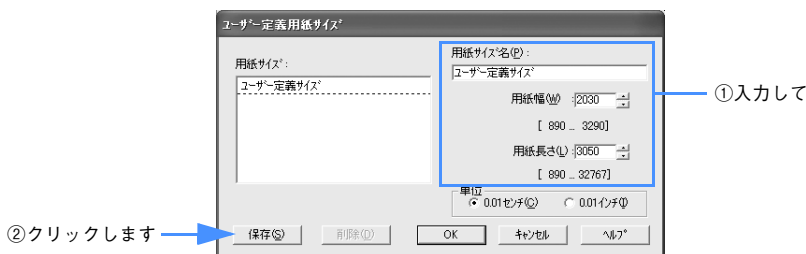
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［用紙設定］タブをクリックして、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 **［用紙サイズ名］と［用紙幅］・［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。**

- ［用紙サイズ名］の入力可能文字数は、全角 12 文字・半角 24 文字までです。
- 数値の単位は、［0.01 センチ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択します。画面右側の「単位」で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

用紙幅	8.90 ～ 32.90cm（3.50 ～ 12.95 インチ）
用紙長さ	8.90 ～ 327.67cm（3.50 ～ 129.00 インチ）

- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 登録できる用紙サイズは 100 個までです。

4 ［OK］をクリックします。

これで用紙サイズのリストボックスに、設定した用紙サイズが登録されました。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

Mac OS 9 の場合

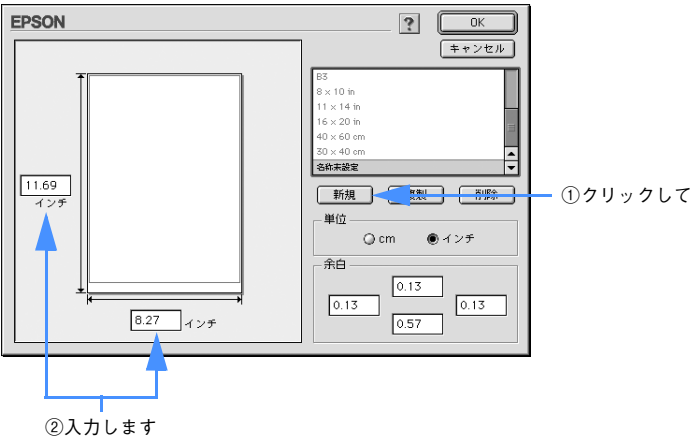
1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

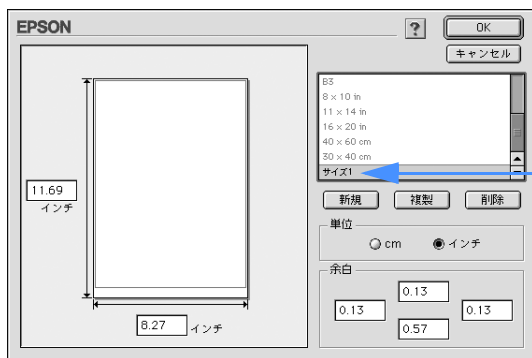
2 **［カスタム用紙］をクリックします。**

3 **［新規］をクリックしてから、用紙サイズを入力します。**

- 数値の単位は、［cm］または［インチ］のどちらかを選択します。画面右側の［単位］で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

用紙幅	5.40 ～ 55.88cm（2.13 ～ 22.00 インチ）
用紙長さ	8.60 ～ 111.76cm（3.39 ～ 44.00 インチ ）

- 画面では用紙幅に 55.99cm（22.00 インチ）まで入力できますが、実際に印刷できる用紙の幅は 32.9cm（12.8 インチ）までです。
- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 設定画面では、余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか、左のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。

4 リスト内の［名称未設定］と表示されている部分をダブルクリックして、登録したい名称を入力します。

用紙サイズ名の入力可能文字数は、全角 15 文字、半角 31 文字までです。

- 本機で印刷できないサイズを登録して印刷すると、自動的に拡大／縮小（フィットページ）されます。
- 登録できる用紙サイズは 100 個までです。

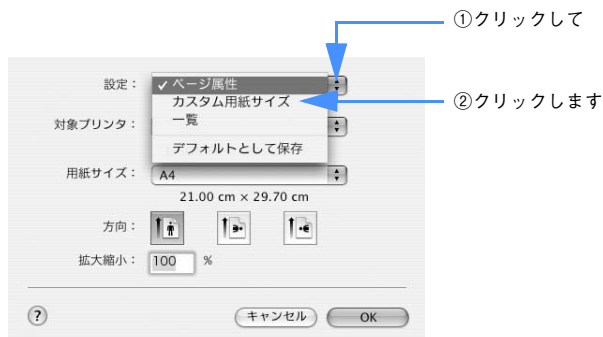
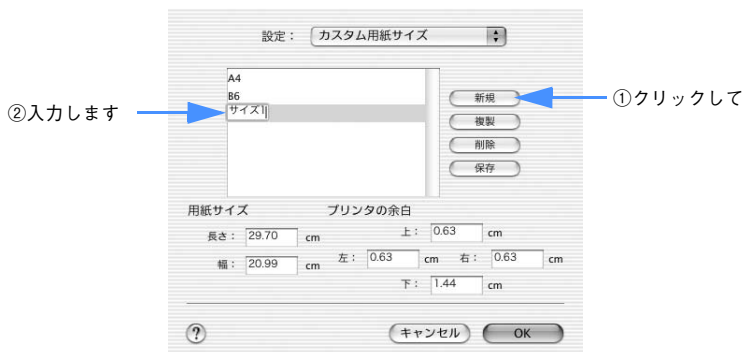
5 ［OK］をクリックします。

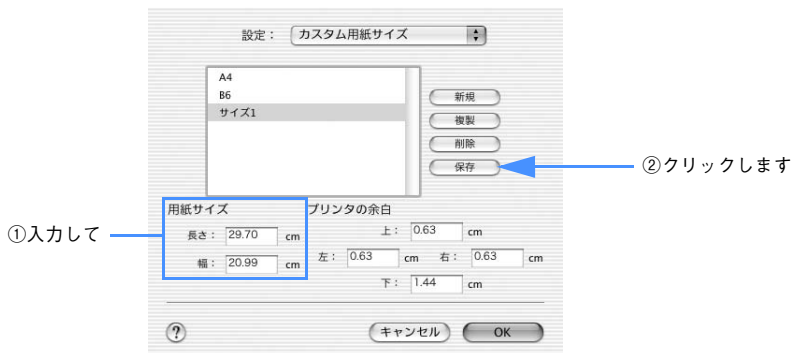
これで用紙サイズのポップアップメニューに、設定した用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

Mac OS X の場合（v10.2.3 以降のみ）

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
   ☞ 本書 87 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［対象プリンタ］を選択します。**

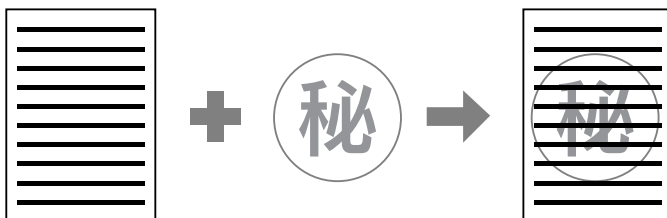
3. **［設定］で［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

4. **［新規］をクリックし、用紙サイズ名を入力します。**

5 ［用紙サイズ］の［長さ］と［幅］を入力してから、［保存］をクリックします。指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

幅	5.40 ～ 55.88cm
長さ	8.60 ～ 111.76cm

- ［長さ］には 111.76cm よりも大きい長さを入力できますが、実際には 111.76cm までしか印刷されません。
- 長さは 111.76cm まで設定できますが、使用するアプリケーションによっては、111.76cm 以下でも正しく印刷できないことがあります。
- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 設定画面では、余白の設定もできます。［プリンタの余白］の［上］、［下］、［左］、［右］に余白の大きさを入力して設定します。

6 ［OK］をクリックします。

これで用紙サイズのポップアップメニューに、設定した用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

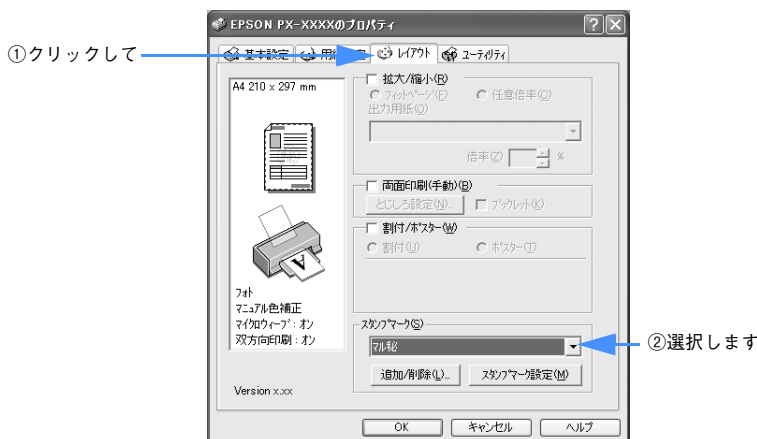
スタンプマークを重ねて印刷

「マル秘」や「重要」などのマークや単語を、スタンプのように重ね合わせて印刷できます。

スタンプマーク印刷機能は、四辺フチなし、ロール紙印刷時には設定できません。

印刷手順

Windows の場合

1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
   本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

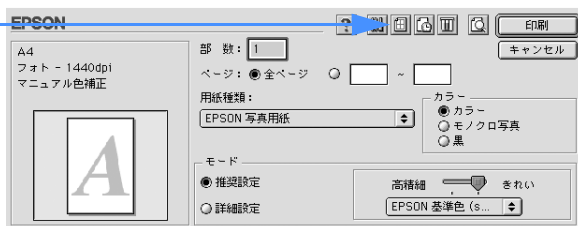
2. **［レイアウト］タブをクリックして、スタンプマークを選択します。**
   ［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、スタンプマークの色や印刷位置などを変更できます。ただし、新しく登録した画像の色は変更できません。

3. **その他の設定を確認し、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

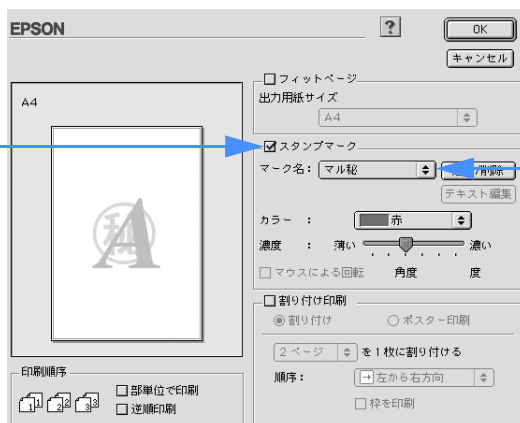
以上でスタンプマークの印刷手順は終了です。

Mac OS 9 の場合

1 **プリンタドライバの［プリント］画面を表示します。**

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

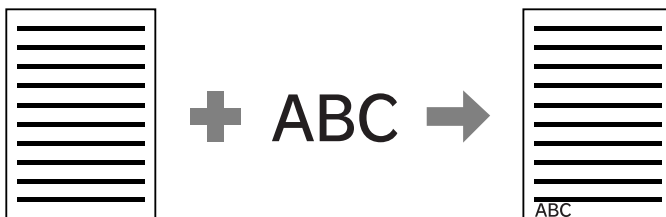
2 **をクリックします。**

3 **［スタンプマーク］をチェックして、スタンプマークを選択します。**

必要に応じてカラーや濃度などを変更してください。ただし、新しく登録した画像の色は変更できません。また、［テキスト編集］と［マウスによる回転］は、登録した単語を選択した場合に設定できます。

画面左のプレビュー部でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの位置やサイズを変更できます。

［OK］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、印刷を実行します。

以上でスタンプマークの印刷手順は終了です。

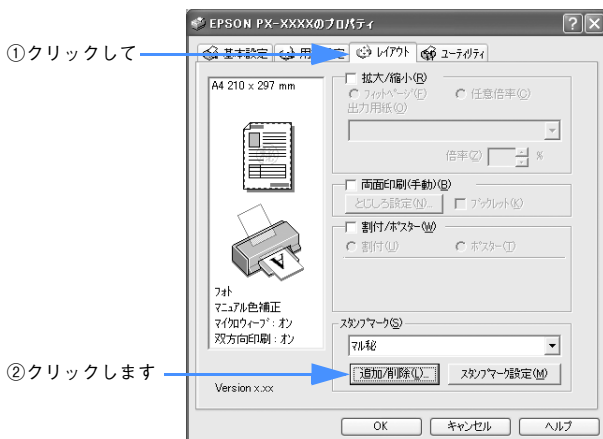
オリジナルスタンプマークの登録

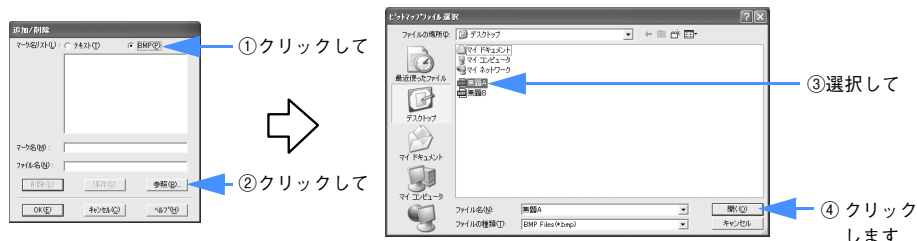
お好きな画像や単語をスタンプマークとして登録できます。

- 登録できる画像のファイル形式は BMP（Windows）または PICT（Mac OS ）だけです。画像は事前に用意してください。
- 登録できるスタンプマークの数は、画像と単語を合わせて 10 個です。
- Windows 98/Me の場合、登録できる画像ファイルの容量は 15MB までです。
  なお、15MB 未満の画像でも、ご利用のコンピュータによっては登録できない場合があります。

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 15 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［レイアウト］タブをクリックして、［追加 / 削除］をクリックします。**

3 **画像を登録する場合**

［BMP］をクリックして、［参照］をクリックし、画像ファイルの保存場所を選択して、［開く］（または［OK］）をクリックします。

単語を登録する場合

［テキスト］をクリックして、［テキスト］欄に単語を入力します。

登録したスタンプマークを削除したいときは、［マーク名リスト］に表示されているスタンプマーク名をクリックして、［削除］をクリックしてください。

4 **［マーク名］を入力し、［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。**

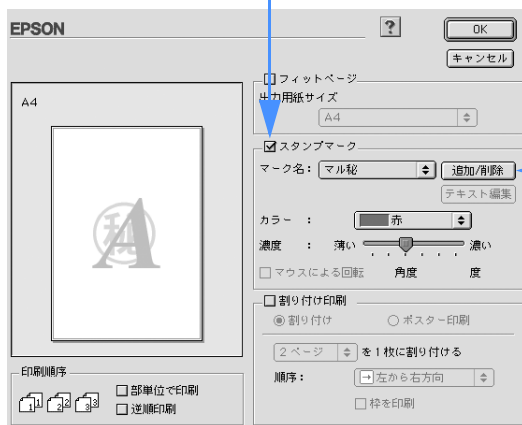
以上でマーク名の一覧にスタンプマークが登録されました。

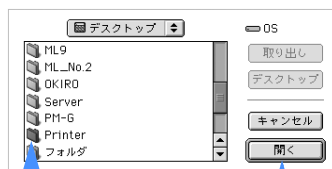
Mac OS 9 の場合

1 **プリンタドライバの［プリント］画面を表示します。**

☞ 本書 59 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **をクリックします。**

3 **［スタンプマーク］をチェックして、［追加 / 削除］をクリックします。**

4 **画像を登録する場合**

［ピクチャ追加］をクリックして、画像ファイルの保存場所を選択して［開く］をクリックします。

①クリックして　②選択して　③クリックします

単語を登録する場合

［テキスト追加］をクリックして、［テキスト］に単語を入力し、フォントやスタイルを設定して［OK］をクリックします。

①クリックして　②入力します

スタンプマーク名を変更する場合は［ユーザーマーク］の一覧に表示されているスタンプマーク名をクリックして、入力してください。登録したスタンプマークを削除する場合は、［ユーザーマーク］の一覧に表示されているスタンプマーク名をクリックして、［削除］をクリックしてください。

5 **［OK］をクリックして［レイアウト］画面に戻ります。**

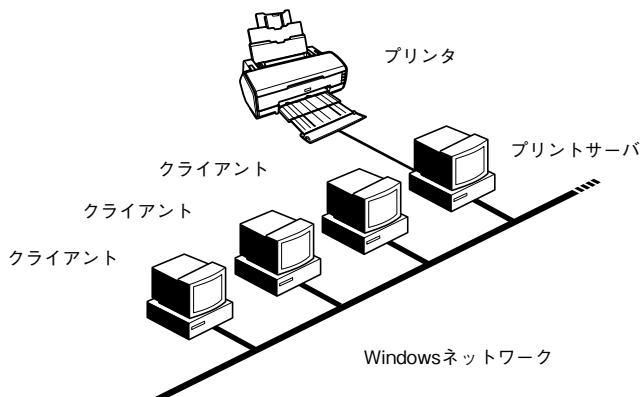
以上でマーク名の一覧にスタンプマークが登録されました。

簡単なネットワーク共有の方法

ここでは、ネットワーク環境で本機を共有する手順について説明します。

ネットワーク接続の形態

本機は、以下の方法によりネットワーク上での共有が可能です。

ネットワークコンピュータを 経由した共有

コンピュータに直接（ローカル）接続されたプリンタをネットワーク共有として設定することで、ほかのコンピュータからもネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。
上記の設定方法は、すでにコンピュータのネットワーク環境が構築されていること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。このプリンタ共有形態では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ * の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

* サーバ：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

Windows☞ 本書 226 ページ「Windows でのプリンタの共有」
Mac OS 9☞ 本書 238 ページ「Mac OS 9 でのプリンタの共有」
Mac OS X☞ 本書 242 ページ「Mac OS X でのプリンタ共有」

Windows でのプリンタの共有

Windows にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Windows でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

以降の説明では、共有するプリンタを接続する Windows をプリントサーバ、そのプリンタを利用する Windows をクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

Windows XP/2000 の場合

Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとして、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。

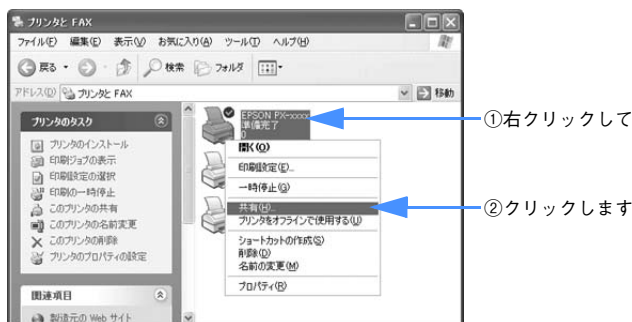
1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］または［プリンタ］を開きます。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 ［PX-5500］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

参考

Windows XP で以下の画面が表示された場合は、[危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。] をクリックします。

EPSON PX-xxxx のプロパティ

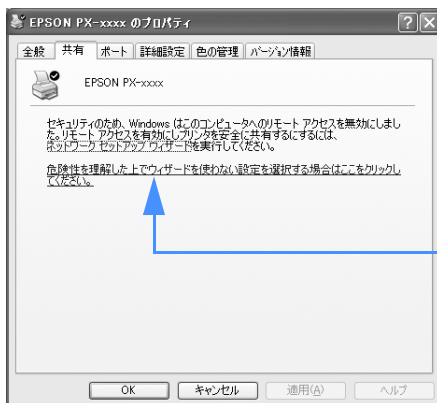
全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 バージョン情報

EPSON PX-xxxx

セキュリティのため、Windows はこのコンピュータへのリモート アクセスを無効にしました。リモート アクセスを有効にしプリンタを安全に共有するには、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行してください。

危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。

クリックします

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

以下の画面が表示されますので [ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする] を選択して [OK] をクリックします。

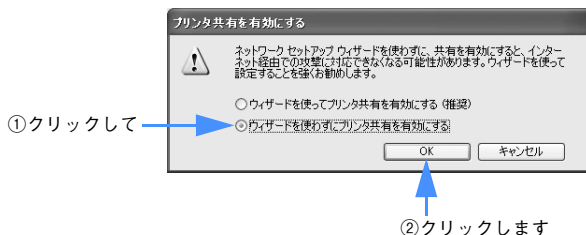
プリンタ共有を有効にする

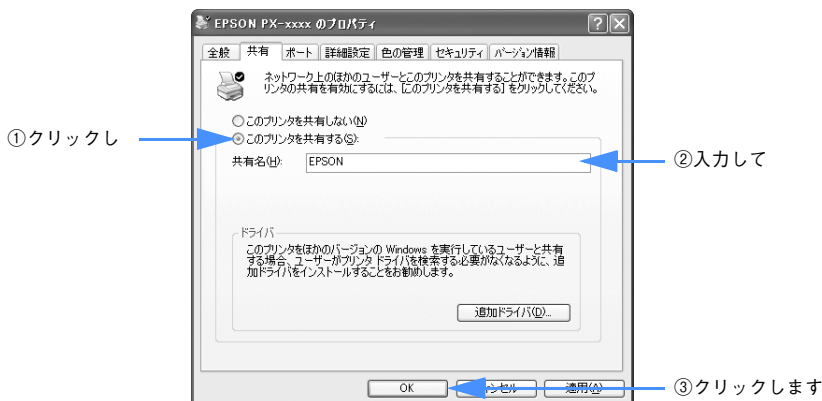
ネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、共有を有効にすると、インターネット経由での攻撃に対応できなくなる可能性があります。ウィザードを使って設定することを強くお勧めします。

ウィザードを使ってプリンタ共有を有効にする (推奨)

ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする

①クリックして

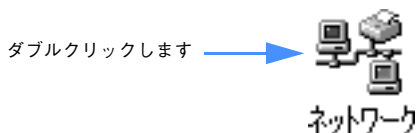
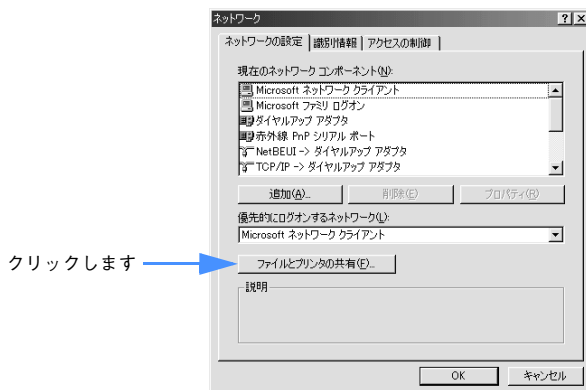
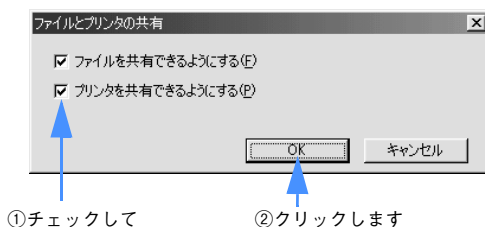
OK キャンセル

②クリックします

3 [このプリンタを共有する] または [共有する] を選択して [共有名] を入力し、[OK] をクリックします。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  良い例：PX_5500、PX5500 など
  悪い例：PX □ 5500、PX-5500
- Windows XP/2000 の［追加ドライバ］はクリックしないでください。
- ［セキュリティ］タブをクリックして、ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタさせる］をチェックしてください
  本書 48 ページ「モニタの設定」

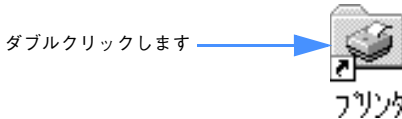
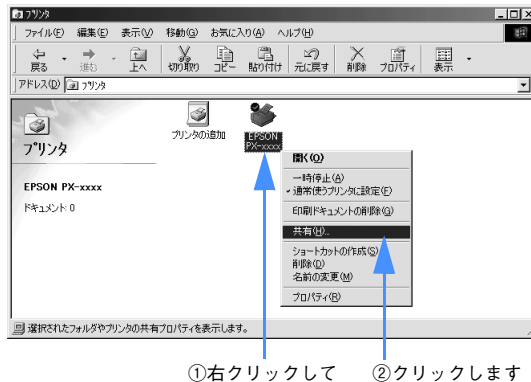
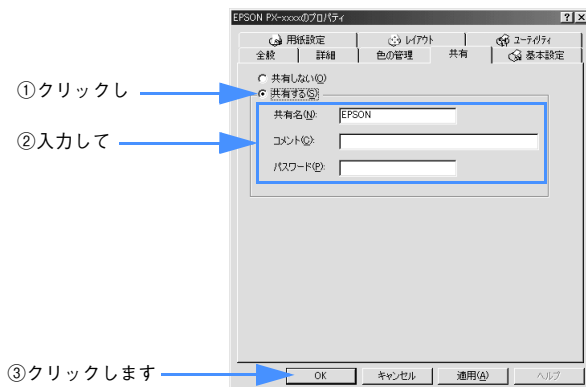
以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

Windows 98/Me の場合

1. 画面左下の［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

2. 表示された画面の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

4. ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックします。

5 ネットワークの設定画面で［OK］をクリックします。

- Windows の CD-ROM を要求する画面が表示された場合は Windows の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］をクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、6 の手順から設定してください。

6 コントロールパネルで［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 ［PX-5500］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］をクリックして、必要に応じて各項目を入力し、［OK］をクリックします。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  良い例：PX_5500、PX5500 など
  悪い例：PX □ 5500、PX-5500
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタさせる］をチェックしてください
  本書 48 ページ「モニタの設定」

以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

クライアント側の設定

Windows XP/2000 の場合

Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとして、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windowsの[スタート]メニューから[プリンタとFAX]または[プリンタ]を開きます。

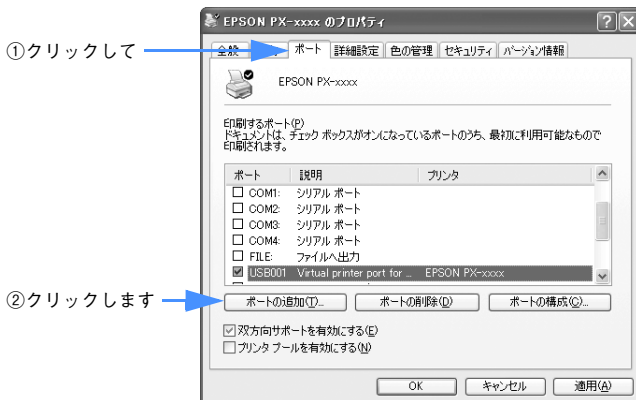
- **Windows XP の場合**

① [スタート] － [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

[スタート] － [設定] － [プリンタ] をクリックします。

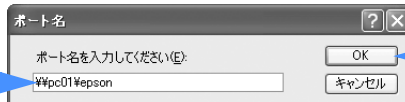
2 [PX-5500] アイコンを右クリックして、表示されたメニューの [プロパティ] をクリックします。

3 [ポート] タブをクリックして、[ポートの追加] をクリックします。

下記の画面の表示がされたら、[はい]をクリックして、次のステップに進んでください。

4 **[Local Port]を選択して[新しいポート]をクリックします。**

5 **プリンタを共有しているコンピュータ名と共有されているプリンタの共有名を、以下の書式で入力し、[OK]をクリックします。**

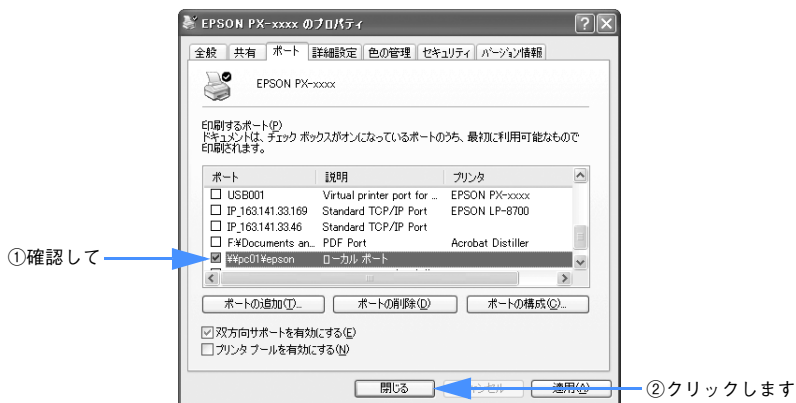
すべての文字は半角文字で入力します。書式や名称が正しくないと次のステップに進めません。

「¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名」

コンピュータの名前は以下の方法で確認できます。各コンピュータのアイコンに付けられている名前がコンピュータ名です。

- Windows XP では[スタート]から[マイネットワーク]を選択して開き、[ネットワークタスク]の[ワークグループのコンピュータを表示する]をクリックします。
- Windows 2000 では[マイネットワーク]をダブルクリックして開き、さらに[近くのコンピュータ]をダブルクリックします。

さらに目的のコンピュータ名のアイコンをダブルクリックして開くと、共有プリンタ名を確認できます。ダブルクリックして開いた画面内のプリンタアイコンにつけられている名称が共有プリンタ名です。

6 ［閉じる］をクリックします。

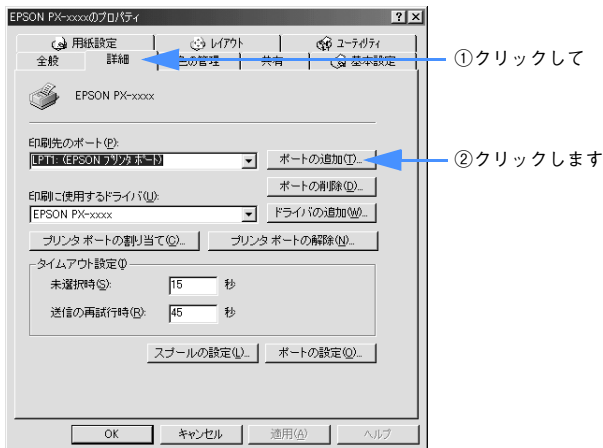
7 「印刷するポート」の一覧に設定した名前が表示され、チェックされていることを確認して、［閉じる］をクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

Windows 98/Me の場合

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］を開きます。**

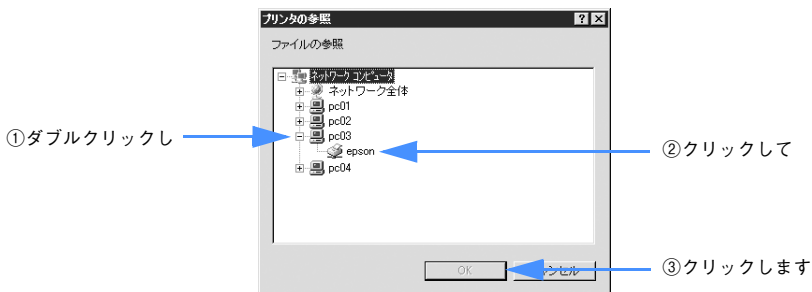
画面左下の［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

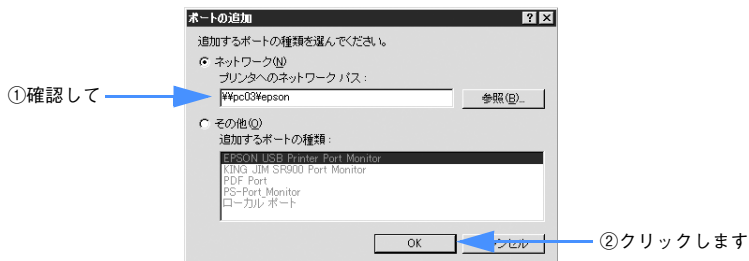
2 **［PX-5500］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックして、［ポートの追加］をクリックします。**

4 ［ネットワーク］を選択してから、［参照］をクリックします。

ご利用の環境のネットワーク構成図が表示されます。

5 共有する PX-5500 を接続しているコンピュータをダブルクリックし、共有プリンタ名をクリックして、［OK］をクリックします。

共有プリンタ名を確認してください。

6 共有プリンタ名を確認して［OK］をクリックします。

［プリンタへのネットワークパス］の欄に［¥¥共有プリンタを接続しているコンピュータ名（プリントサーバ）¥共有プリンタ名］が入力されます。

7 ［印刷先のポート］が **6** で設定されたポートになっていることを確認して、［OK］をクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

Mac OS 9 でのプリンタの共有

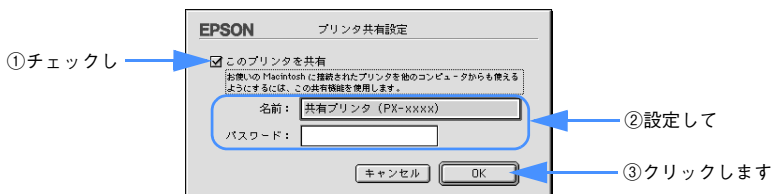
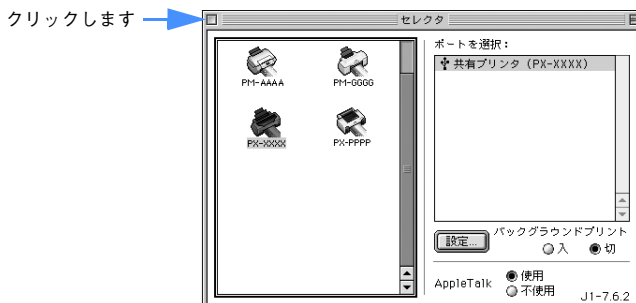
Mac OS 9 にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Mac OS 9 でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

- Mac OS 9 と Mac OS X の間ではプリンタを共有できません。
- 以降の説明では、共有するプリンタを接続するコンピュータをプリントサーバ、そのプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

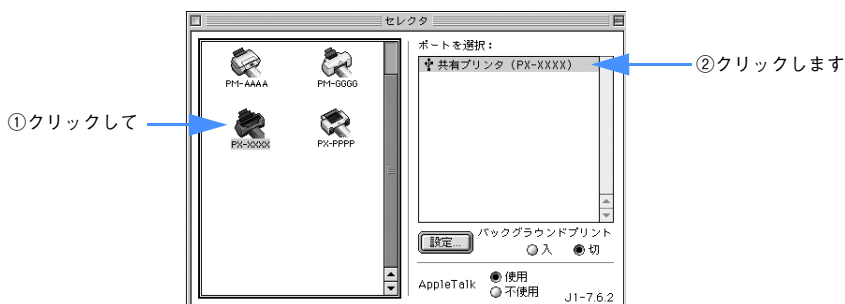
1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**

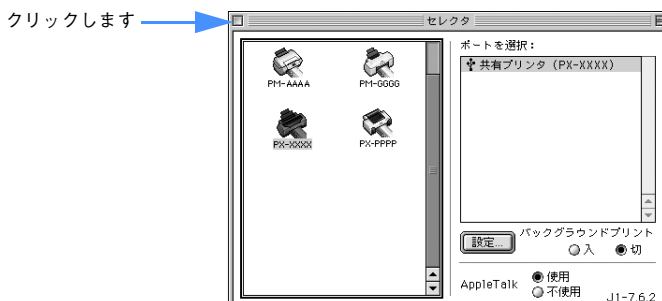
2. **［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認して、［PX-5500］アイコンをクリックしてから［設定］をクリックします。**

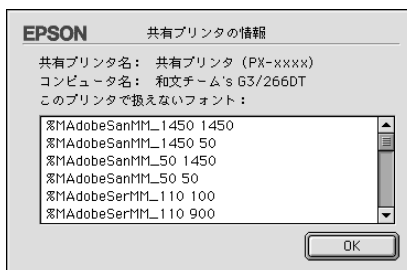
3. **［このプリンタを共有］をチェックして、［OK］をクリックします。**
共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力すると、ほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4. **画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。**

以上でプリントサーバ側の設定は終了です。

クライアント側の設定

1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**

2. **［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認して、［PX-5500］アイコンをクリックして、［ポートを選択］の一覧に表示された共有プリンタの名前をクリックして選択します。**

- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

3. **画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。**

以上でクライアント側の設定は終了です。

プリンタを接続しているコンピュータとクライアント側のコンピュータとでは、インストールされているフォントが異なる場合があります。セレクタで［情報］をクリックすると、プリンタを接続しているコンピュータにインストールされているフォントのうち、お使いのコンピュータにはインストールされていないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。解消するためには、置き換わってしまったフォントをご利用のコンピュータにインストールする必要があります。

Mac OS X でのプリンタ共有

Mac OS X にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Mac OS X でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

- Mac OS 9 と Mac OS X の間ではプリンタを共有できません。
- 以下の説明では、共有するプリンタを接続するコンピュータをプリントサーバ、そのプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

1 ［システム環境設定］アイコンをクリックします。

クリックします

2 ［共有］アイコンをクリックします。

クリックします

3 ［プリンタ共有］をチェックします。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］を選択して画面を閉じます。

以上でプリントサーバ側の設定は終了です。

クライアント側の設定

1 **［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。**

☞ 使い方ガイド「プリンタの追加」

2 **プリンタの一覧が表示されることを確認し、メニューから［プリントセンターの終了］を選択します。**

プリンタの一覧が表示されない場合は、次の手順で環境設定を確認してください。

① ［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［環境設定］を選択します。

② ［ほかのコンピュータに接続されているプリンタを表示する］がチェックされていることを確認します。

以上でクライアント側の設定は終了です。

クライアント側から印刷するときは

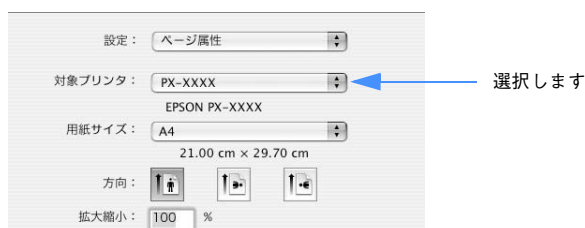
クライアントから印刷する時は、以下の手順でプリンタを選択します。

1 アプリケーションソフトを起動し、［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［ページ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

2 ［対象プリンタ］リストをクリックします。［共有プリンタ］にカーソルを合わせ、プリンタを選択します。

リストに表示されるプリンタの詳細は、下記をご覧ください。

☞ 使い方ガイド「用紙設定」

<例>

3 ［用紙サイズ］と［方向］を設定し、［OK］をクリックします。

この後の印刷手順については、以下のページをご覧ください。

☞ 使い方ガイド「印刷の基本手順」

以上でクライアント側からの印刷設定は終了です。

消耗品

ここでは、消耗品を紹介します。

消耗品の紹介

本機をより幅広くお使いいただくために、以下の消耗品を用意しています（2005 年 5 月現在）。

エプソン純正専用紙

本機でご利用いただけるエプソン純正専用紙に関する最新の情報（使用条件など）は、インターネットからエプソンのホームページでご覧ください。

http://www.i-love-epson.co.jp

☞ 本書 360 ページ「用紙について」

■ ロール紙

A3 ノビサイズ幅までのロール紙を使用できます。

用紙名称	型番	用紙幅・サイズ
写真用紙＜光沢＞ ロールタイプ	K89ROLPS2	89mm × 10m（L 判サイズ）
	K100ROLPS2	100mm × 10m（ハガキサイズ）
	K127ROLPS2	127mm × 10m（L 判 /2L 判サイズ）
	KA4ROLPSK	210mm × 10m（A4 サイズ）
	KA3NROLPSK	329mm × 10m（A3 ノビサイズ）
写真用紙＜絹目調＞ ロールタイプ	K89ROLMS2	89mm × 10m（L 判サイズ）
	K100ROLMS2	100mm × 10m（ハガキサイズ）
	K127ROLMS2	127mm × 10m（L 判 /2L 判サイズ）
	KA4ROLMSH	210mm × 10m（A4 サイズ）
	KA3NROLMSH	329mm × 10m（A3 ノビサイズ）
フォトマット紙 ロールタイプ	K89ROLPM	89mm × 7m（L 判サイズ）
	K100ROLPM	100mm × 8m（ハガキサイズ）
	K127ROLPM	127mm × 8m（L 判 /2L 判サイズ
フォトマット紙 / 顔料専用 ロールタイプ	K89ROLMM	89mm × 7m（L 判サイズ）
	K100ROLMM	100mm × 8m（ハガキサイズ）
PX プルーフ用紙 ＜ 微光沢 ＞	KA3NROLPRF	329mm × 15m（A3 ノビサイズ）

■ 単票紙

L 判（89 × 127mm）から A3 （297 × 420mm）までの単票紙を使用できます。

用紙名称	型番	サイズ
両面上質普通紙＜再生紙＞	KA4250NPD A4（250 枚入り）	A4、A3
	KA3250NPD A3（250 枚入り）	
スーパーファイン紙	KA4250NSF A4（250 枚入り）	A4、A3、A3 ノビ
	KA4100NSF A4（100 枚入り）	
	KA3100NSF A3（100 枚入り）	
	KA3N100NSF A3 ノビ（100 枚入り）	
スーパーファイン専用ハガキ	MJSP5 ハガキ（50 枚入り）	ハガキ
フォトマット紙 / 顔料専用	KA450MM A4（50 枚入り）	A4、A3*1、A3 ノビ *1
	KA320MM A3（20 枚入り）	
	KA 3 N20MM A3 ノビ（20 枚入り）	
画材用紙 / 顔料専用 *2	KA3N20MG A3 ノビ（20 枚入り）	A3 ノビ
写真用紙＜光沢＞	KL20PSK L 判（20 枚入り）	L 判、2L 判、六切、四切、 A4、A3、A3 ノビ
	KL50PSK L 判（50 枚入り）	
	KL100PSK L 判（100 枚入り）	
	K2L20PSK 2L 判（20 枚入り）	
	K2L50PSK 2L 判（50 枚入り）	
	K6G50PSK 六切（50 枚入り）	
	K4G20PSK 四切（20 枚入り）	
	KA4250PSKN A4（250 枚入り）	
	KA4100PSK A4（100 枚入り）	

<table>
<tr><th>用紙名称</th><th>型番</th><th>サイズ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">写真用紙＜光沢＞</td><td>KA450PSK
A4（50 枚入り）</td><td rowspan="4">L 判、2L 判、六切、四切、A4、A3、A3 ノビ</td></tr>
<tr><td>KA420PSK
A4（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KA320PSK
A3（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KA3N20PSK
A3 ノビ（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">写真用紙＜絹目調＞</td><td>KL20MSH
L 判（20 枚入り）</td><td rowspan="8">L 判、2L 判、ハガキ、A4、A3、A3 ノビ</td></tr>
<tr><td>KL100MSH
L 判（100 枚入り）</td></tr>
<tr><td>K2L20MSH
2L 判（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>K2L50MSH
2L 判（50 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KH20MSH
ハガキ（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KA420MSH
A4（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KA320MSH
A3（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>KA3N20MSH
A3 ノビ（20 枚入り）</td></tr>
<tr><td>PX プルーフ用紙＜微光沢＞</td><td>KA3N100PRF
A3 ノビ（100 枚入り）</td><td>A3 ノビ</td></tr>
<tr><td>Velvet Fine Art Paper*2</td><td>KA3N20VFA
A3 ノビ（20 枚入り）</td><td>A3 ノビ</td></tr>
<tr><td>UltraSmooth Fine Art Paper*2</td><td>KA3N25USFA
A3 ノビ（25 枚入り）</td><td>A3 ノビ</td></tr>
</table>

＊ 1：「A3 マット紙 10 枚セット用アタッチメント」が必要です。
＊ 2：「リア手差し用ガイド」が必要です。

インクカートリッジ

インクの色	型番
フォトブラック	ICBK33
マットブラック	ICMB33
シアン	ICC37
マゼンタ	ICM37
イエロー	ICY37
グレー	ICGY37
ライトシアン	ICLC37
ライトマゼンタ	ICLM37
ライトグレー	ICLGY37

本製品に添付のプリンタドライバは純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インターフェイスケーブル

セットアップガイドをご覧ください。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://epson-supply.jp
お電話で	電話番号：0120 − 251 − 528（フリーダイヤル）
	受け付け時間：月〜金曜日　AM9:00 〜 PM6:15 土曜日　AM9:00 〜 PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国・九州…翌日
	北海道・沖縄…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細は、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。

送料

お買い上げ金額の合計が 4,725 円以上（税込み）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,725 円未満（税込み）の場合は、全国一律 525 円（税込み）です。

消耗品カタログのご請求

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細は、上記のホームページ、または電話にてご確認ください。

メンテナンス

ここでは、日常のメンテナンスについて説明します。

インク残量の確認

EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）または EPSON プリンタウィンドウ（Mac OS）を使用すると、プリンタの状態を確認して、インク残量などを画面上に表示できます。

Windows の場合

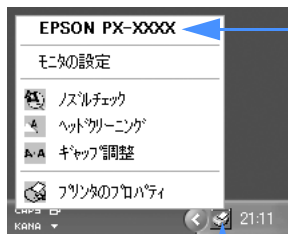
2 通りの方法でインク残量を確認できます。

［方法 1］

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

[方法 2]

［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択しておくと、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［PX-5500］をクリックします。

☞ 本書 49 ページ「［モニタの設定］画面」

Mac OS 9 の場合

インク残量を確認するために、3 通りの方法で［インク残量］モニタを開くことができます。

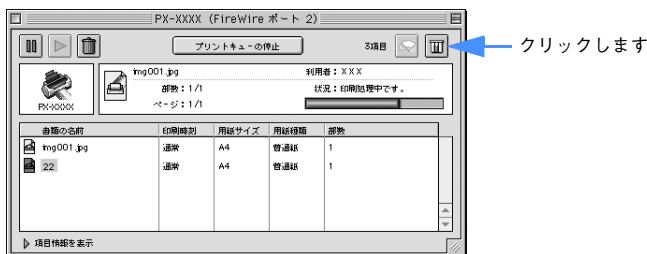
［方法 1］

［印刷］画面を開いて をクリックします。

［方法 2］

［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。［ユーティリティ］画面の アイコンをクリックします。

［方法 3］

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定している場合は、印刷実行時に［EPSON Monitor IV］が起動します。［EPSON Monitor IV］の をクリックします。

Mac OS X の場合

インク残量を確認するために、以下の方法で［インク残量］モニタを開くことができます。

［ハードディスク］アイコンをダブルクリック、［アプリケーション］アイコンをクリック、［ユーティリティ］アイコンをダブルクリック、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリック、の順に操作すると、［プリンタリスト］が開きます。
この画面で本機をダブルクリックすると、［EPSON Printer Utility］画面が開きます。
続けて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックすると EPSON プリンタウィンドウが起動します。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ(!3) の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

① ［対処方法］
インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合に表示されます。［対処方法］をクリックすると対処方法が順を追って表示されます。
② ［閉じる］/［終了］
［閉じる］/［終了］をクリックすると、ウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

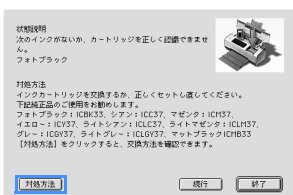
インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法を説明します。

ー必ずお読みくださいー

マットブラックとフォトブラックの切り替えをする場合は、通常のインクカートリッジの交換とは手順が異なります。本書 269 ページ「ブラックインク種類変更」の手順に従って交換してください。

インクがなくなった / 残り少なくなったときは

インクランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。また、インクがなくなったときや残り少なくなったときには、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。（エプソンプリンタウィンドウ（!3）がインストールされていないと表示されません。）インクがなくなるまで印刷できますが、インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをお勧めします。すべてのインクカートリッジのうち 1 個でもインクが終わると印刷ができなくなります。印刷の途中でインクが終わってしまった場合は、インク切れになった色のインクカートリッジを交換すると印刷を続行できます。

※ 画面上の［対処方法］をクリックすると交換手順が表示されますので、その表示に従うと簡単に交換できます。

［プリンタ設定ユーティリティ］は Mac OS X v10.2.X は［プリントセンター］という名称になります。

大量印刷前にインク残量を確認したい場合は、必ず「インク残量のチェック」を行ってください。

☞ 本書 253 ページ「インク残量の確認」

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。

- インクカートリッジ装着時
- 印刷前に定期的に行われるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時

インクカートリッジの種類

本機では、以下のインクカートリッジを使用します。

インクの色	型番
フォトブラック	ICBK33
マットブラック	ICMB33
シアン	ICC37
マゼンタ	ICM37
イエロー	ICY37
グレー	ICGY37
ライトシアン	ICLC37
ライトマゼンタ	ICLM37
ライトグレー	ICLGY37

！注意 本製品のプリンタドライバは、本製品対応の純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、本製品対応の純正品以外を使うと印刷品質が低下したり、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

⚠注意

インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

インクカートリッジを分解しないでください。
分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。

一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。

インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

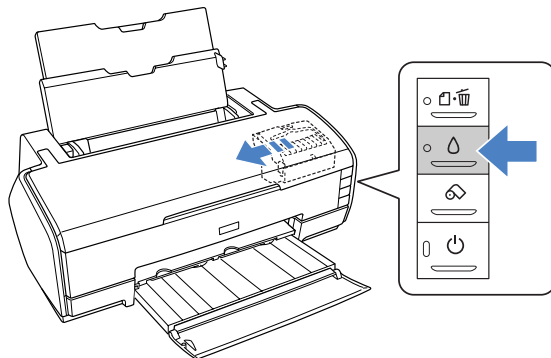
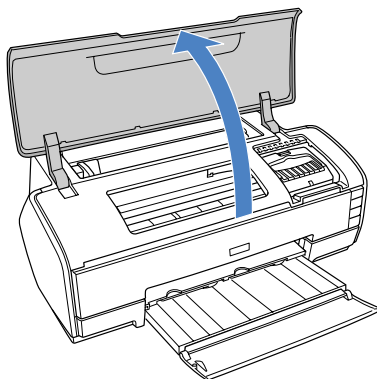
インクカートリッジ交換時のご注意

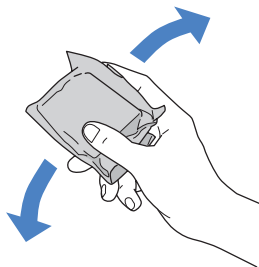
インクカートリッジを交換する場合は、以下の点にご注意ください。

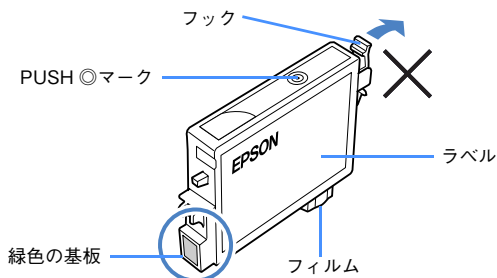
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しているので、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク量は変わりません。
- プリンタの電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。インク残量が正しく検出されず、正常に印刷できません。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中はプリンタの電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- ブラックインクは印刷する用紙に合わせてフォトかマットのどちらかを選択し、決められた位置にセットします。またインクはすべて正しい位置にセットされた状態にします。８本のインクが正しくセットされていないと印刷できません。
- インク充てん中は、プリンタの電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。
- 入れ替え手順の最後にインクを充てんします（これによりインクを消費します）が、充てんに必要な容量のインクが残っていない場合は、カートリッジを新品に交換する必要があります。このときに新品がないと、プリンタが使用できない状態になります。念のため、交換後に装着するインクカートリッジの予備をあらかじめ用意しておいてください。

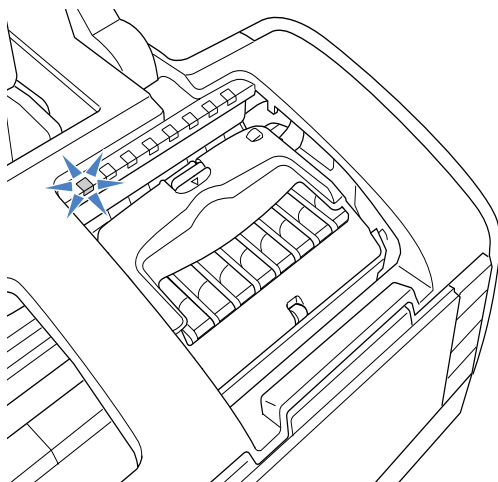
インクカートリッジの交換手順

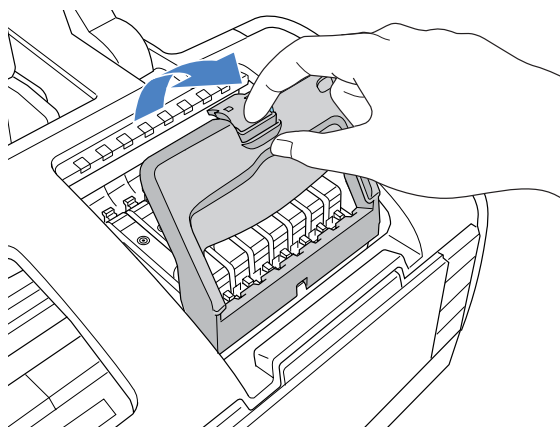
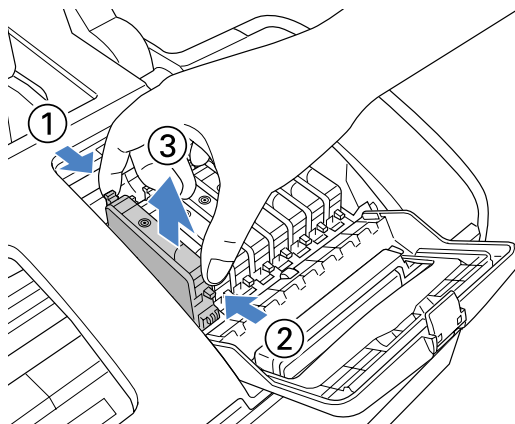
1. **プリンタの電源をオンにします。**

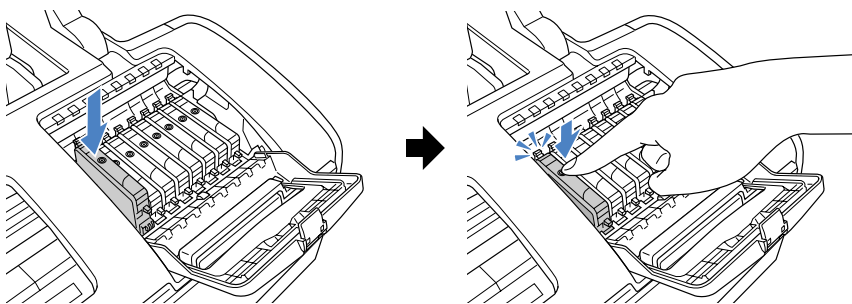
2. **［インク］ボタンを押します。**
   プリントヘッドが移動して、電源ランプが点滅します。

3. **プリンタカバーを開けます。**

⚠注意	プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置で止まるまでは、プリンタ内部に手を入れないでください。

4 **新しいインクカートリッジを縦に 4 ～ 5 回振ってから、袋から取り出します。**

! 注 意

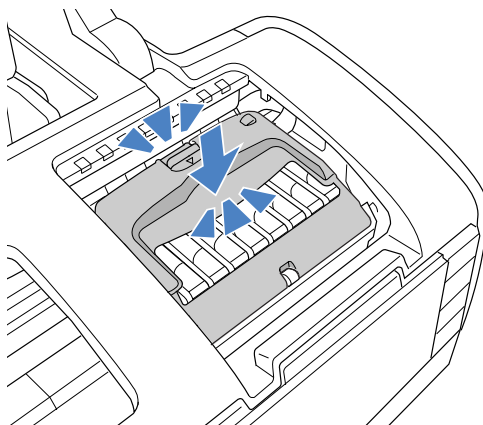
- フックを折らないように注意して、袋から取り出してください。
- インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。インクが漏れたり、正常にセットできなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

5 **どの色のインクがなくなったかを確認します。**

インク残量確認ランプが点灯している箇所のインクがなくなっていますので、その色の新しいインクカートリッジを用意してください。

6 **カートリッジカバーを開けます。**

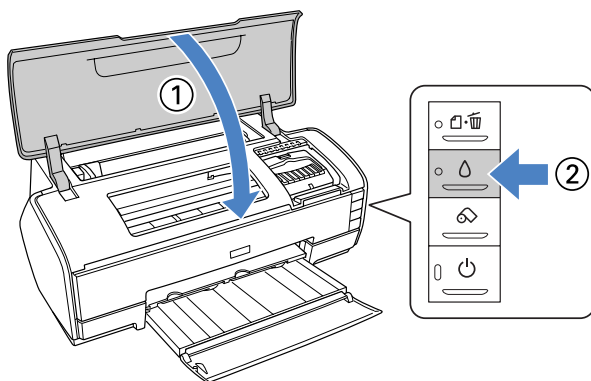
図の部分をつまんで、カートリッジカバーを開けます。

7 **フックをつまんで、交換するインクカートリッジを取り出します。**

8 **新しいインクカートリッジを図の向きに挿入し、◎（Push）部分を「カチッ」と音がするまで押してしっかりセットします。**

インクカートリッジはまっすぐに挿入してください。

！注 意

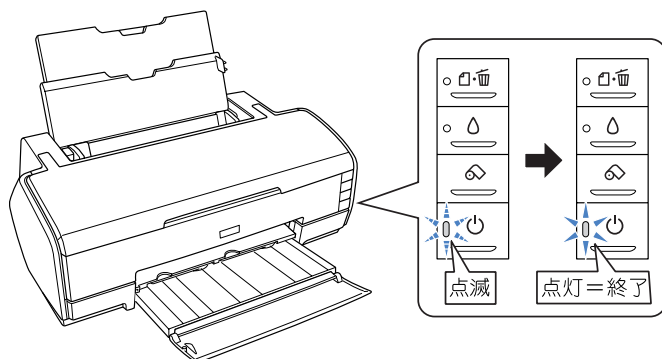
- インクカートリッジは、まっすぐ挿入してください。
- インクカートリッジは、ラベルの色を合わせないと正しくセットできません。インクカートリッジがうまく入らない場合は、ラベルの色をご確認ください。
- 8色すべてのインクカートリッジをセットしてください。ひとつでもセットされていないと印刷できません。
- フォトブラックインクカートリッジとマットブラックインクカートリッジは任意のどちらかを取り付けてください。

9 カートリッジカバーを閉じ、図の部分を押して固定します。

カバーが閉じない場合は、インクカートリッジをもう一度押し込んでください。

カートリッジカバーが閉まらない場合はインクカートリッジがしっかりセットされていない可能性があります。インクカートリッジの◎（Push）部分を押して、奥までしっかりセットしてください。

10 **①プリンタカバーを閉じ、②［インク］ボタンを押します。**
プリントヘッドが右側に移動し、インクランプ / インク残量確認ランプが消灯してインクの充てんが始まります。

!注意

- ［インク］ボタンを押してもプリントヘッドが動かない場合はインクカートリッジをセットし直してください。
- プリントヘッドが右側へ移動して、再びインクランプが点灯した場合は［インク］ボタンを押すと、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ戻りますので、もう一度インクカートリッジをセットし直してください。
- プリントヘッドが再びインクカートリッジ交換位置に戻ってくる場合はインクカートリッジがしっかりセットされていないか、カートリッジカバーが固定されていない可能性があります。インクカートリッジの◎（Push）部分を押し、奥までしっかりセットして、カートリッジカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

11 **インクの充てんが終了したことを確認します。**
インクの充てんには、約2分かかります。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

!注意 インクの充てん中（電源ランプの点滅中）は絶対に電源をオフにしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

以上で、インクカートリッジの交換は終了です。

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

使用済みインクカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は、プリンタの使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。
学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。
この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。
詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

ブラックインク種類変更

本機はフォトブラックとマットブラックの使い分け（ブラックインクの種類変更）ができます。同じ種類（型番）のインクカートリッジを交換する通常のインク交換とは手順が異なりますので、必ず次の手順に従って交換してください。
同じ種類のインクを交換する場合は 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」をご覧ください。

- 印刷途中でインクがなくなった場合は、ブラックインク種類変更を行わないでください。印刷途中で異なる黒色のインクカートリッジに交換すると、エラー状態になり、印刷が中断されます。印刷を続ける場合は、同じ黒色のインクカートリッジに交換してください。
- ブラックインク種類変更後、プリントヘッドのクリーニングが行われ、全色のインクが消費されますので、必要なとき以外は、ブラックインク種類変更を行わないでください。

入れ替え手順の流れ

① すべてのインク残量を確認します。
② インクカートリッジの交換をします。
③ コンピュータでインク情報の更新をします。

■ インク残量の確認

プリンタドライバの EPSON プリンタウインドウでインク残量の確認をします。
Windows☞ 本書 45 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3」
Mac OS 9☞ 本書 78 ページ「EPSON プリンタウィンドウ」
Mac OS X☞ 本書 107 ページ「EPSON プリンタウィンドウ」

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意	
	インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。 目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
	インクカートリッジを分解しないでください。 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
	一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
	インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

インクカートリッジ交換時のご注意

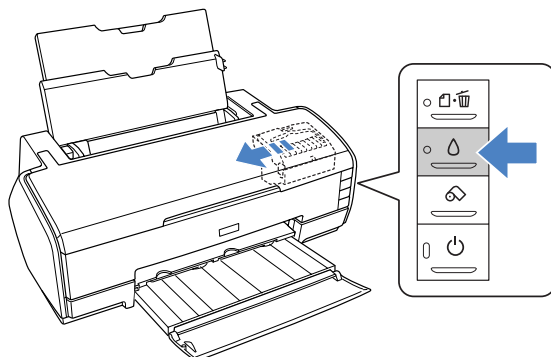
インクカートリッジを交換する場合は、以下の点にご注意ください。

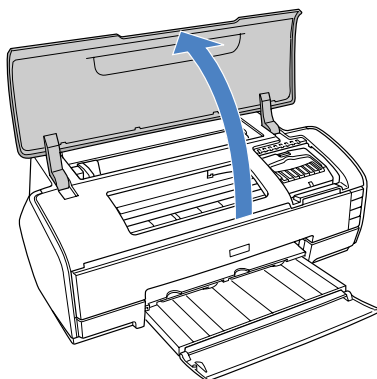
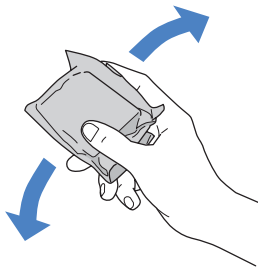
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しているので、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク量は変わりません。
- プリンタの電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。インク残量が正しく検出されず、正常に印刷できません。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中はプリンタの電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- ブラックインクは印刷する用紙に合わせてフォトかマットのどちらかを選択し、決められた位置にセットします。またインクはすべて正しい位置にセットされた状態にします。８本のインクが正しくセットされていないと印刷できません。
- インク充てん中（電源ランプが点滅中）は、プリンタの電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。
- 入れ替え手順の最後にインクを充てんします（これによりインクを消費します）が、充てんに必要な容量のインクが残っていない場合は、カートリッジを新品に交換する必要があります。このときに新品がないと、プリンタが使用できない状態になります。念のため、交換後に装着するインクカートリッジの予備をあらかじめ用意しておいてください。

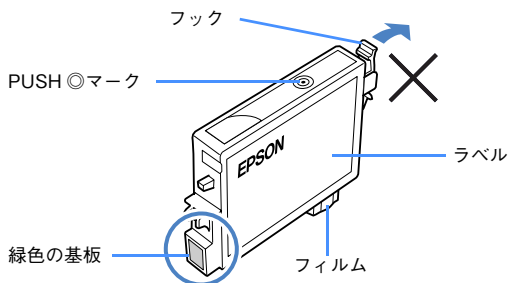
ブラックインクの交換

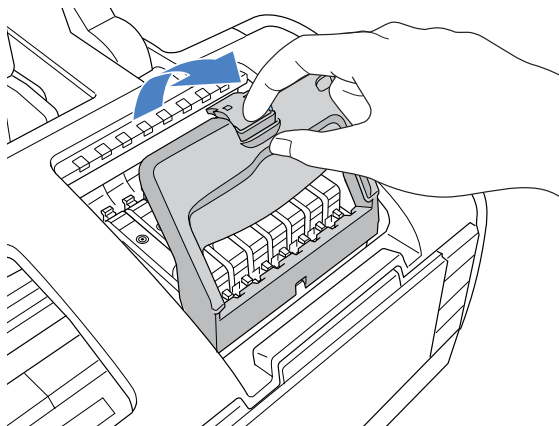
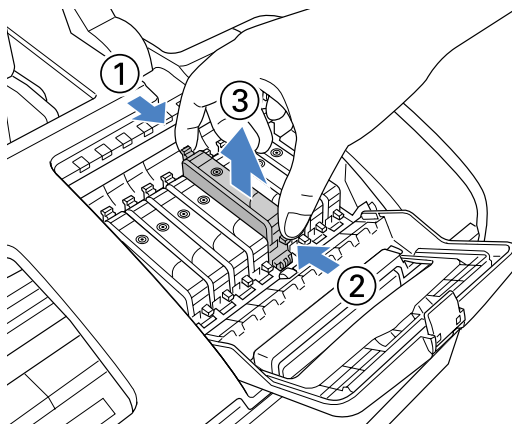
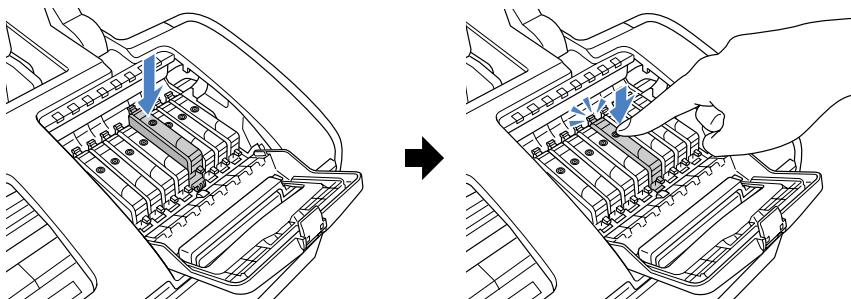
フォトブラックインクカートリッジとマットブラックインクカートリッジを印刷の目的に応じて交換します。

1. **プリンタの電源をオンにします。**

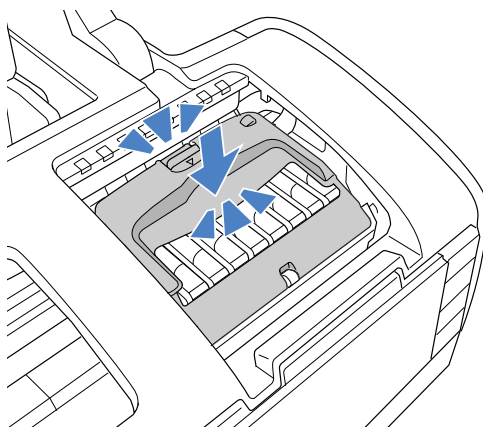
2. **［インク］ボタンを押します。**
プリントヘッドが移動して、電源ランプが点滅します。

⚠注意	プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置で止まるまでは、プリンタ内部に手を入れないでください。

3. **プリンタカバーを開けます。**

④ 新しいインクカートリッジを縦に 4 ～ 5 回振ってから、袋から取り出します。

！注意

- フックを折らないように注意して、袋から取り出してください。
- インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。インクが漏れたり、正常にセットできなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

⑤ カートリッジカバーを開けます。

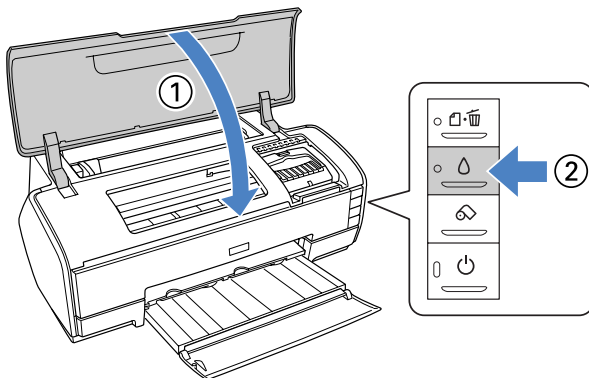
図の部分をつまんで、カートリッジカバーを開けます。

6 フックをつまんで、交換するインクカートリッジを取り出します。

7 新しいインクカートリッジを図の向きに挿入し、◎（Push）部分を押してしっかりセットします。

！注意

- インクカートリッジは、まっすぐ挿入してください。
- インクカートリッジは、ラベルの色を合わせないと正しくセットできません。インクカートリッジがうまく入らない場合は、ラベルの色をご確認ください。
- 8 色すべてのインクカートリッジをセットしてください。ひとつでもセットされていないと印刷できません。

8 **カートリッジカバーを閉じ、図の部分を押して固定します。**

カバーが閉じない場合は、インクカートリッジをもう一度押し込んでください。

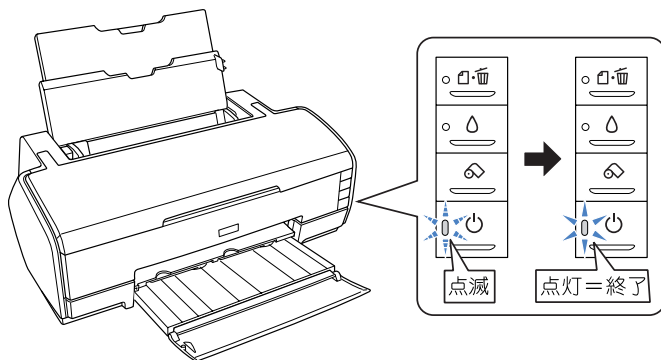
参考

カートリッジカバーが閉まらない場合はインクカートリッジがしっかりセットされていない可能性があります。インクカートリッジの◎（Push）部分を押して、奥までしっかりセットしてください。

9 **①プリンタカバーを閉じ、②［インク］ボタンを押します。**

プリントヘッドが右側に移動し、インクランプ / インク残量確認ランプが消灯してインクの充てんが始まります。

- ［インク］ボタンを押してもプリントヘッドが動かない場合はインクカートリッジをセットし直してください。
- プリントヘッドが右側へ移動して、再びインクランプが点灯した場合は［インク］ボタンを押すと、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ戻りますので、もう一度インクカートリッジをセットし直してください。
- プリントヘッドが再びインクカートリッジ交換位置に戻ってくる場合はインクカートリッジがしっかりセットされていないか、カートリッジカバーが固定されていない可能性があります。インクカートリッジの◎（Push）部分を押し、奥までしっかりセットして、カートリッジカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

10 インクの充てんが終了したことを確認します。

インクの充てんには、約 2 分かかります。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

！注意 インクの充てん中（電源ランプの点滅中）は絶対に電源をオフにしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

インク情報の更新

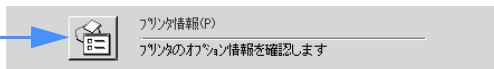
ブラックインクを交換した場合は必ずプリンタドライバのインク情報を更新してください。更新しないと正常な印刷結果が得られません。

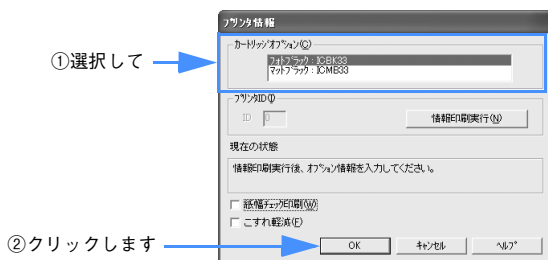
Windows の場合

通常は、印刷時にプリンタドライバが自動でインク情報を取得して、セットされているインクカートリッジに応じた印刷モードで印刷します。次の手順でインク情報が更新されていることを確認します。

■ インク情報の更新手順

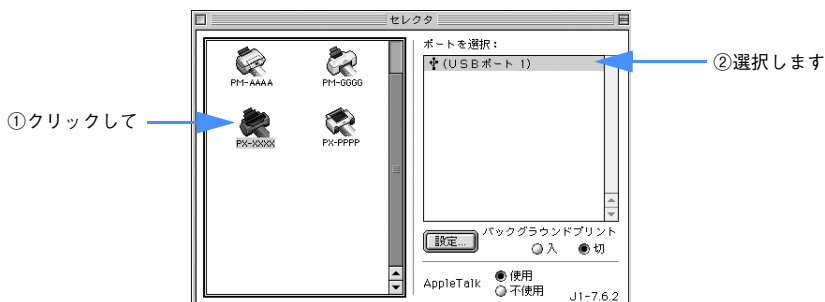
1 **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

2 **［プリンタ情報］をクリックします。**

3 **装着している黒インクカートリッジの組み合わせを［カートリッジオプション］で選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。**
EPSON プリンタウィンドウ（!3）がインストールされていない場合はインク情報が自動更新されません。［カートリッジオプション］を手動で設定してください。

- フォトブラックの場合は、［フォトブラック：ICBK33］を選択します。
- マットブラックの場合は、［マットブラック：ICMB33］を選択します。

これで、カートリッジオプション情報が設定されました。
手動の場合も、一度設定すれば何度も設定し直す必要はありません。

以上でブラックインク種類変更作業はすべて終了です。

Mac OS 9 の場合

アップルメニューから［セレクタ］を開き、プリンタドライバのアイコンとポートを選択し直してください。選択し直すことで、プリンタドライバがプリンタのインク情報を取得します。

Mac OS X の場合

プリンタ設定ユーティリティを開き、表示されているプリンタ名を削除し、追加し直してください。追加し直すことで、プリンタドライバがプリンタのインク情報を取得します。

インクカートリッジの保管

- 交換したインクカートリッジにインクが残っている場合、開封後６ヵ月以内であれば、再び交換して使用できます。ただし個装箱に印刷されている期限が最終有効期限です。
- カートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。
- カートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

プリントヘッドの調整

白い線が入る、印刷が汚いなどの印刷状態の場合はプリントヘッドの調整を行う必要があります。本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

手動クリーニング機能

印刷の状況に応じて、手動でクリーニングを行います。

調整項目	内容
オートヘッド クリーニング	ノズルチェックパターンを印刷とヘッドクリーニングを自動的に行います。 • ドライバユーティリティから
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。 • ドライバユーティリティから • プリンタから
ヘッドクリーニング	印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。 • ドライバユーティリティから • プリンタから

本機が自動的に行うクリーニング機能（自動メンテナンス機能）

本機は、自動的に以下のクリーニングを行っています。

セルフクリーニング	プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にすべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能です。電源をオンにしたときや印刷を開始するときなどに行われます。
キャッピング	プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。プリントヘッドが右端に位置しているときはキャッピングされています。

ギャップ調整（プリントヘッドの位置調整）機能

手動でプリントヘッドのズレを修正します。

ギャップ調整	印刷した画像が荒れている、ぼやけた印象になる場合は、ギャップ調整でプリンタヘッドの位置を調整できます。 • ドライバユーティリティから

オートヘッドクリーニング

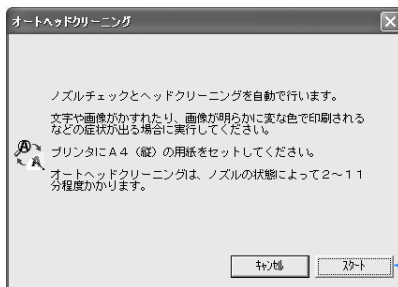
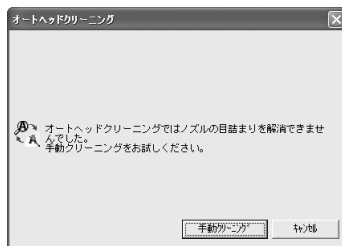
ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを自動で確認し、目詰まりしている場合はヘッドクリーニングを行います。通常はオートヘッドクリーニングをお勧めします。
ここでは Windows を例に説明します。

オートヘッドクリーニングは、ノズルの状態によって2～11分程度かかります。

1. **A4 サイズ以上の用紙をセットします。**

2. **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

3. **［オートヘッドクリーニング］をクリックします。**

4. **［スタート］をクリックします。**
オートヘッドクリーニングを開始します。

オートヘッドクリーニングを行っても目詰まりが解消されない場合は手動クリーニングを試してください。
☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

[*1] プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

[*2] ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

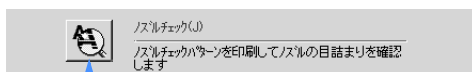
インクランプが点灯中は実行できません。

プリンタドライバから行う場合

ここでは Windows を例に説明します。

1. **A4 サイズ以上の用紙をオートシートフィーダにセットします。**

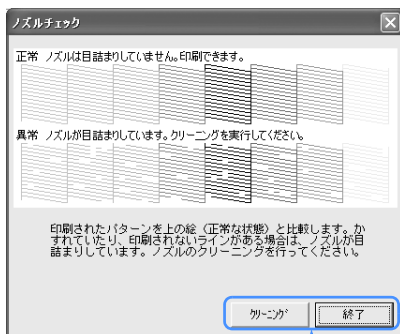
- Velvet Fine Art Paper、UltraSmooth Fine Art Paper、EPSON 画材用紙 / 顔料専用は、オートシートフィーダからの給紙はできません。
- 使用する用紙に合わせて、給紙装置も正しく設定してください。

2. **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。**

3. **［ノズルチェック］をクリックします。**

4. **［印刷］をクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］を、問題があった場合は［クリーニング］をクリックします。

画面は機種によって異なることがあります。

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

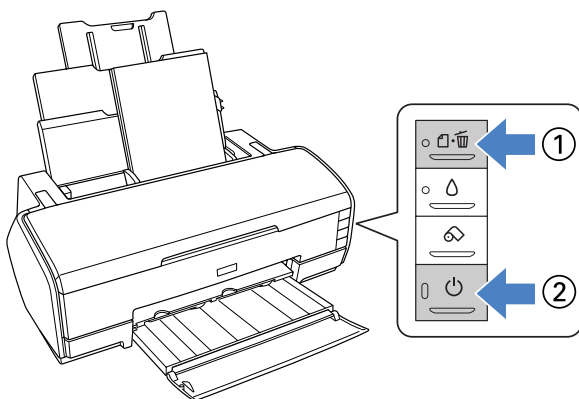
以上でノズルチェックは終了です。

本体の操作パネルで行う場合

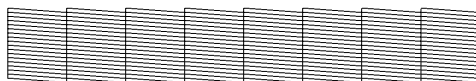
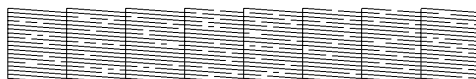
1. **A4 サイズ以上の用紙をセットします。**

Velvet Fine Art Paper、UltraSmooth Fine Art Pape、EPSON 画材用紙 / 顔料専用は、オートシートフィーダからの給紙はできません。

2. **本機の電源を一旦オフにします。**

3. **［用紙］ボタンを押したまま［電源］ボタンを押します。**
ボタンは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにし、動き出したら離してください。

4 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

正常の例のようにすべてのラインが印刷されている場合は、目詰まりしていません。かすれたり、印刷されないラインがある場合は、目詰まりしていますので、ヘッドクリーニングをしてください。

本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

異常

!注意 ヘッドクリーニングを行っても、目詰まりが解消されないときは、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。なお、ヘッドクリーニングは、連続で行わずにノズルチェックと交互に行ってください。また、ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返しても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。

ヘッドクリーニング

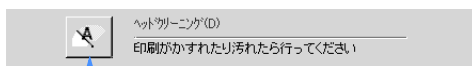
ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

！注意

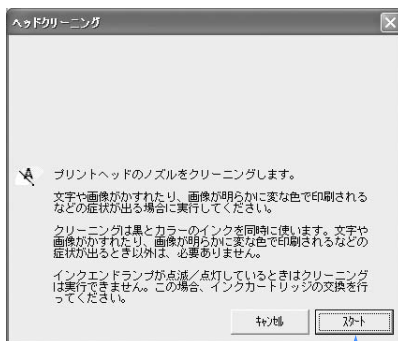
- ヘッドクリーニングはすべてのインクカートリッジのインクを同時に使います（モノクロ印刷などでブラック系のインクのみを使用している場合でも、ヘッドクリーニングをするときはカラーのインクも消費します）。
- 文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください（クリーニングに必要なインクが残っている場合は、本体の操作パネルからヘッドクリーニングができる場合があります）。
本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタドライバから行う場合

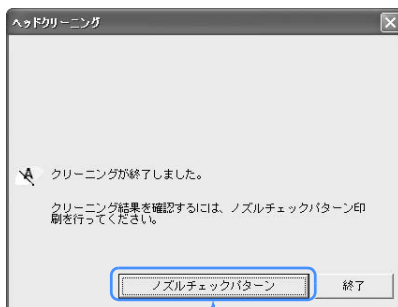
ここでは Windows を例に説明します。

1 プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。

2 ［ヘッドクリーニング］をクリックします。

3 **［スタート］をクリックします。**

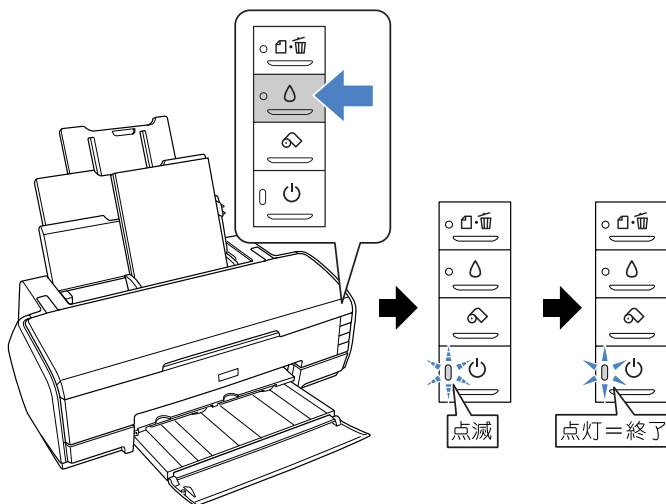
ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。

次の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 **［ノズルチェックパターン］をクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は［終了］をクリックします。**

☞本書 282 ページ「ノズルチェック」

！注意	ヘッドクリーニング後もノズルチェックパターンが欠けている場合は、再度クリーニングを実行してください。 ヘッドクリーニングを行っても、目詰まりが解消されないときは、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。なお、ヘッドクリーニングは、連続で行わずにノズルチェックと交互に行ってください。また、ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返しても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

本機の操作パネルで行う場合

1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認して、［インク］ボタンを約 3 秒間押したままにします。**

   電源ランプが点滅して、約 1 分間ヘッドクリーニングが行われます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

2. **ヘッドクリーニング後は、もう一度ノズルチェックを行って、ノズルの目詰まりが解消されたかをご確認ください。**

   ☞ 本書 282 ページ「ノズルチェック」

> **！注意**
> ヘッドクリーニング後もノズルチェックパターンが欠けている場合は、再度クリーニングを実行してください。
> ヘッドクリーニングを行っても、目詰まりが解消されないときは、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。なお、ヘッドクリーニングは、連続で行わずにノズルチェックと交互に行ってください。また、ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返しても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

自動メンテナンス機能

本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます（インクカートリッジすべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます）。

- セルフクリーニング中に［電源］ボタンを押しても、クリーニングが終了するまで電源はオフになりません。クリーニング中はプリンタの電源プラグを抜かないでください。

キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、以下のときに実行されます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが右端にあれば、キャッピングされています。

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右端に位置していない場合（キャッピングされていない場合）は、一度、プリンタの電源をオン / オフしてください。プリンタの［電源］ボタンをオフにすることによって、確実にキャッピングされます。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、電源コードをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落とさないでください。集中電源スイッチや、コンピュータのスイッチに連動してオン･オフできるパソコン連動タップなどは使用しないでください。キャッピングされない場合があります。

プリントヘッドのギャップ調整

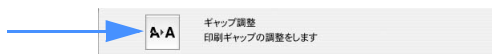
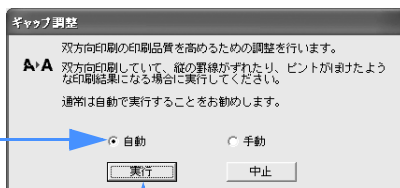
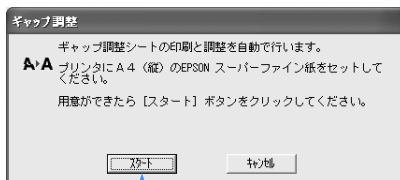
画像にズレや、ざらつき感があるなどの印刷状態の場合はギャップ調整を行ってください。
ギャップ調整とは、印刷時のプリントヘッドのズレを修正する作業です。
ギャップ調整には EPSON スーパーファイン紙をお使いください。

自動	自動でギャップ調整をします。A4 以上の EPSON スーパーファイン用紙を 1 枚使用します。
手動	ギャップ調整パターンを確認して、調整値を入力して調整 をします。A4 以上の EPSON スーパーファイン用紙を 3 枚使用します。

自動で行う場合

1. **A4 サイズ以上の EPSON スーパーファイン紙を 1 枚セットします。**

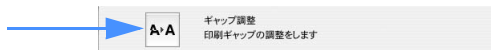
2. **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。**

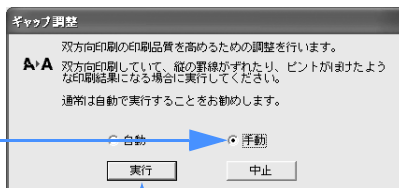
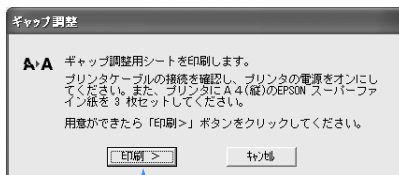
3. **［ギャップ調整］をクリックします。**
   画面の指示に従ってギャップ調整を行います。

4. **［自動］を選択して、［実行］をクリックします。**
   ギャップ調整を開始します。

5. **［スタート］をクリックします。**

❻ **次の画面が出たら［終了］をクリックします。**

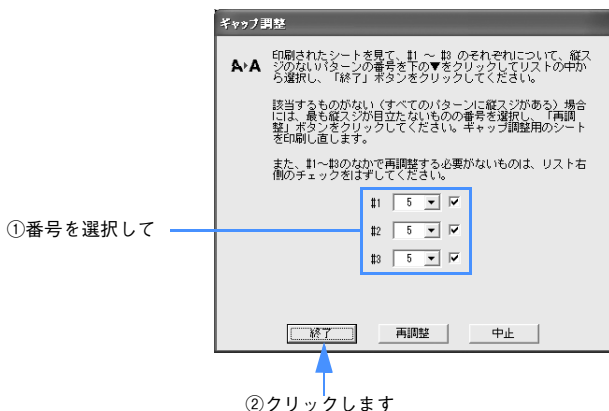
以上で自動でのギャップ調整は終了です。

手動で行う場合

❶ **A4 サイズ以上の EPSON スーパーファイン紙を３枚セットします。**

❷ **プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。**

❸ **［ギャップ調整］をクリックします。**

❹ **［手動］を選択して、［実行］をクリックします。**

❺ **［印刷］をクリックします。**

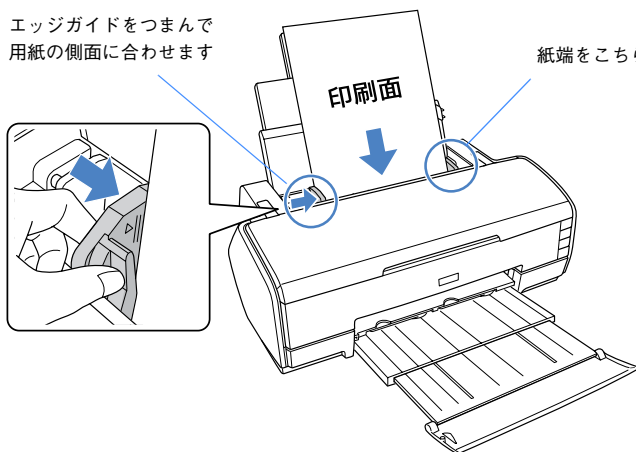
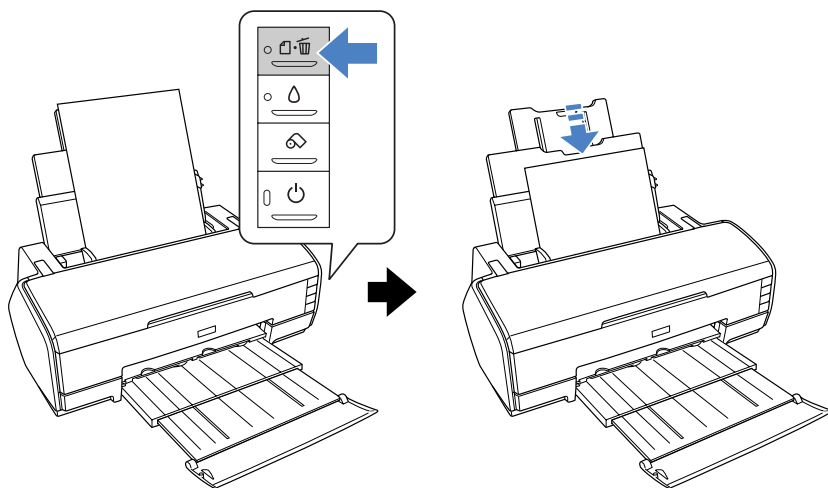
6 印刷されたシートを見て、＃１～＃３のそれぞれについて、縦スジのないパターンの番号を画面の▼をクリックしてリストの中から選択し、［終了］をクリックします。

該当するものがない場合はもっとも縦スジが目立たないものの番号を選択し、［再調整］をクリックしてください。

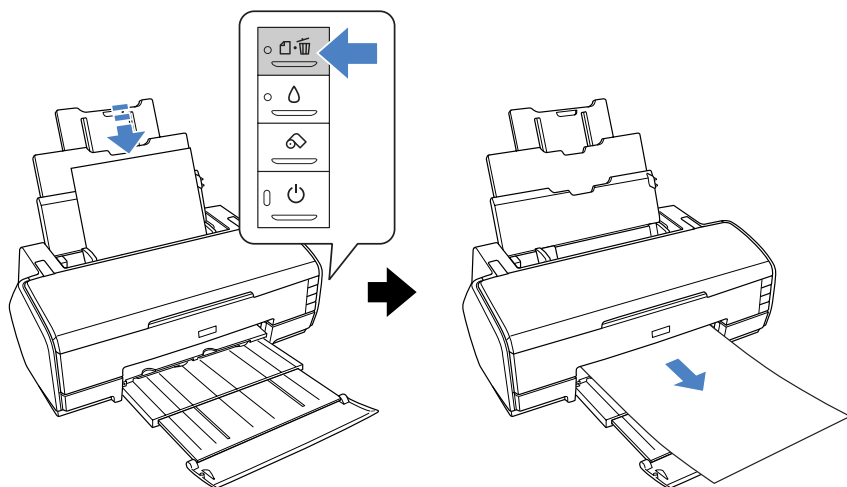
以上で手動でのギャップ調整は終了です。

排紙 / 給紙ローラのクリーニング

印刷後の用紙にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

1. **プリンタの電源をオンにします。**

2. **A3 サイズの普通紙を 1 枚セットします。**

3. **［用紙］ボタンを押します。**
用紙が給紙されます。

4 もう一度［用紙］ボタンを押します。

用紙が排紙されます。

5 手順 2 ～ 4 までの操作を 2、3 回繰り返します。

以上で、ローラのクリーニングは終了です。

プリンタ本体のお手入れ

プリンタをいつでも良い状態でご使用できるように、定期的（1ヵ月に1回程度）にプリンタのお手入れをしてください。

本体が汚れたときは

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **プリンタの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。**
   汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後柔らかい布で水気をふいてください。

> ⚠注意　プリンタ内部に水気が入らないように、注意してふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

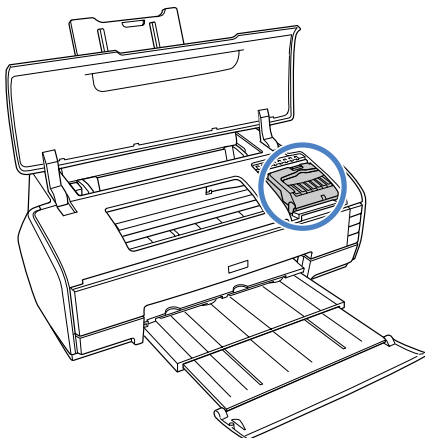
> !注意　ベンジン / シンナー / アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

プリンタの移動・保管

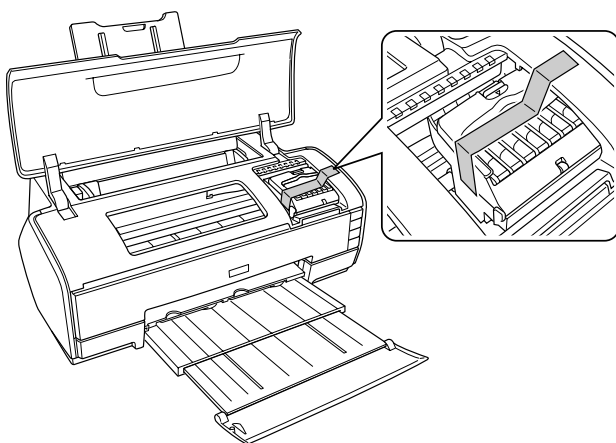
移動の方法

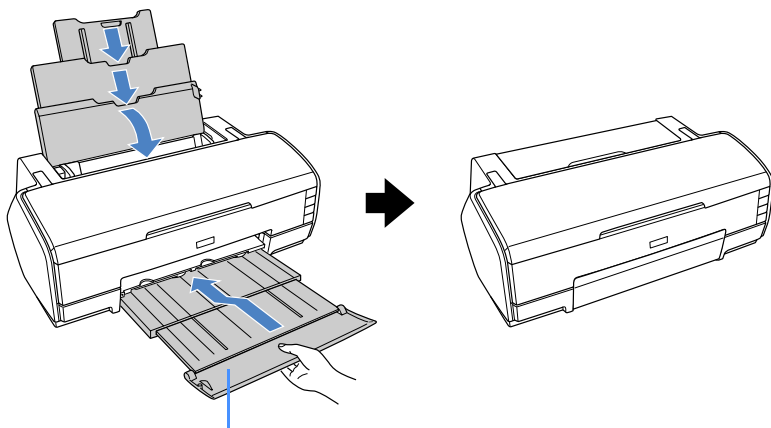
本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、しっかり梱包してください。

1. **プリンタの電源をオフにします。**

2. **プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

プリントヘッドが右側のキャッピング位置にない場合は、本機の電源を一旦オンにしてから電源をオフにしてください。プリンタの［電源］ボタンをオフすることによって確実にキャッピングされます。

!注意 インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

3 **市販のテープなどで、インクカートリッジセット部が動かないように本体カバーにしっかりと固定します。**

長期間貼り付けると糊がはがれにくくなるテープもありますので、輸送後は、直ちにはがしてください。

4 **排紙トレイと用紙サポートを収納します。**

5 **電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルをプリンタから取り外します。**

6 **梱包材を取り付け、プリンタを水平にして梱包箱に入れます。**

上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

> **! 注意** 梱包材取り付け時、輸送時は、プリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

プリンタの保管

プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

! 注意 プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

プリンタを長期間使用しない場合は

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。

ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷しない場合でも、月に 1 回はプリンタの電源をオンにして、数分（1 ～ 2 分）おいてください。

- 長期間使用していないプリンタを使用する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。

  本書 282 ページ「ノズルチェック」

  本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」
- 長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。

  本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」
- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは全色を取り付けた状態にしてください。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、エプソン修理センターへお問い合わせください。エプソン修理センターのお問い合わせ先は使い方ガイド（紙マニュアル）の裏表紙をご覧ください。
- プリンタを長期間使用しない場合は、用紙を取り除いてください。用紙を本機にセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

プリントヘッドの保護について

本機には、「キャッピング機能」があります。
キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。
キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
プリントヘッドが右端にあれば、キャッピングされています。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新ドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承ります。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソンのホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細は、使い方ガイド（紙マニュアル）巻末にてご案内しています。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮[*1]ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2]してからインストールしてください。

[*1] 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

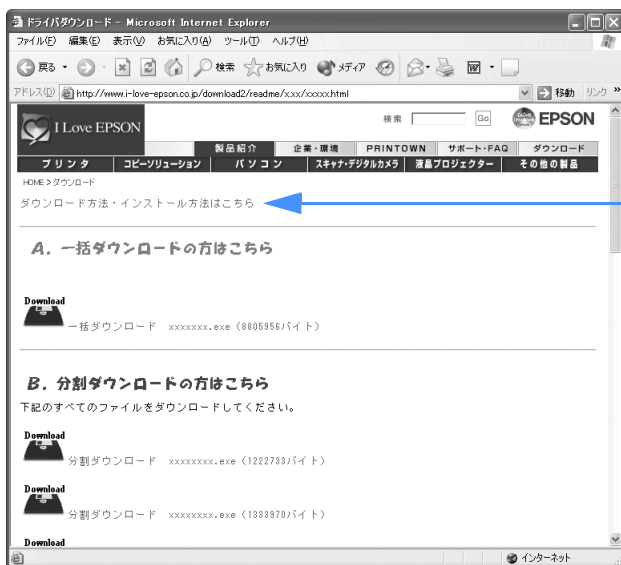
[*2] 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows☞ 本書 35 ページ「プリンタドライバの削除」
MacOS 9☞ 本書 75 ページ「プリンタドライバの削除」
MacOS X☞ 本書 104 ページ「プリンタドライバの削除」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

困ったときは

ここでは、トラブル発生時の対処方法を説明をしています。現在の症状がどれに当てはまるのかを以下の項目から選び、該当するページをご覧ください。

印刷できない

プリンタとコンピュータの接続を確認する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタ * とコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。
予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

* コネクタ：インターフェイスケーブルの先端を差し込むところ。

☞ セットアップガイド「4. コンピュータと接続します」

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

☞ 使い方ガイド「コンピュータとの接続条件」

コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ * および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

* プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

☞ セットアップガイド「4. コンピュータと接続します」

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

☞ 本書 224 ページ「簡単なネットワーク共有の方法」

プリンタがオフラインになっていませんか？

ケーブルの接続とプリンタの電源を確認してください。

プリンタドライバがインストールされているか確認する

プリンタドライバが正しく登録されていますか？

- **Windows の場合**
PX-5500 のプリンタドライバが、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにアイコンとして登録されていますか ? また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

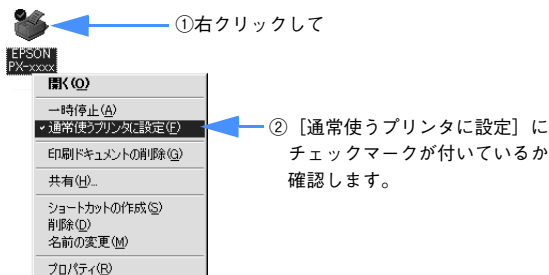
1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］または［プリンタ］を開きます。

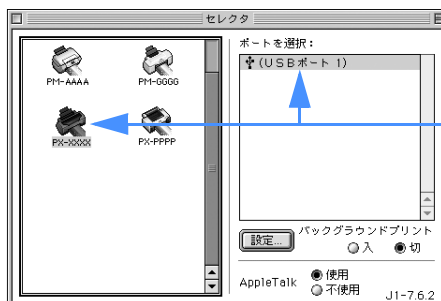
- **Windows XP の場合**
①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

- **Windows XP の場合**
［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（PX-5500）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**
使用するプリンタ名（PX-5500）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

- **Mac OS 9 の場合**

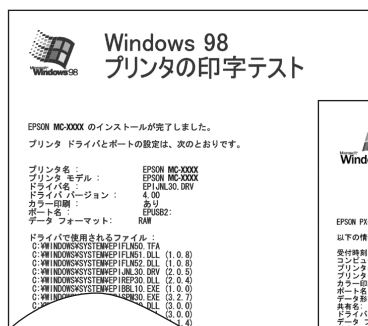
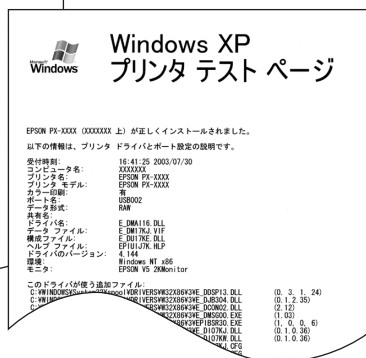
  本機のプリンタドライバ［PX-5500］がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

- **Mac OS X の場合**

  本機のプリンタドライバ［PX-5500］が［プリンタリスト］に正しく追加されているかを確認してください。

Windows において、プリンタドライバからの印字テストは正常に行えますか？

プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。

① プリンタが印刷可能状態であること（電源が入っていること）を確認し、プリンタに用紙をセットします（単票紙の場合は複数枚セットします）。
② ［スタート］から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。
③ ［PX-5500］アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。
④ プロパティ画面で Windows 98 の場合は［情報］または［全般］タブを選択し、右下の［印字テスト］をクリックします。Windows XP/2000 の場合は［全般］タブを選択し、右下の ［テストページの印刷］をクリックします。

しばらくすると、テストページの印刷が始まります。下図を参考にして印刷結果が正常かどうかを確認してください。

Windows 98 の例

印刷されるページは 1 枚のみです。A4 サイズなどの用紙の場合、用紙の下端において印刷が途切れますが、異常ではありません。

※ テストページに記載されている「ドライババージョン」とは Windows 内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

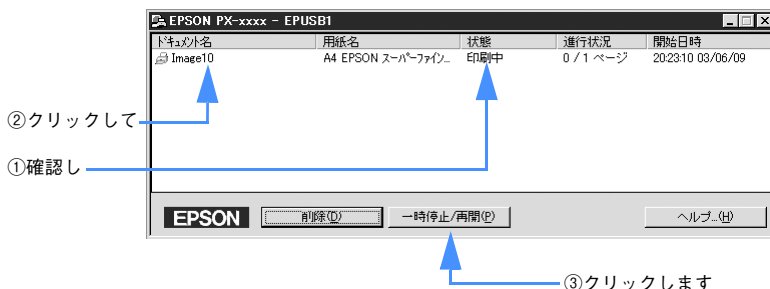
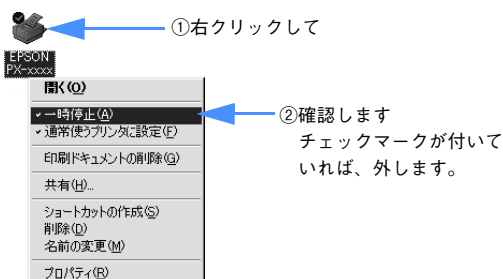
- テストページが正しく印刷された場合は、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。
- テストページが正しく印刷されない場合は、本書のここまでの項目を再度確認してください。

☞ 本書 303 ページ「印刷できない」

エラーが発生していないか確認する

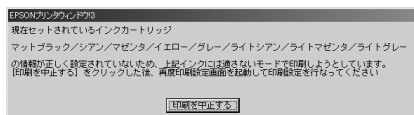
プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示で確認します。
☞ 本書 346 ページ「ランプ」

Windows の EPSON スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

- Windows 98/Me その 1
  ① タスクバー上の［EPSON PX-5500］をクリックしてスプールマネージャを開きます。
  ② 印刷データの［状態］が［一時停止］になっている場合は、印刷データをクリックして［一時停止 / 再開］をクリックしてください。
  印刷の必要のないデータは削除してください。

- Windows 98/Me その 2
  ①［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。
  ②［PX-5500］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［一時停止］にチェックが付いている場合は、クリックして「✔」を外します。

- Windows XP/2000

  ①［スタート］から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

  ②［PX-5500］アイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。

Windows の場合、以下のメッセージが表示されていませんか？

［印刷を中止する］をクリックし、セットしたインクカートリッジの組み合わせに合わせて、プリンタドライバのカートリッジオプションを切り替えてください。

☞ 本書 55 ページ「プリンタ情報」

プリンタを接続したポートと、Windows プリンタドライバのプリンタ接続先の設定が合っていますか？

Windows では通常、プリンタの接続先は、USB インターフェイスの場合は［EPUSBx］（Windows 98/Me）/［USBx］（Windows 2000/XP）に、IEEE1394 インターフェイスの場合は［EP1394D3_xxx］に 設定されています。接続先に誤りがある場合は、ご使用のインターフェイスケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。

☞ 本書 337 ページ「機器のトラブル」

コンピュータのシステムメモリの空き容量は十分ですか？（Mac OS）

Mac OS 用プリンタドライバは、コンピュータ本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページをご覧ください。

☞ 使い方ガイド「システム条件」

- **Mac OS 9 でのメモリの設定**

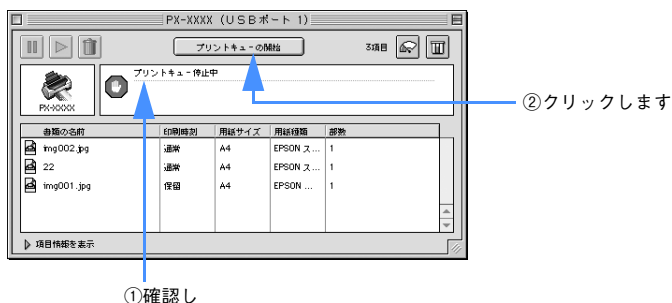
① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。

② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

Mac OS 9 の EPSON Monitor IV で、ステータスが「プリントキュー停止中」になっていませんか？

EPSON Monitor IV の［プリンタ］メニューで［プリントキューの停止］を選択すると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

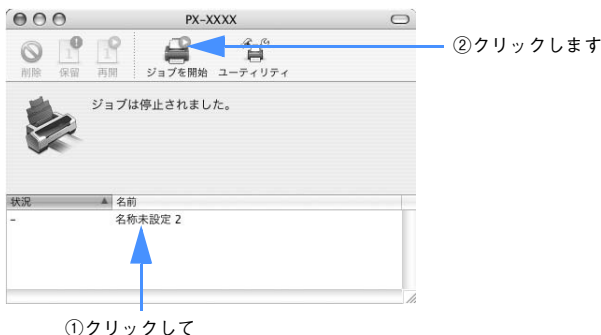
① 画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。

② ステータスが「プリントキューの停止中」の場合は、画面上部の［プリンタ］メニューから［プリントキューの開始］をクリックします。

Mac OS X の［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］で、状況が「停止中」になっていませんか？

［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］で［ジョブの停止］をクリックすると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

① Dock で［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］のアイコンをクリックします。

② 状況が［停止中］と表示されているプリンタがある場合は、そのプリンタをダブルクリックします。

③ 停止中のジョブをクリックし、［ジョブを開始］をクリックします。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」または「用紙がありません。」などが表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

☞ 使い方ガイド「コンピュータとの接続条件」
☞ 本書 346 ページ「ランプ」

プリンタがオフラインになっていませんか？

ケーブルの接続とプリンタの電源を確認してください。

アプリケーションソフトを確認する

ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけで起こるものなのかどうかについて判断します。

違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。ほかのデータを印刷することで確認してください。また、データ量が大きな場合はデータ量を少なくして確認してください。データ量が大きいときにだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

Mac OS 9 で、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては適切ですか？

メモリの空き容量を確保した上で、以下の方法で使用するアプリケーションソフトへのメモリの割り当てサイズを増やして、正常な印刷が行えるかどうかを確認してください。

① ハードディスクの中から、メモリの割り当てサイズの変更を行いたいアプリケーションソフトのフォルダをダブルクリックして開きます。

② 開いたフォルダの中の、アプリケーションソフトを起動させるファイル（起動ファイル）をクリックして選択した状態で、画面左上の［ファイル］から［情報を見る］を選択します。

③ 画面上に選択したアプリケーションソフトの情報が表示されますので、そのウィンドウの［メモリ使用条件］の項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］を増やしてください。

インクカートリッジの状態を確認する

プリントヘッドは動くが印刷しない場合は、プリンタの動作確認をしてみましょう。

本機は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。まず、ノズルチェックパターン印刷をしてください。

☞ 本書 282 ページ「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタを長期間使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期使用しなかった場合の処理については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 298 ページ「プリンタを長期間使用しない場合は」

もう一度コンピュータを確認する

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、PX-5500をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞ 使い方ガイド「システム条件」

OSは正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単なOSのチェック、修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などをご覧ください。

- **Windows XP/Me/98の場合**
  [スタート] から [すべてのプログラム] または [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [スキャンディスク] を起動し、Windows XP/Me/98が入っているドライブのチェック、修復を行ってください。
- **Windows 2000の場合**
  [マイコンピュータ] の中から、Windows NT4.0/2000がインストールされているドライブを選択し、[プロパティ] - [ツール] - [エラーチェック] を行ってください。
- **Mac OS 9の場合**
  Mac OSに添付の [DiskFirstAid] を実行することにより、OSのチェック、修復が行えます。詳しくは、Mac OSの取扱説明書をご覧ください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。一度プリンタドライバを削除（アンインストール）してから、再度インストールしてください。

Windows☞ 本書35ページ「プリンタドライバの削除」
Mac OS 9☞ 本書75ページ「プリンタドライバの削除」
Mac OS X☞ 本書104ページ「プリンタドライバの削除」
☞ セットアップガイド「5. プリンタソフトウェアをインストールします」

以上のことを確認しても印刷できない場合は、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターにご相談ください。

☞ 本書353ページ「サービス・サポートのご案内」

「インクシステムが違います」と警告が出る

インク交換後、インク情報を更新していますか？

インク交換後にインク情報を更新していない場合、「インクシステムが違います」と警告が出ることがあります。この場合は、インク情報を更新してください。

☞ 本書 277 ページ「インク情報の更新」

USB 接続または IEEE1394 接続で印刷できない（Windows）

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダに［PX-5500］アイコンはありますか？

- **［PX-5500］アイコンがある場合**
  プリンタドライバはインストールされています。次項の［印刷先のポート］（Windows 98/Me）または［印刷するポート］（Windows XP/2000）を確認します。
- **［PX-5500］アイコンがない場合**
  プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。
  ☞ セットアップガイド「5. ソフトウェアのインストールをします」

[印刷するポート] または [印刷先のポート] が [USBxxx] / [EPUSBx] / [EP1394D3_xxx] になっていますか？

プリンタの電源をオンにして、印刷先のポートを確認します。

- **Windows XP/2000 の場合**
  プリンタドライバの [ポート] 画面を開いて、[印刷するポート] で [USBxxx] または [EP1394D3_xxx] が選択されているか確認します (x はポート番号を表す数字)。

- **Windows 98/Me の場合**
  プリンタドライバの [詳細] 画面を開いて、[印刷先のポート] に [EPUSBx] または [EP1394D3_xxx] が選択されているか確認します (x はポート番号を表す数字)。

＜例＞ Windows XP の場合

[USBxxx] / [EPUSBx] / [EP1394D3_xxx] の表示がない場合	[USBxxx] / [EPUSBx] / [EP1394D3_xxx] の表示がある場合
プリンタドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 ☞ 本書 161 ページ「プリンタドライバの削除」 ☞ セットアップガイド「5. プリンタソフトウェアをインストールします」	プリンタドライバは正常にインストールされています。[USBxxx] / [EPUSBx] または [EP1394D3_xxx] を選択してテスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

プリンタドライバの接続先は正しいですか？ (Windows 98/Me)

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートを確認してください。

Windows 98/Me 使用時は次の点に注意してください。

- EPUSBx の表示がない場合は、USB デバイスドライバがインストールされていません。USB デバイスドライバをインストールしてください。
- USB デバイスドライバをインストールする前に、一旦プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。

EPSON プリンタウインドウ !3 で「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタの電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

Windows プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、双方向通信機能を利用して動作可能なユーティリティです。通常は、インストールすることで自動的に設定されますが、プリンタが監視できない場合などに双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］画面で［スプールの設定］をクリックして［プリンタスプールの設定］画面を開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows XP/2000 の場合、プリンタドライバの［ポート］画面で［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

お使いのコンピュータ（またはケーブル）は、双方向通信に対応していますか？

お使いのコンピュータが双方向通信に対応しているかをコンピュータのメーカーに確認してください。EPSON PC シリーズ全機種および NEC PC-9800 シリーズ、各社 DOS/V 系の一部の機種は対応しておりません。

Windows 98/Me/2000/XP をご利用の場合、接続に使用しているインターフェイスケーブルと印刷先のポートの設定が合っていますか？

USB ケーブルをご利用の場合は［USBx］（Windows XP/2000）または「EPUSBx」（Windows 98/Me）を、IEEE1394 ケーブルをご利用の場合は［EP1394D3_xxx］を印刷のポートに設定します。

プリントサーバのコンピュータで、［モニタの設定］画面の［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていますか？

プリントサーバのコンピュータ（本機と USB または IEEE1394 ケーブルで接続されたコンピュータ）で、［モニタの設定］画面を表示し、［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして［OK］をクリックしてください。

本書 48 ページ「モニタの設定」

プリンタにエラーが発生していませんか？

プリンタにエラーが発生していると、コンピュータとプリンタが通信できなくなる場合があります。プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示を確認してください。

本書 346 ページ「ランプ」

両面印刷、割付印刷、ポスター印刷ができない

プリンタドライバで、給紙装置を［オートシートフィーダ］以外、またはフチなし印刷の設定をしていませんか？

両面印刷、割付印刷、ポスター印刷時は、給紙装置を［オートシートフィーダ］に設定し、フチなし印刷の設定はしないでください。それ以外の設定をすると各印刷の設定ができません。

フィットページ印刷ができない

プリンタドライバで、給紙装置を［オートシートフィーダ］以外、またはフチなし印刷の設定をしていませんか？

フィットページ印刷時は、給紙装置を［オートシートフィーダ］に設定し、フチなし印刷の設定はしないでください。［オートシートフィーダ］以外、またはフチなし印刷の設定をするとフィットページ印刷の設定ができません。

任意倍率印刷ができない

プリンタドライバで、給紙装置を［オートシートフィーダ］以外、またはフチなし印刷の設定をしていませんか？

任意倍率印刷時は、給紙装置を［オートシートフィーダ］に設定し、フチなし印刷の設定はしないでください。［オートシートフィーダ］以外、またはフチなし印刷の設定をすると任意倍率印刷の設定ができません。

ネットワーク環境下で印刷ができない

プリンタとコンピュータを 1 対 1 で接続して、印刷をしてみてください。

1 対 1 の接続で印刷ができる場合は、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムなどの取扱説明書をご覧ください。1 対 1 の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目をご覧ください。

Mac OS 9 で印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

コンピュータ本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、コンピュータのメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要な空きメモリ容量については、以下のページをご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド「システム条件」
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的にコンピュータの仮想メモリを使用してください（［システムが使用するメモリ］＋［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください）。

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適に使用できる場合があります。

印刷できるが思い通りにいかない

思った通りの印刷ができないときは、まずプリントヘッドのヘッドクリーニングをお勧めします。
☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」
ヘッドクリーニングを行っても印刷結果が改善されない場合は、以降の項目をご覧ください。

印刷品質のトラブル

プリンタを、長期間使用しないでいましたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 298 ページ「プリンタを長期間使用しない場合は」

ギャップ調整がされていますか？

双方向印刷をしていて画像がぼけたときは、ギャップ調整をしてください。
☞ 本書 290 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

ギャップ調整が必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
☞ 使い方ガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質に影響する場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを使い方ガイド（紙マニュアル）に掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」

印刷される文字が画面表示と異なる

ネットワーク環境で、他機種のプリンタドライバを使って本機に接続していませんか？

本機のプリンタドライバが正しく選択されているか確認してください。また、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

☞ 本書 304 ページ「プリンタドライバがインストールされているか確認する」

印刷位置が画面表示と異なる

Mac OS 9でお使いの場合、アプリケーションソフトウェアでページレイアウトの設定をしましたか？

ページレイアウトの設定で用紙サイズと余白（マージン）を確認してください。用紙サイズに対して印刷設定が適切か見直してください。

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に使用している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバ［用紙設定］画面の設定と実際の用紙サイズが合っていなければ正しい位置に印刷されません。設定と実際に印刷する用紙のサイズは合わせてください。

他機種と色味が異なる

機器別にカラーマッチングをしていますか？

プリンタにはそれぞれのカラー特性があり、同じデータで印刷をしても色味が異なって印刷されます。この色味のズレを可能な限り近付けるのがカラーマッチングです。本機はプリンタドライバでカラーマッチングができます。

エプソンの推奨設定でプリントする場合は機種ごとに印刷色が異なります。印刷色をできるだけ近づけたい場合はカラーマネージメントを利用して印刷してみてください。

また、アプリケーションソフトから、本機のカラープロファイル情報を取り込むこともできます。

☞ 本書 145 ページ「色合いを調整して印刷」

本機以外のカラーマッチングについては、その機器やアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

カラー印刷ができない

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているかどうか確認してください。

例）

アプリケーションソフト「Adobe Photoshop」の場合は［モード］メニューをクリックしてカラーになっているかどうかを確認します。

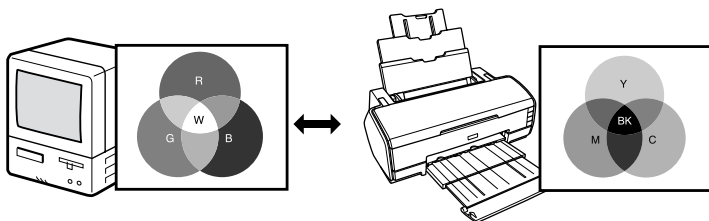
プリンタドライバのインクの設定が［カラー］になっていますか？

プリンタドライバ［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS 9）/［印刷］画面の［印刷設定］（Mac OS X）内のインクの設定が［黒］に設定されていると、カラー印刷ができません。設定が［カラー］になっているか確認してください。

イメージした色と違う色合いで印刷される

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差があります。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

- テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色すべてが光っている状態が白となります。
- 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのが白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM/sRGB/Adobe RGB（Windows 98/2000）や ColorSync（Mac OS）です。

プリンタドライバのオートフォトファイン !6 機能を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !6 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !6 を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。

☞ 本書 162 ページ「オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）」

ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS）などのカラーネージメントシステムをお使いの場合、システム特性の設定を行いましたか？

正しくマネージメントを行うためには、入力機器・使用アプリケーションが ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS）に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ 本書 145 ページ「色合いを調整して印刷」

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けることをお勧めします。

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

プリンタドライバの［モード設定］で、［きれい］または［高精細］を選択していますか？

プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で［きれい］を選択してください。また、写真用紙などの高画質対応用紙では、さらに印刷品質の高い［高精細］を選択します。

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり色合いが変わる場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

参考

- 使い方ガイド（紙マニュアル）にクリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは開封、プリンタ装着後6ヵ月以内に使い切ってください。ただし個装箱に印刷されている期限が最終有効期限です。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わる場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

長期間プリンタを使用していませんでしたか？

長期間プリンタを使用しないと、インクカートリッジ中のインクが分離してしまい、色合いが変わる場合があります。インクカートリッジを抜き、縦に4～5回軽く振ってもう一度セットしてください。

☞ 本書262ページ「インクカートリッジの交換手順」

罫線が左右にガタガタになる

ギャップ調整された状態で双方向印刷（高速印刷）をしていますか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。

☞ 本書290ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

一部のデータが印刷されない

印刷範囲は合っていますか？

アプリケーションやプリンタの設定で印刷範囲の確認をしてください。

プリントヘッドのクリーニングをしていますか？

ヘッドクリーニングを実行してください。
プリントヘッドが目詰まりを起こすと、特定の色が出なくなり印刷されない場合があります。長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、正常に印刷されないことがあります。

☞ 本書 286 ページ「ヘッドクリーニング」

印刷にムラがある、薄い、または濃い

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは開封、プリンタ装着後６ヵ月以内に使い切ってください。ただし個装箱に印刷されている期限が最終有効期限です。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクが正常に検出できなくなるなどで印刷品質に影響する場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS 9）/［印刷］画面の［印刷設定］（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

プリンタドライバの［モード設定］で、［きれい］または［高精細］を選択していますか？

プリンタドライバ上で［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、［きれい］を選択してください。また、写真用紙などの高画質対応用紙では、さらに印刷品質の高い［高精細］を選択します。

プリンタドライバでカラー調整をしましたか？

出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。

☞ 本書 157 ページ「プリンタドライバによる色調整」

印刷が汚い、汚れる、にじむ

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIP の製造元にお問い合わせください。

普通紙を使用していませんか？

カラー画像の印刷や、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

枠線がぼやけていますか？

使用環境の温度あるいは湿度が動作保証外になっている場合に発生します。動作保証環境下で印刷してください。

印刷結果が粗くなる

プリンタドライバで印刷の設定は合っていますか？

プリンタドライバの画面で画質の設定をしてください。

☞ 本書 111 ページ「目的別印刷方法」

プリントヘッドのクリーニングをしていますか？

プリントヘッドのクリーニングをしてください。

プリントヘッドのクリーニングを定期的に行うことでプリンタヘッドの目詰まりを防ぎ、最適の状態に保ちます。クリーニングのためにすべての色のインクを消費します。

☞ 本書 109 ページ「ヘッドクリーニング」

インクが出すぎてしまう

インクカートリッジをしっかり振ってからプリンタにセットしていますか？

本機は顔料インクを使用しているため､カートリッジのセットの前に縦に４～５回振って中のインクをよく混ぜて使用してください。

☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタドライバで用紙の設定は合っていますか？

お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。

用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、たとえば、写真用紙の設定

で普通紙に印刷すると、用紙に対し、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。

インクの濃度を濃く設定していませんか？

プリンタドライバの「用紙調整」でインクの濃度を下げてください。
用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。
Windows☞ 本書 28 ページ「[用紙調整] 画面」
Mac OS 9☞ 本書 68 ページ「[用紙調整] 画面」
Mac OS X☞ 本書 94 ページ「[用紙調整] 画面」

フチなし印刷がうまくいかない

アプリケーションで用紙の設定をしていますか？

アプリケーションで用紙設定をしてから印刷をしてください。
☞ 本書 112 ページ「フチなし印刷」

フチなし印刷時、余白が発生する

プリンタドライバで用紙の設定は合っていますか？

お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。

フチなし印刷の設定をしていますか？

フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。
はみ出し量を「標準」以外に設定していると余白が残る場合があります。
☞ 本書 112 ページ「フチなし印刷」

用紙の保管は適切でしたか？

用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管については用紙の取扱説明書をご覧ください。

フチなし印刷対応用紙を使用していますか？

フチなし印刷対応用紙以外の用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。エプソン純正専用紙を使用することをお勧めします。
☞ 113 ページ「フチなし印刷の対応用紙」

給紙ミス／紙詰まり

給紙･排紙がうまくできない

給紙がうまくできないときは、まず、用紙を正しくセットし直してください。

プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙種類の設定がセットされている用紙と合っていますか？

プリンタドライバの［用紙設定］画面の設定をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。

用紙セット位置に合わせて用紙をセットしましたか？

以下のページを参照して正しい位置に用紙をセットしてください。

☞ 使い方ガイド「ロール紙のセット」
☞ 使い方ガイド「単票紙のセット」
☞ 使い方ガイド「ファインアート系　単票紙のセット」」
☞ 使い方ガイド「厚紙のセット」

用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。

用紙にシワや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

一般の室温環境下で使用していますか？

専用紙は一般の室温環境下(温度:15 ～ 25 ° C、湿度 40 ～ 60%)で使用してください。

用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。未使用のロール紙はプリンタ本体から取り外し、膨らまないように巻き直してから梱包されていた個装袋に戻してください。

用紙が波打ったり、たわんでいませんか？

単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、たわんでしまい、プリンタ本体が用紙サイズを正しく認識できなくなってしまう場合があります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。

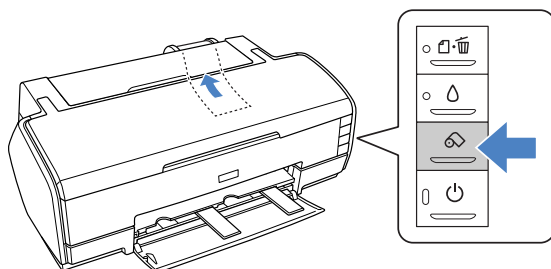
プリンタに用紙が詰まっていませんか？

プリンタのフロントカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。もし紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照しながら用紙を取り除いてください。

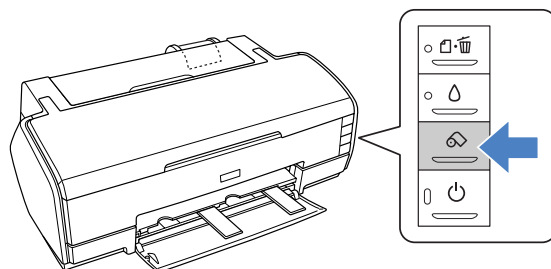
☞ 本書 332 ページ「ロール紙が詰まった」
☞ 本書 334 ページ「単票紙が詰まったときは」
☞ 本書 336 ページ「厚紙が詰まった」

ロール紙が詰まった

紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。

1. **［ロール紙］ボタンを 3 秒以上押します。**
   ロール紙が後方に送り出されます。

すべてのロール紙を送り出せないときは、もう一度［ロール紙］ボタンを 3 秒以上押して、後方に送り出してください。

2. **ロール紙ホルダのノブを回して、ロール紙を巻き取ります。**

3. **もう一度［ロール紙］ボタンを押します。**
   用紙ランプの点滅が消えます。

上記手順で取り除けない場合は

①プリンタの電源をオフにします。
②前方に引き抜ける場合は、後方でロール紙をカットして、前方にゆっくり引き抜きます。
③前方に引き抜けない場合は、後方にゆっくり引き抜きます。
ただし、絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。

! 注意

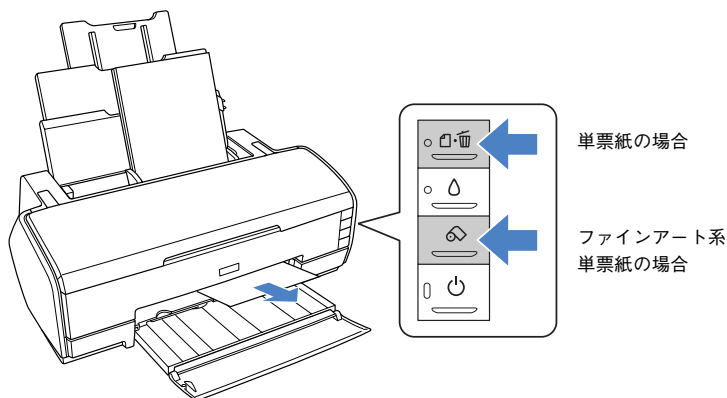
詰まった用紙がどうしても取れない場合は

プリンタを分解したりせずに、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。

以上で、詰まったロール紙の取り除きは終了です。

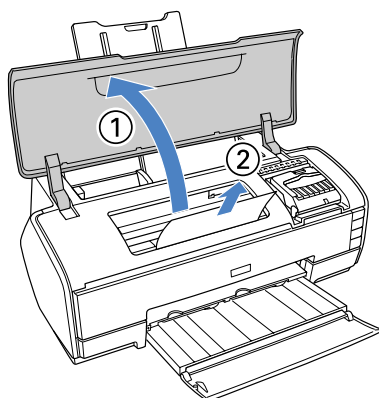
単票紙が詰まったときは

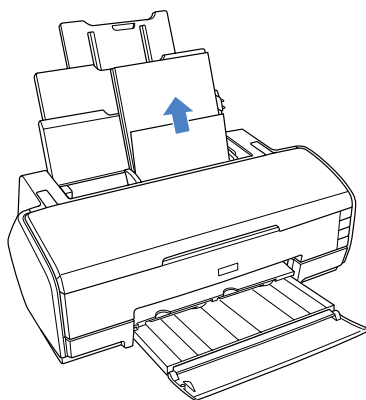
紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、以下の手順に従って取り除いてください。

1. **排紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜いて、［用紙］ボタンを押します。**
   ファインアート系　単票紙の場合は［ロール紙］ボタンを長押しします。
   排紙口から取り除けない場合は、手順 ❷ に進んでください。

2. **プリンタの電源をオフにします。**
   詰まった用紙が排出されます。
   排出されない場合は、手順 ❸ に進んでください。

3. **プリンタカバーを開けて、プリンタ上部から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。**

> **!注意** 絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。

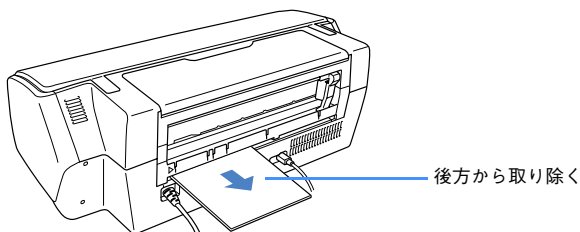
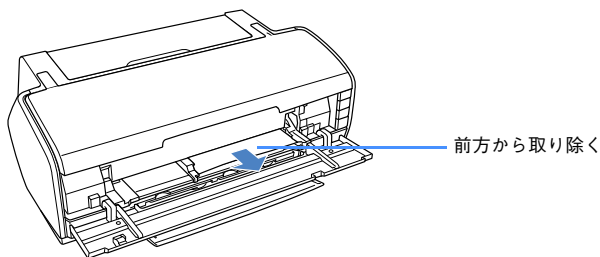
上から取り除けない場合は、手順 ❹ に進んでください。

❹ **給紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。**

> **! 注意** 絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。

> **! 注意** **詰まった用紙がどうしても取り除けない場合は**
> プリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。

以上で、詰まった用紙の取り除きは終了です。

厚紙が詰まった

紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに取り除いてください。
給紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。

！注 意	絶対に強く引き抜かないでください。強く引き抜くとプリンタが故障するおそれがあります。

以上で、詰まった用紙の取り除きは終了です。

機器のトラブル

電源がオンにならない

本機の電源がオンにならない場合は、次の 3 点を確認してください。

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

AC 電源は規定の電圧になっていますか？

コンセントの電圧を確認し、正しい電圧で使用してください。また、タコ足配線や、テーブルタップへの接続はしないでください。

以上の 3 点を確認の上で本機の電源がオンにならない場合は、お買い求めのエプソン販売店かエプソンの修理センターにご相談ください。

☞ 本書 353 ページ「サービス・サポートのご案内」

USB 接続時にインストールできない（Windows）

ご利用のコンピュータは、USB 接続するためのシステム条件を備えていますか？

本機をUSBケーブルで接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ、または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ）
- USBに対応していて、コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ

Windows 95からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

USB 接続時に印刷先のポートにプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機は USB ハブの 1 段目（1 台目）までに接続されていますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してください。

Windows で USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の〈ユニバーサルシリアルバス〉の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

Mac OS 9 のセレクタにプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは QuickDraw GX には対応していませんので、QuickDraw GX がインストールされている Mac OS のセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。

この場合、QuickDraw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。

Windows でプリンタドライバのコピーができてしまったら？

同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？

Windows において、本機のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本機のプリンタドライバをインストールすると、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダの中に［EPSON PX-5500（コピー 2)］、［EPSON PX-5500（コピー 3)］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。本機のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても問題はありません。プリンタフォルダ内に本機のアイコンが 1 つでも残っていれば、ほかのアイコンを削除しても、本機のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

その他

モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

モノクロ印刷時にも高品位な印刷を実現するために、カラーインクも使用します。
プリントヘッドのクリーニングをすると、すべての色のヘッドクリーニングが行われ、すべての色のインクが消費されます。

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。

そのような場合は、以下のページを参照し、プリンタドライバを入手してください。
☞ 本書 300 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

お問い合わせいただく前に

エプソンホームページの Q&A のご案内

エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）では機種ごとのトラブルシュートや発売以降に確認された最新の情報が掲載されています。

症状が改善されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→プリンタの動作確認

1. **電源をオフにし、プリンタケーブルを外します。**
2. **プリンタに A4 サイズの普通紙をセットします。**
3. **［用紙］ボタンを押したまま［電源］ボタンを押します。**
   ボタンは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにし、動き出したら離してください。
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。印刷しない場合は、1 からもう一度やり直してください。

正常に印刷ができない　　**正常に印刷できる**

お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへご相談ください。
☞ 本書 353 ページ「サービス・サポートのご案内」

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows 標準添付のワードパッド、Mac OS 9 標準添付の Simple Text、Mac OS X 標準添付の Text Edit で簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

Windows

［ファイル］メニュー内の［印刷］を実行します。

Mac OS 9

Mac OS X

［ファイル］メニュー内の［プリント］を実行します。

正常に印刷ができない

正常に印刷できる

プリンタドライバのインストール･設定･バージョンに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

- ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。この場合は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合せ先へご相談ください。
- プリンタドライバをバージョンアップさせることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。
  ☞ 本書 170 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

それでもトラブルが解消できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへご相談ください。
☞本書 353 ページ「サービス・サポートのご案内」

お問い合せの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称（PX-5500）をご確認のうえ、ご連絡ください。

操作パネルの使い方

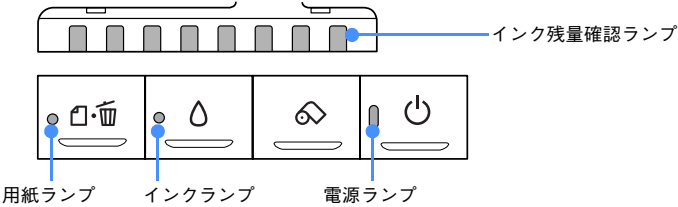
ここでは、操作パネルの使い方や設定項目について説明をしています。

操作パネルの名称と役割

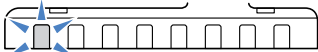
ボタン

①	[用紙] ボタン	• 用紙を給紙、または排紙します。通常の印刷時は自動的に給紙 / 排紙されますので、このボタンを押す必要はありません。 • 電源投入時に電源ボタンと同時に押すと、プリンタの動作確認（ノズルチェックパターン印刷）を行います。 • 印刷中に押すと、印刷を中止して用紙を排紙します。 ※ロール紙印刷中に押すと印刷を中止しますが用紙は排紙されません。 • 厚紙をセットしてから押すと、厚紙を給紙します。
②	[インク] ボタン	• インクカートリッジを交換する際に、プリントヘッドを交換位置まで移動させます。 • 3 秒間押したままにすると、プリントヘッドのクリーニングを行います。
③	[ロール紙] ボタン	ロール紙や厚紙をセットするときには、このボタンは使用しません。セットの仕方、印刷方法については、「使い方ガイド」をご覧ください。
		ロール紙印刷時にボタンを押したときのプリンタの動作は、以下の通りです。 • 3 秒間押したままにすると、ロール紙が後方（取り除くことができる位置）に排紙されます。 • ロール紙の印刷後にボタンを押すと、カット線を印刷して、カットしやすい位置までロール紙を排紙します。 • カット線に沿ってロール紙をハサミなどでカットした後に押すと、印刷開始位置までロール紙を戻します。
		厚紙印刷時にボタンを押したときのプリンタの動作は、以下の通りです。 • 印刷前、約 1 秒押すと厚紙が後方（取り除くことのできる位置）に排紙されます。 • 印刷後、約 1 秒押すと、厚紙が前方に排紙されます。
		ファインアート系　単票紙の排紙をします。
④	[電源] ボタン	プリンタの電源をオン / オフします。

ランプ

本製品の［用紙］［インク］［ロール紙］［電源］の各ボタンについては、縦並びとなっておりますが、ランプ表示の説明上、下表では横並びで掲載しています。

インク残量確認ランプ

インクカートリッジのインクが少なくなったときやインクがなくなったときに該当するカートリッジのランプが点滅 / 点灯します。

正常な状態

用紙ランプ	インクランプ	電源ランプ	状態
消灯	消灯	点灯	印刷データ待ちの状態です。
消灯	消灯	点滅	印刷中 / インクカートリッジの交換中 / インクの確認中のいずれかの状態です。
消灯	消灯	高速点滅	プリンタが終了処理をしている状態です。数秒間待つと消灯します。

エラー状態

■ 用紙関係のエラー

用紙ランプ	状態 / 対処方法
点灯	■状態 用紙がセットされていません。
	■対処方法 用紙をセットして、［用紙］ボタンを押してください。
点滅	■状態 用紙が詰まり、給紙できません。
	■対処方法 以下のページをご覧になって詰まっている用紙を取り除いてください。 本書 330 ページ「給紙ミス／紙詰まり」
高速点滅	■状態 プリンタドライバの給紙方法（Windows）/ 給紙装置（Mac OS）の設定と実際にセットされている用紙が合っていません。
	■対処方法 プリンタドライバの給紙方法（Windows）/ 給紙装置（Mac OS）の設定と実際にセットされている用紙を合わせてください。

■ インク関係のエラー

<table>
<tr><th>インクランプ</th><th>状態 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">点灯</td><td>■状態
いずれかのインクがなくなったか、インクカートリッジがセットされていません。*
または、本製品では使用できないインクカートリッジがセットされています。
■インク残量確認ランプ
いずれかのインクがなくなったか、インクカートリッジがセットされていない場合、インク残量確認ランプも同時に点灯します。
（インク残量確認ランプは、インクカートリッジ箇所の上にあるランプです。）
点灯
* インクカートリッジを交換した後に点灯した場合は、正しくインクカートリッジが認識されていません。もう一度インクカートリッジをセットし直してみてください。</td></tr>
<tr><td>■対処方法
新しいインクカートリッジに交換してください。
☞ 本書 259 ページ「インクカートリッジの交換」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">点滅</td><td>■状態
いずれかのインクが残り少なくなりました。
■インク残量確認ランプ
いずれかのインクが残り少なくなると、インク残量確認ランプも同時に点滅します。
（インク残量確認ランプは、インクカートリッジ箇所の上にあるランプです。）
点滅</td></tr>
<tr><td>■対処方法
新しいインクカートリッジを準備してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高速
点滅</td><td>■状態
印刷中にフォトブラックからマットブラックに交換した場合など、印刷中に違う種類のブラックインクカートリッジをセットすると、エラーになります。</td></tr>
<tr><td>■対処方法
同じ型番のインクカートリッジをセットし直してください。</td></tr>
</table>

■ その他のエラー

用紙ランプ	インクランプ	電源ランプ	状態 / 対処方法
高速点滅	高速点滅	消灯	■状態 キャリッジ（インクカートリッジをセットしている部分）が正常に動作してない、またはその他のエラーが発生しています。
			■対処方法 電源を一旦オフにして、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
高速点滅	点滅	点灯	■状態 定型紙、ロール紙またはファインアート系の単票紙など、背面給紙口から給紙されている状態で、前面給紙ガイドが開いています。
			■対処方法 前面給紙ガイドを閉じてください。
交互点滅		消灯	■状態 廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に達しました。
			■対処方法 ヘッドクリーニングなどで排出された廃インクを吸収する廃インク吸収パッドがいっぱいです。廃インク吸収パッドを交換することでエラーは解消できます。お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

※廃インク吸収パッド：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品

付録

ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバをインストールするために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	Pentium®以上
主記憶メモリ	32MB 以上 （推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 500MB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium® 150MHz 以上
主記憶メモリ	32MB 以上 （推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 500MB 以上）
インターフェイス	USB/IEEE1394
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium® 133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上 （推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 3GB 以上）
インターフェイス	USB/IEEE1394
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 2000 でインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP 日本語版
CPU	Pentium® 300MHz 以上
主記憶メモリ	128MB 以上 （推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 3GB 以上）
インターフェイス	USB/IEEE1394
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows XP でインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

Mac OS 9

システムソフトウェア	Mac OS 9.1 以降
CPU	PowerPC
メモリ空き容量	128MB 以上（推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	60MB 以上（推奨 1GB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	XGA（1024 × 768 ドット）以上

Mac OS X v10.2 以降

システムソフトウェア	Mac OS X v10.2 以降
CPU	PowerPC G3 233MHz 以上
メモリ空き容量	192MB 以上（推奨 256MB 以上）
ハードディスク空き容量	100MB 以上（推奨 1GB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	XGA（1024 × 768 ドット）以上

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	使い方ガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	使い方ガイド巻末の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	使い方ガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	使い方ガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせは使い方ガイド巻末の一覧をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

☞ 本書 302 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後６年間です。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（使い方ガイド裏表紙の一覧表をご覧ください）。
  受付日時 ：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しております。
使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代 * が無償になる為予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代 * が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料 ＋ 技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込／送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料 ＋ 技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払ください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保守期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

仕様一覧

■ 基本仕様

印刷方式	インクジェット
ノズル配列	ブラック系：180 ノズル× 3 色（合計 540 ノズル） カラー：180 ノズル× 5 色（合計 900 ノズル）
印刷方向	双方向最短距離印刷
解像度（最大）	2880 × 1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
用紙幅（最大）	329mm、A3 ノビ対応
入力データバッファ	64KByte
インターフェイス	USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応） IEEE1394

■ インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
顔料インク色	ブラック系：フォトブラック / マットブラック、グレー、ライトグレー カラー：シアン、ライトシアン、マゼンタ、ライトマゼンタ、イエロー
有効期間	個装箱に記載されている期限　開封から 6 ヵ月以内
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	梱包保存時：-30 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1 ヵ月以内）
	本体装着時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1 ヵ月以内）
	包輸送時：-30 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1 ヵ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 12.7mm ×奥行き 73.5mm ×高さ 55.3mm
重量	約 40g

！注意

- インクは -15 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

■ 用紙仕様

エプソン純正専用紙については以下のページをご覧ください

☞ 使い方ガイド「エプソン純正専用紙」

市販の用紙を使用する場合は、以下の仕様を満たす必要があります。

ロール紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.15mm（用紙重量 64 ～ 90gf/m^2）
		そのほかの用紙種類の場合：0.08mm ～ 0.50mm
	フチなし印刷可能幅（左右フチなし印刷）	89mm（L 判）、100mm（ハガキ）、127mm（2L 判）、203mm（六切）、254mm（四切）、210.0mm（A4）、215.9mm（8.5 インチ）、254.0mm（10 インチ）、257.0mm（B4）、297.0mm（A3）、300.0mm、304.8mm（12 インチ）、329.0mm（A3 ノビ）
単票紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	用紙サイズ	L 判、ハガキ、2L 判、六切、四切、A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙重量 64 ～ 90gf/m^2） ※厚紙（前面給紙のみ）の場合は 1.3mm
	フチなし印刷可能幅（左右フチなし印刷）	89mm（L 判）、100mm（ハガキ）、127mm（2L 判）、203mm（六切）、254mm（四切）、210.0mm（A4）、215.9mm（8.5 インチ）、254.0mm（10 インチ）、257.0mm（B4）、297.0mm（A3）、300.0mm、304.8mm（12 インチ）、329.0mm（A3 ノビ）

！注意

- 普通紙および再生紙については、上記仕様の用紙を本機に装着して通紙できますが印刷品質保証するものではありません。
- そのほかの用紙種類については、上記仕様の用紙が本機に装着できますが通紙保証および印刷品質保証するものではありません。
- ロール紙、単票紙とも、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

■ 電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49 ～ 61Hz
定格電流	0.5A/100V
消費電力	動作時 平均約 18W、低電力モード時 1.0W、電源オフ時 0.2W
絶縁抵抗	10MΩ 以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1 分または AC1.2kVrms 1 秒（AC ラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA 以下
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2、VCCI クラス B

■ 総合仕様

温度	動作時：10 ～ 35 ℃
	保存時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：-20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80％（非結露）
	保存時：20 ～ 85％（非結露）
	輸送時：5 ～ 85％（非結露）
	（グラフ）
プリンタ重量	約 11Kg（インクカートリッジを除く）
プリンタ外形寸法	615（幅）× 314（奥行き）× 223（高さ）mm（収納時）

■ 環境仕様

プリンタの環境基本仕様は、以下の通りです。

消費電力	連続印刷時：平均約 18W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 低電力モード時：1.0W 電源オフ時：0.2W（電源プラグは接続状態） ※消費電力を 0W にするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源プラグは、電源ボタンで電源をオフにしてから抜いてください。）
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取り扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジ回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。 最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 ☞ 本書 354 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の 最低保有期間	間製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
適合規格	• 国際エネルギースタープログラム • 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

Mac OS X をお使いの方へ

Mac OS X で印刷する場合、使用できない機能があります。

プリンタドライバの主な機能	Mac OS 9	Mac OS X v10.2 以降
プリンタ共有（Mac OS 9 と Mac OS X の間では不可）	○	○
カスタム用紙サイズ	○	○ *1
ロール紙印刷	○	○
フチなし印刷	○	○
拡大・縮小（任意倍率）	○	○
印刷可能領域「センタリング」	○	×
180 度回転印刷	○	×
オートフォトファイン	○	×
双方向印刷	○	○
左右反転印刷	○	○
ガンマ値変更	○	○
「色補正なし」	○	○
フィットページ	○	×
割付印刷	○	○
ポスター印刷	○	×
両面印刷	○	×
スプールファイル保存先指定	○	×
コピー印刷ファイル保存	○	×
印刷時刻指定機能	○	○ *2
印刷データをハードディスクに保存後、プリンタへ送信	○	×
ファイル保存	○	×
プログレスメータ・インク残量表示機能	○	×
自動回転	○	×
プレビュー	○	○
切り取り線印刷機能	○	○
ロール紙節約	○	○

*1 Mac OS X v10.2.3 以降
*2 Mac OS X v10.3.0 以降

用紙について

使用可能な用紙

本機で使用可能な用紙は一般の用紙とエプソン純正専用紙があります。

一般の用紙

エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の、用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書をご覧いただくか、用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。
☞ 本書 357 ページ「用紙仕様」

エプソン純正専用紙

本機でご利用いただけるエプソン純正専用紙に関する最新の情報は、インターネットを使ってエプソンのホームページでご覧ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際には、以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- 専用紙は一般室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が、印刷品質に影響します。
- ロール紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、たわんでしまう場合があります。その場合は平らな状態に修正してからセットしてください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますのでなくさないでください。

保管時のご注意

用紙を保管する際は、以下の点に注意して、各用紙の取扱説明書の指示に従ってください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、ロール紙ホルダから取り外し、きちんと巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間プリンタにセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- 用紙を濡らさないでください。
- 印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

エプソン純正専用紙の特長

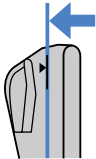
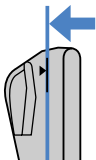
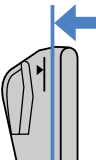
用紙名称	型番	特長
写真用紙＜光沢＞	KL20PSK（20 枚入り）	デジタルカメラの写真を手軽に印刷できる、厚口タイプの光沢紙です。お子様の写真をカレンダーにして贈れば、おじいちゃんおばあちゃんも大喜び。A4 サイズには、お買得な増量パックもご用意しております。
	KL50PSK（50 枚入り）	
	KL100PSK（100 枚入り）	
	KL200PSK（200 枚入り）	
	KL300PSK（300 枚入り）	
	K2L20PSK（20 枚入り）	
	K2L50PSK（50 枚入り）	
	KA4250PSKNA（250 枚入り）	
	KA4100PSK（100 枚入り）	
	KA450PSK(50 枚入り）	
	KA420PSK(20 枚入り）	
	K4G20PSK（20 枚入り）	
	K6G50PSK（50 枚入り）	
	KA320PSK(20 枚入り）	
	KA3N20PSK（20 枚入り）	
写真用紙＜光沢＞ロールタイプ	K89ROLPS2	デジタルカメラで撮った写真を手軽に印刷できる厚口タイプの光沢紙ロール。
	K100ROLPS2	
	K127ROLPS2	
	KA4ROLPSK	
	KA3NROLPSK	

用紙名称	型番	特長
写真用紙＜絹目調＞	KL20MSH（20 枚入り） KL100MSH（100 枚入り） K2L20MSH（20 枚入り） K2L50MSH（50 枚入り） KH20MSH（20 枚入り） KA420MSH（20 枚入り） KA320MSH（20 枚入り） KA3N20MSH（20 枚入り）	写真の印刷に適しており、光沢感を抑えた落ち着いた風合いの写真用紙です。耐光性と耐水性に優れています。
写真用紙＜絹目調＞ロールタイプ	K89ROLMS2 K100ROLMS2 K127ROLMS2 KA4ROLMSH KA3NROLMSH	写真用紙 ＜ 絹目調 ＞ のロールタイプ。サイズも 89mm 幅 (L 判サイズ)、100mm 幅 (ハガキサイズ)、127mm 幅 (L/2L 判サイズ)、210mm 幅 (A4)、329mm 幅 (A3 ノビ) の 5 種類が揃っています。 連続フォトプリントやパノラマ印刷も可能です。
フォトマット紙 / 顔料専用	KA450MM A4(50 枚入り） KA320MM A3(20 枚入り） KA3N20MM A3 ノビ (20 枚入り）	マット調の質感を活かした高品質な写真印刷やグラフィックの印刷に適しています。高画質で耐光性に優れたマット紙です。
フォトマット紙 / 顔料専用ロールタイプ	K89ROLMM K100ROLMM	フォトマット紙 / 顔料専用のロールタイプも 2 種類用意しました。
フォトマット紙	KA450PM KA320PM KA3N20PM	しっかりとした厚みのあるマットタイプの高耐光紙です。光沢のない落ち着いた質感で、写真やカレンダー、POP、ペーパークラフトなどの作成に適しています。しかも新しいフォトインクとの組み合わせでいままでにない優れた耐光性・耐水性を実現。色あせにくい高品位プリントを実現しました。
フォトマット紙ロールタイプ	K89ROLPM K100ROLPM K127ROLPM	デジタルカメラで撮った写真などを、フチなしフォトプリントで余白のない 89mm 幅 (L 判サイズ)、100mm 幅 (ハガキサイズ)、127mm 幅 (L/2L 判サイズ) の連続写真印刷ができるロールタイプのフォトマット紙。新しいフォトインクとの組み合わせで高耐光性・耐水性を実現しました。

用紙名称	型番	特長
UltraSmooth Fine Art Paper	KA3N25USFA	コットン 100%、Acid-Free（中性）で保存性に優れ、芸術性の高い用紙です。表面にテキスチャーのない白黒フォト、ファインアートリプロダクションの出力には特にお勧めの用紙です。
両面上質普通紙 ＜再生紙＞	KA4250NPD （250 枚入り）	古紙配合 100% 再生紙で、両面に印刷してもインクの裏抜けが少ない普通紙です。
	KA3250NPD （250 枚入り）	
スーパーファイン紙	KA4250NSF （250 枚入り）	写真データ、グラフィック、写真やグラフ入りの文書の印刷に適した専用紙です。美しく落ち着いた仕上がりに印刷できます。
	KA4100NSF （100 枚入り）	
	KA3100NSF （100 枚入り）	
	KA3N100NSF （100 枚入り）	
スーパーファイン専用ラベルシート	MJA4SP5（10 枚入り）	オリジナルのステッカーが手軽につくれる、裏面糊付きのラベルシール。好きな形に切り取れるノーカットタイプ※です。 ※：全面シールです。ミシン目はありません。
EPSON 画材用紙 / 顔料専用	KA3N20MG （20 枚入り）	画材用紙 / 顔料専用写真とは異なった質感を持った画材用紙です。新しいアートの世界を表現することができます。
Velvet Fine Art Paper	KA3N20VFA	コットン 100%、表面に品の良いテキスチャーを施した芸術性の高い用紙です。ハイコントラストの白黒フォト、ファインアートリプロダクションの出力には特にお勧めの用紙です。
PX プルーフ用紙 ＜微光沢＞	KA3N100PRF （100 枚入り）	光沢感・地色・質感を印刷用の用紙に近付けた高発色のプルーフ用紙です。
PX プルーフ用紙ロール ＜微光沢＞	KA3NROLPRF	印刷本紙に近い仕上がりとなる汎用性の高いプルーフ用紙です。薄平の RC 紙（レジンコート＝合成樹脂コート）をベースにしており、カールしにくく取り扱いに便利です。
郵便ハガキ （インクジェット紙）	－	－
厚紙　1.3ｍｍ 厚	－	－

用紙の仕様と設定

以下の表は、ロール紙と単票紙の表（エプソン純正専用紙の種類）の見方を説明しています。
用紙に対する適用は次ページの表をご覧ください。

単票紙の最大セット容量の目安

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- エプソン製専用紙をセットする場合は、必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。

■ 写真用紙／光沢紙／マット紙

用紙	セット可能枚数
写真用紙＜光沢＞	L 判：20 枚
	2L 判：20 枚
	A4：20 枚
	A3/A3 ノビ：10 枚
	六切：20 枚
	四切：10 枚
写真用紙＜絹目調＞	L 判：20 枚
	2L 判：20 枚
	A4：20 枚
	A3/A3 ノビ：10 枚
フォトマット紙 *1	A4：20 枚
	A3/A3 ノビ：1 枚
フォトマット紙 / 顔料専用 *1	A4：20 枚
	A3/A3 ノビ：1 枚
画材用紙 / 顔料専用 *2	A3 ノビ：1 枚
Velvet Fine Art Paper *2	A3 ノビ：1 枚
UltraSmooth Fine Art Paper*2	A3 ノビ：1 枚
スーパーファイン紙	A4：エッジガイドの▼マークまで
	A3/A3 ノビ：50 枚

＊ 1：アタッチメント使用時は最大セット枚数が 10 枚となります。
＊ 2：リア手差しのみ可能です。

■ 普通紙

用紙	セット可能枚数
両面上質普通紙＜再生紙＞（※）	A4： エッジガイドの▼マークまで
	A3/A3 ノビ：
市販の普通紙	A4： エッジガイドの▼マークまで
	A3/A3 ノビ： エッジガイドの▼ マークから半分の位置まで

※両面印刷時のセット可能枚数は 30 枚までです。

項目の説明

項目	説明
用紙幅・サイズ	用紙サイズです。ロール紙の場合は用紙幅を表します。ただし、長さは用紙種類によって異なります。
厚み（mm）	用紙一枚の厚さです。
フチなし印刷	○：フチなし印刷の推奨用紙です。 ×：フチなし印刷不可用紙です。 一部の用紙サイズでフチなし印刷できない場合があります。以降の表の「サイズ」欄でご確認ください。また、一般の市販用紙の場合も、フチなし印刷できないサイズがありますのでご注意ください。 本書 112 ページ「フチなし印刷」
モノクロ写真印刷	モノクロ写真印刷に適した用紙を表します。 Mk：モノクロ写真印刷推薦用紙（マットブラック専用） Pk：モノクロ写真印刷推薦用紙（フォトブラック専用） ×：モノクロ写真モード非対応用紙
ICC プロファイル名	各用紙に対応した ICC プロファイルの名称です。プリンタドライバやアプリケーションソフトでプロファイル名として表示されます。プロファイルのファイル名と表示名称は、通常同じものが使用されています。
ドライバの [用紙種類]	用紙ごとにプリンタで設定する［用紙種類］を表します。使用する用紙と、［用紙種類］の設定を合わせないと高品質な印刷結果は得られません。

用紙の設定

用紙名称	サイズ	厚さ(mm)	フチなし印刷	ICC プロファイル		カラー		モノクロ写真		黒		ドライバの[用紙種類]
				PX-5500 フォトブラック	PX-5500 マットブラック	フォト	マット	フォト	マット	フォト	マット	
写真用紙＜光沢＞	L 2L A4 四切 六切 A3 A3 ノビ	0.3	○	PX5500 Photo Paper(G).icc	–	○	–	○	–	○	–	EPSON 写真用紙
写真用紙＜光沢＞ロールタイプ	L ハガキ L/2L A4 A3 ノビ	0.3	○	PX5500 Photo Paper(G).icc	–	○	–	○	–	○	–	EPSON 写真用紙
写真用紙＜絹目調＞	L 2L ハガキ A4 A3 A3 ノビ	0.3	○	PX5500 Photo Paper (SG).icc	–	○	–	○	–	○	–	EPSON 写真用紙＜絹目調＞
写真用紙＜絹目調＞ロールタイプ	L ハガキ 2L A4 A3 ノビ	0.3	○	PX5500 Photo Paper (SG).icc	–	○	–	○	–	○	–	EPSON 写真用紙＜絹目調＞
フォトマット紙 / 顔料専用	A4 A3 A3 ノビ	0.2	○	PX5500 Matte PaperPigment_PK.icc	PX5500 Matte PaperPigment.icc	○	○	–	○	○	○	EPSON フォトマット紙 / 顔料
フォトマット紙 / 顔料専用ロールタイプ	L ハガキ	0.2	○	PX5500 Matte PaperPigment_PK.icc	PX5500 Matte PaperPigment.icc	○	○	–	○	○	○	EPSON フォトマット紙 / 顔料
フォトマット紙	A4 A3 A3 ノビ	0.2	○	PX5500 Matte PaperPigment_PK.icc	PX5500 Matte PaperPigment.icc	○	○	–	○	○	○	EPSON フォトマット紙 / 顔料

用紙名称	サイズ	厚さ（mm）	フチなし印刷	ICC プロファイル		カラー		モノクロ写真		黒		ドライバの[用紙種類]
				PX-5500 フォトブラック	PX-5500 マットブラック	フォト	マット	フォト	マット	フォト	マット	
フォトマット紙ロールタイプ	L 2L ハガキ	0.2	○	PX5500 Matte PaperPigment_PK .icc	PX5500 Matte PaperPigment.icc	○	○	－	○	○	○	EPSON フォトマット紙 / 顔料
UltraSmooth Fine Art Paper	A3 ノビ		○	－	PX5500 USmooth FineArt .icc	－	○	－	○	－	○	UltraSmooth Fine Art Paper
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4 A3	0.1	○	－		○	○	－	－	○	○	普通紙
スーパーファイン紙	A4 A3 A3 ノビ	0.1	○	PX5500 Super Fine Paper_PK .icc	PX5500 Super Fine Paper.icc	○	○	－	－	○	○	EPSON スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	0.1	×	PX5500 Super Fine Paper_PK .icc	PX5500 Super Fine Paper.icc	○	○	－	－	○	○	EPSON スーパーファイン紙
EPSON 画材用紙 / 顔料専用	A3 ノビ	0.3	○	－	PX5500 WCPaper Pigment .icc	－	○	－	○	－	○	EPSON 画材用紙 / 顔料
Velvet Fine Art Paper	A3 ノビ		○	－	PX5500 Velvet Fine Art.icc	－	○	－	○	－	○	Velvet Fine Art Paper
PX プルーフ用紙＜微光沢＞	A3 ノビ	0.2	○	PX5500 PX Proof (SM).icc	－	○	－	－	－	○	－	PX プルーフ用紙＜微光沢＞
PX プルーフ用紙ロール＜微光沢＞	約 329mm ×幅 15.2m	0.2	○	PX5500 PX Proof (SM).icc	－	○	－	－	－	○	－	PX プルーフ用紙＜微光沢＞
郵便ハガキ（インクジェット紙）		0.2	○	－		○	○	－	－	○	○	郵便ハガキ（インクジェット紙）
厚紙 1.3ｍｍ厚			×									

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

A

■ AppleTalk（アップルトーク）

Mac OS の、ネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

B

■ bit（ビット）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2 進数（Binary Digit）」の略。実数を 2 つの数字（0 または 1）で表す。

■ Byte（バイト）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。
1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byte で英数カナ 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現する。

C

■ ColorSync（カラーシンク）

アップルコンピュータ社が提供する、Mac OS 用のカラーマネージメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を 100% 発揮させるためには、使用する機器とソフトウェアのすべてが、ColorSync に対応している必要がある。

D

■ dpi（dot per inch/ ディーピーアイ）

解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印刷できるドット数を示す。

I

■ IEEE1394（アイトリプルイー 1394）

Institute of Electrical and Electric Engineers 1394 の略で、FireWire、i.LINK とも呼ばれる。高速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つで、転送速度は、100Mbps、200Mbps、400Mbps が規格化されている。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。ハブを使用したツリー接続か、機器を数珠つなぎで接続するデイジーチェーン接続で、63 台までの IEEE1394 対応機器を接続することができる。

J

■ JIS（ジス）

Japanese Industrial Standard の略で、日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

K

■ KB（キロバイト）

Kilo Byte の略で、データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

M

■ MB（メガバイト）

Mega Byte の略で、データ量の単位。1MB=1024 KB=1024 × 1024 Byte。

O

■ OS

オペレーティングシステム（Operating System）の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。

R

■ RAM（ラム）

Random Access Memory の略で、データなどを読み書きできるメモリ。

■ ROM （ロム）

Read Only Memory の略で、データなどの読み出し専用のメモリ。

U

■ USB（ユー・エス・ビー）

Universal Serial Bus の略で、シリアルインターフェイス規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。USB1.1 では最高 12Mbps で転送速度の遅い規格だったが、USB2.0 では 480Mbps という高速転送が可能になった。

■ 16 進数

16 進法で用いる英数字。一般的には、0 ～ 9 まではそのままの数字で、10 ～ 15 は A ～ F で表す。

ア

■ アイコン

コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類 , フォルダなどを象徴する図柄。

■ 圧縮（データ圧縮）

1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する（これを「解凍」という）。

■ アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。
ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ

■ インクカートリッジ

印刷用のインクが入った容器。

■ インクジェットプリンタ

プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹き付けて印刷するプリンタ。

■ インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

■ 印刷領域

印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

■ インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

■ インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。

■ インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを差し込む端子。

■ インチ

長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

オ

■ オプション

本書では、別売りのプリンタ関連用品を意味する。

カ

■ 解像度
画質の細かさを表す指標で、一般にdpi（dot per inch; 25.4mm{1インチ}あたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

■ 解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

■ 改頁
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印刷開始位置）に移動すること。

■ カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

■ キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

■ ギャップ調整
黒 / カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

■ キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

■ 給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

■ クリック
マウスのボタンを“カチッ”と1回押すこと。

■ クリーニング（ヘッドクリーニング）
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ

■ コントロールコード
プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

シ

■ 充てん

プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

■ 初期設定値

電源ボタンをオンしたときに選択される設定。

■ シリアルインターフェイス

データを 1 ビットずつ転送するインターフェイス。

セ

■ セルフクリーニング

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

タ

■ ダウンロード

ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

■ ダブルクリック

マウスのボタンを、速い操作で 2 回連続して“カチカチッ”と押すこと。

チ

■ チェックボックス

ダイアログボックスやウィンドウ内で、項目（機能）の有効 / 無効を指定するための四角いマーク。クリックで有効⇔無効を切り替える。有効の場合は四角の中に×や ✔ が表示され、無効の場合は四角の中が空白になっている。

テ

■ ディレクトリ

大量のファイルを整理および管理するために考え出された概念。ディレクトリ名は、記憶装置（ハードディスクや CD-ROM など）のどこにファイルが記憶されているかを示す「住所」のような働きをする。

■ デバイス

CPU に接続するすべてのハードウェア装置の意味。

ト

■ ドライブ

CD-ROM、ハードディスク、フロッピーディスクなどの駆動装置。Windows の場合、管理のために各ドライブにアルファベットを割り振りドライブ名としている。

ノ

■ ノズル

インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

■ ノズルチェックパターン

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

■ 排紙

用紙をプリンタから排出すること。

■ バッファ

コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

フ

■ フォーマット

ハードディスクやフロッピーディスクなどを利用する OS に合わせて初期化すること。

■ フォルダ

ディレクトリと同義語。画面上ではディレクトリといわずフォルダと呼ばれる場合が多い。

■ フォント（書体）

字体のこと。明朝体･ゴシック体などがある。

■ プリンタドライバ

アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

■ プリントヘッド

用紙にインクを吹き付けて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

ヘ

■ ページ先頭位置

用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ

■ ポイント

マウスカーソルをメニューの項目に合わせることで、クリックをしなくてもその先の階層メニューが自動的に表示される。

■ ポート

プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。

マ

■ マージン

余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域をいう。

■ マイクロウィーブ機能

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

■ メモリ

情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持する ROM（Read Only Memory －読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納する RAM（Random Access Memory －読み書き可能メモリ）などがある。

ラ

■ ラジオボタン

ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から 1 つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

索引